Nikon

デジタルカメラ

COOLPIX S1200pj

クールピクス S1200pj

活用ガイド

Jp

商標説明

- Microsoft、PowerPoint、WindowsおよびWindows Vistaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OS、QuickTime、およびiPhoneは、Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。iFrameのロゴおよびシンボルは、Apple Inc.の商標です。
- AdobeおよびAdobe AcrobatはAdobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SDXC、SDHC、SDロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- PictBridgeロゴは商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

(i) AVC規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）
(ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。
詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。
http://www.mpegla.comをご参照ください。

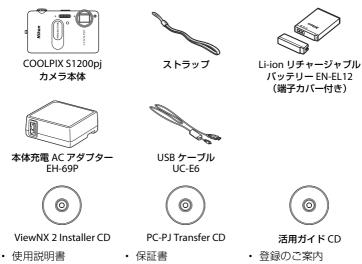
はじめにお読みください

ニコンデジタルカメラCOOLPIX S1200pjをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

お使いになる前に、本製品の使用方法や「安全上のご注意」（📖vi）をよくお読みになり、内容を充分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

箱の中身をご確認ください

万一、不足のものがありましたら、ご購入店にご連絡ください。

- 使用説明書
- 保証書
- 登録のご案内

※メモリーカードは付属していません。

※以下のアクセサリーは付属していません。別売です。

- オーディオビデオケーブル EG-CP16
- リモコン ML-L5

本書について

すぐにカメラをお使いになりたいときは、「撮影と再生の基本ステップ」（□15）をご覧ください。
また、カメラ各部の主な役割や基本的な操作方法は、「各部の名称と基本操作」（□1）をご覧ください。

● 本書の記載について

- 本文中のマークについて

マーク	意味
☑	カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。
✐	カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。
□/⚯/☼	関連情報が記載されているページです。（⚯は「詳細編」、☼は「付録、索引」のページです）。

- SD/SDHC/SDXC メモリーカードを「SDカード」と表記しています。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- 液晶モニターに表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、メッセージなどは、[ ] で囲って表記しています。
- 本書では、液晶モニター上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。
- 本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。

ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちにご購入店にご請求ください。

●カスタマー登録のお願い

下記のホームページから登録をお願いします。

https://reg.nikon-image.com/

付属の「登録のご案内」に記載の登録コードをご用意ください。

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（バッテリー、バッテリーチャージャー、本体充電ACアダプター、ACアダプターなど）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL12 には、ニコン純正品であることを示すホログラムシールが貼られています。
- 模倣品の Li-ion リチャージャブルバッテリーをお使いになると、カメラの充分な性能が出せないことや、バッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となることがあります。

ホログラムシール

- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故、故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●説明書について

- 説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 説明書が破損などによって判読できなくなったときは、下記のホームページからダウンロードできます。

  http://www.nikon-image.com/support/manual/

  ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。

●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影や録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内でお使いになる以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリー（SDカード/カメラ内蔵メモリーを含む）内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトウェアなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。

メモリーを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトウェアなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後にメモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。なお、［**オープニング画面**］（□98）の［**撮影した画像**］も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡/廃棄してください。メモリーを物理的に破壊して廃棄するときは、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しい方法でお使いください。
この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
表示と意味は次のようになっています。

⚠**危険**	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。**
⚠**警告**	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠**注意**	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。**

お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。

絵表示の例	
	△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告（カメラについて）

分解禁止	**分解したり、修理や改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電池、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
電池を取る すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかに電池を取り出すこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。 電池を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。

使用禁止	**引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと** プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。
発光禁止	**車の運転者等にむけてフラッシュを発光しないこと** 事故の原因となります。
発光禁止	**フラッシュや動画照明を人の目に近づけて発光しない** 視力障害の原因となります。 特に乳幼児を撮影する時は1 m以上離れてください。
保管注意	**幼児の口にはいる小さな付属品は、幼児の手の届く所に置かない** 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだときは、直ちに医師にご相談ください。
保管注意	**ストラップが首に巻き付かないようにすること** **特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと** 首に巻き付いて窒息の原因となります。
警告	**指定の電源（電池、本体充電ACアダプターまたはACアダプター）を使うこと** 指定以外のものを使用すると、火災や感電の原因となります。
使用禁止	**充電時やACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。
投映禁止	**プロジェクターや動画照明を車の運転者等に向けて投映しない** 事故の原因になることがあります。

⚠注意（カメラについて）

感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
保管注意	**製品は、幼児の手の届く所に置かない** ケガの原因になることがあります。
保管注意	**使用しないときは、電源をOFFにしてレンズを遮光し、太陽光のあたらない所に保管すること** 太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。
移動注意	**三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと** 転倒したりぶつけたりしてケガの原因になることがあります。
使用注意	**航空機内では、離着陸時に電源をOFFにすること** **病院では、病院の指示に従うこと** 本機器が出す電磁波などが、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。
電池を取る プラグを抜く	**長期間使用しないときは電源（電池、本体充電ACアダプターまたはACアダプター）を外すこと** 電池の液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。 本体充電ACアダプターやACアダプターをお使いの際には、電源プラグをコンセントから抜いて、その後でカメラを取り外してください。火災の原因となることがあります。
発光禁止	**内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと** やけどや発火の原因となることがあります。
直視しない	**プロジェクターの光や動画照明を直接見ない** 視覚に悪影響を及ぼすことがあります。

投映禁止	**プロジェクターを人の目に近づけて投映しないこと** 視覚に悪影響を及ぼすことがあります。
禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。
放置禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと** 内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
禁止	**付属のCD-ROMを音楽用CDプレーヤーで使用しないこと** 機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼすことがあります。
禁止	**通電中のカメラに長時間直接触れない** 使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。

⚠危険

(専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて)

禁止	**電池を火に入れたり、加熱しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
分解禁止	**電池をショート、分解しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	**専用の充電器を使用すること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
使用禁止	**Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL12は、ニコンデジタルカメラ専用の充電池でCOOLPIX S1200pjに対応しています。EN-EL12に対応していない機器には使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	**ネックレス、ヘアピンなど金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないこと** ショートして液もれ、発熱、破裂の原因となります。 持ち運ぶときはバッテリーケースに入れてください。
危険	**電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること** そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠警告

(専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて)

保管注意	**電池は幼児の手の届く所に置かない** 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだときは、直ちに医師にご相談ください。
水かけ禁止	**水につけたり、ぬらさないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
使用禁止	**変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは、充電をやめること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告	**電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること** 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。ニコンサービス機関またはリサイクル協力店にご持参いただくか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。
警告	**電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと** そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠注意
（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

注意	**電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

⚠警告
（本体充電ACアダプターについて）

分解禁止	**分解したり、修理や改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出した時は、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
プラグを抜く すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電源プラグをコンセントから抜くこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電源プラグをコンセントから抜く際、やけどに充分注意してください。 電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
使用禁止	**引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと** プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。
警告	**電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着しているときは、乾いた布で拭き取ること** そのまま使用すると、火災の原因になります。
使用禁止	**雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。
禁止	**ケーブルを傷つけたり、加工したりしないこと** **また、重いものを載せたり、加熱したり、引っぱったり、むりに曲げたりしないこと** ケーブルが破損し、火災、感電の原因となります。
感電注意	**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと** 感電の原因となります。

禁止	**海外旅行者用電子式変圧器(トラベルコンバーター)やDC/ACインバーターなどの電源に接続して使わないこと** 発熱、故障、火災の原因となります。

⚠注意
（本体充電ACアダプターについて）

感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
放置禁止	**製品は、幼児の手の届かない所に置くこと** ケガの原因になることがあります。
禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。
禁止	**通電中のACアダプターに長時間直接触れない** 使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。

⚠危険
（リモコン（別売）用
リチウム電池について）

危険	**電池からもれた液が目に入った時はすぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること** そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠警告
（リモコン（別売）用
リチウム電池について）

禁止	**電池を火に入れたり、加熱しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
分解禁止	**電池をショート、分解しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**電池に表示された警告・注意を守ること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**使用説明書に表示された電池を使用すること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
水かけ禁止	**水につけたり、ぬらさないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
保管注意	**電池は幼児の手の届かない所に置くこと** 幼児の飲み込みの原因となります。万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
警告	**電池の「＋」と「－」の向きをまちがえないようにすること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
禁止	**充電式電池以外は充電しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**電池を廃棄する時はテープなどで接点部を絶縁すること** 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。お住まいの自治体の規則に従って正しく廃棄してください。
警告	**電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときはすぐにきれいな水で洗うこと** そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

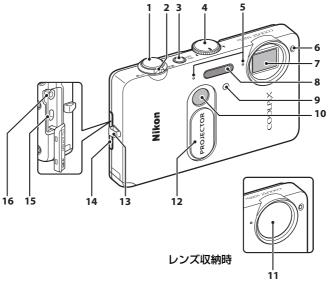
目次

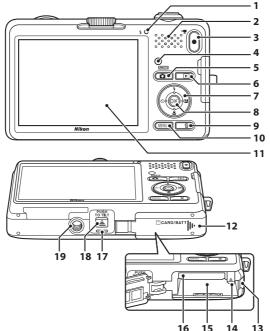
各部の名称と基本操作

この章では、各部の名称のほか、各部の主な役割や基本操作について説明しています。

すぐにカメラをお使いになりたいときは、「撮影と再生の基本ステップ」（□15）をご覧ください。

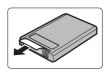
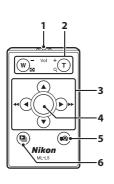
各部の名称

カメラ本体

No.	名称
1	シャッターボタン .... 6、7、30
2	ズームレバー .... 6、7、29 W ：広角ズーム ....6、29 T ：望遠ズーム ....6、29 ▦ ：サムネイル表示 .....7、33 🔍 ：拡大 ....7、33 ❓ ：ヘルプ 39
3	電源スイッチ/電源ランプ .... 22、23
4	プロジェクターフォーカス ダイヤル 80
5	マイク .... 90、⚭55
6	セルフタイマーランプ ....56 AF補助光 ....99 動画照明 .... 93、⚭59

No.	名称
7	レンズ
8	フラッシュ 54
9	リモコン受光部（前面）....36、81
10	プロジェクター窓 80
11	レンズバリアー .... ☀2
12	プロジェクターカバー.... 7、80、83
13	ストラップ取り付け部 5
14	端子カバー ....18、72、⚭21、⚭23
15	USB/オーディオビデオ出力端子 ....18、72、⚭21、⚭23
16	プロジェクター用入力端子 （Dock コネクターケーブル接続用） ....82、⚭82、☀16

1	充電ランプ .... 19、🔗74 フラッシュランプ 54
2	スピーカー .... 94、🔗55
3	●（動画撮影）ボタン .... 6、7、90
4	リモコン受光部（背面）.....36、81
5	（撮影モード）ボタン ....6、7、10、26
6	▶（再生）ボタン ....6、7、10、32、70
7	マルチセレクター 11
8	OK（決定）ボタン ....7、11
9	🗑（削除）ボタン ....6、7、34、🔗56
10	MENU（メニュー）ボタン ....6、7、12、50、71、93、98
11	液晶モニター ....8、26
12	バッテリー /SDカードカバー ....16、17
13	パワーコネクターカバー （別売ACアダプター接続用）...🔗81
14	バッテリーロックレバー 16
15	バッテリー室 16
16	SDカードスロット 20
17	プロジェクター脚 81
18	プロジェクター脚ロックレバー 81
19	三脚ネジ穴 ....☼17

リモコン ML-L5（別売）

撮影時にシャッターをきれます（□36）。プロジェクター投映時（□80）では、投映する画像を切り換えたり、動画を再生したりできます。

リモコンをはじめて使うときは、電池の絶縁シートを矢印方向に取り除いてください。

1	リモコン送信部
2	ズームボタン（撮影時） **W**：広角ズーム **T**：望遠ズーム ズームボタン（プロジェクター投映時） ▦：サムネイル表示 🔍：拡大 －：音量小 ＋：音量大
3	▲▼◀▶（上下左右選択）ボタン
4	決定ボタン
5	📽（プロジェクター）ボタン※
6	▣（スライドショー）ボタン

※ 本機では使用できません。プロジェクターカバー（□2）でプロジェクターの投映を操作します（□7）。

リモコン操作の詳しい説明は、以下のページをご覧ください。

- 撮影モード時：「リモコン（別売）でシャッターをきる」（□36）
- プロジェクター投映時：「プロジェクター投映時に使う主な操作部」（□83）、「▣ プロジェクターでスライドショーを再生する」（□86）

✓ リモコン用電池についてのご注意

- リモコン用電池を交換するときは、電池の「＋」と「－」の向きを確認してください。
- 「安全上のご注意」の「危険」（□x）、「警告」（□x）の注意事項を必ずお守りください。

リモコン用電池（3V CR2025型リチウム電池）の交換方法

①

つまみを矢印の方向に押します。

②

つまみを押したまま、電池ホルダーに爪をかけてまっすぐ引き出します。

③

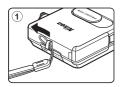
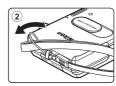
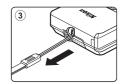
使用済みの電池を外します。

④

電池ホルダーに新しい電池をセットします。「+」の向きにご注意ください。

⑤

電池ホルダーを押し込みます。

ストラップの取り付け方

撮影時に使う主な操作部

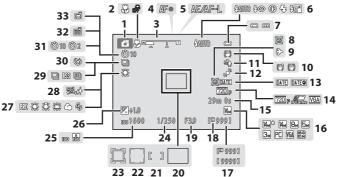
操作部	名称	主な機能	📖
	撮影モードボタン	撮影モードを切り換える（撮影モードを選ぶ画面を表示）	26
	ズームレバー	**T**（🔍）方向でズームを望遠側に移動、**W**（⊞）方向でズームを広角側に移動する	29
	マルチセレクター	→「マルチセレクターを使う」をご覧ください。	11、12
	メニューボタン	メニューを表示/終了する	12、50、93、98
	シャッターボタン	半押し：少し抵抗を感じるところまで押し、ピントと露出を固定する 全押し：深く押し込み、シャッターをきる	30
	動画撮影ボタン	動画撮影を開始/終了する	90
	再生ボタン	画像を再生する	32、70、94
	削除ボタン	最後に保存した画像を1コマ削除する	34

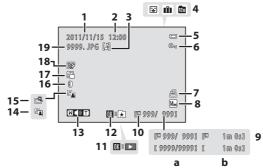
再生時/プロジェクター投映時に使う主な操作部

操作部	名称	主な機能	📖
	再生ボタン	• 再生モードを切り換える（再生モードを選ぶ画面を表示） • 電源OFF時に長押しして、再生モードで電源をONにする	70 23
	ズームレバー	• T（Q）方向で拡大表示、W（▦）方向でサムネイル/カレンダー表示する • 音量を調節する	33 94
	マルチセレクター	→「マルチセレクターを使う」をご覧ください。	11、12
	決定ボタン	• サムネイル表示/拡大表示から1コマ表示に戻る • お気に入り登録/解除する • 動画を再生する	33 ⚯4、⚯5 94
	メニューボタン	メニューを表示/終了する	12、71、98
	削除ボタン	画像を削除する	34
	撮影モードボタン	撮影画面に切り換える ※ プロジェクター投映時は、撮影画面に切り換えることができません。プロジェクターカバーを閉じてから操作を行ってください。	–
	シャッターボタン		–
	動画撮影ボタン		–
	プロジェクターカバー	開く：投映を開始する 閉じる：投映を終了する	80

液晶モニターの表示内容

- 撮影、再生画面に表示される情報は、カメラの設定や状態によって異なります。初期設定では電源ON時や操作時などに表示され、数秒後に消灯します（[**モニター設定**]（□98）→［**モニター表示設定**］→［**情報AUTO**］時）。

撮影モード

番号	項目	ページ
1	撮影モード	26、38、39、46、47
2	マクロモード	57
3	ズーム表示	29、57
4	AF表示	30
5	AE/AF-L表示	⚭3
6	フラッシュモード	54
7	バッテリー残量表示	22
8	日時未設定	24、⚭61、⚭82
9	訪問先	98、⚭61
10	手ブレ補正	99、⚭67
11	風切り音低減	93、⚭59
12	モーション検知表示	99、⚭68
13	デート写し込み	99、⚭66
14	動画設定	93、⚭58
15	記録可能時間（動画）	90
16	画像モード	61
17	記録可能コマ数（静止画）	22
18	内蔵メモリー表示	22
19	絞り値	30
20	AFエリア（オート）	30、52、⚭42
21	AFエリア（マニュアル、中央時）	52、⚭43
22	AFエリア（顔認識時、ペット検出時）	30、45、47、52、⚭42
23	AFエリア（ターゲット追尾時）	52、⚭43
24	シャッタースピード	30
25	ISO感度表示	51、⚭41
26	露出補正値	58
27	ホワイトバランス	51、⚭37
28	美肌効果	49、⚭36
29	連写モード	51、⚭39
30	目つぶり軽減	49、⚭36
31	セルフタイマー	56
32	笑顔自動シャッター	49、⚭36
33	ペット自動シャッター	45

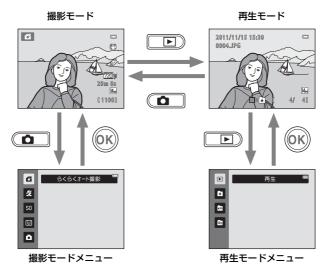
再生モード

番号	項目	ページ
1	撮影日	24
2	撮影時刻	24
3	音声メモ表示	71、E55
4	お気に入りフォルダー表示	E4
	オート分類項目表示	E7
	撮影日一覧表示	E9
5	バッテリー残量表示	22
6	プロテクト表示	71、E52
7	プリント指定表示	71、E46
8	画像モード	61
	動画設定	93、E58
9	a 画像の番号/全画像数	32
	b 動画の再生時間	94
10	内蔵メモリー表示	32
11	動画再生ガイド	94
12	お気に入り登録ガイド	E4
13	音量表示	94、E55
14	D-ライティング済み表示	71、E13
15	簡単レタッチ済み表示	71、E12
16	フィルター効果済み表示	71、E16
17	スモールピクチャー	71、E18
18	メイクアップ済み表示	71、E14
19	ファイル名	E80

撮影モードと再生モードを切り換える

このカメラには、画像を撮影する「撮影モード」と、撮影した画像を再生する「再生モード」があります。

「再生モード」へ切り換えるには、▶（再生）ボタンを押します。

「撮影モード」へ切り換えるには、📷（撮影モード）ボタンを押します。

- 再生モードでシャッターボタン、または●（🎥動画撮影）ボタンを押しても、撮影モードになります（プロジェクター投映時除く）。

- 撮影モードで 📷（撮影モード）ボタンを押すと、撮影モードの種類を選ぶ画面（撮影モードメニュー）が表示されます（📖26）。
- 再生モードで▶（再生）ボタンを押すと、再生モードの種類を選ぶ画面（再生モードメニュー）が表示されます（📖70）。
- 撮影した画像をプロジェクターで再生するには、プロジェクターカバーを開けます。投映を終了するには、プロジェクターカバーを閉じます（📖80、83）。

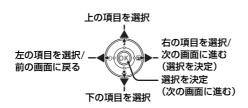
マルチセレクターを使う

上（▲）、下（▼）、左（◀）、右（▶）、または㊍ボタンを押して操作します。

撮影モード時

再生モード時/プロジェクター投映時

※サムネイル表示/拡大表示時は、1コマ表示に戻ります。

メニュー表示時

メニューを使う（MENU ボタン）

撮影、再生時の画面でMENU ボタンを押すと、選んでいるモードに応じたメニューが表示されます。メニュー画面では、撮影や再生、カメラに関する各種設定を変更できます。

撮影モード

再生モード

📷タブ：
使用中の撮影モード（📖26）で使える項目を表示します。タブのアイコンは、撮影モードによって異なります。

🎥タブ：
動画撮影専用の項目を表示します。

🔧タブ：
セットアップメニュー（カメラに関する基本設定）の項目を表示します。

▶タブ：
使用中の再生モード（📖70）で使える項目を表示します。タブのアイコンは再生モードによって異なります。

🔧タブ：
セットアップメニュー（カメラに関する基本設定）の項目を表示します。

タブが表示されないときは

MENU ボタンを押して、画像モードを選ぶ画面になったときは、マルチセレクターの◀を押すとタブを表示できます。

タブの切り換え方

マルチセレクターの◀を押してタブに移動します。

マルチセレクターの▲▼を押してタブを選び、OKボタンまたは▶を押します。

選んだタブのメニューが表示されます。

メニュー項目の選び方

マルチセレクターの▲▼で項目を選び、▶またはOKボタンを押します。

▲▼で項目を選び、OKボタンを押します。

設定が終わったら、MENU（メニュー）ボタンを押してメニューの表示を終了します。

メニュー画面が2ページ以上あるとき

ページの位置を示すバーが表示されます。

撮影と再生の基本ステップ

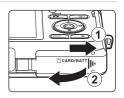
準備

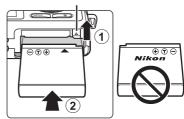
撮影

再生

その他

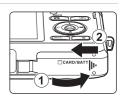
準備1　バッテリーを入れる

1 バッテリー/SDカードカバーを矢印の方向にスライドし（①）、カバーを開ける（②）

2 付属のバッテリー EN-EL12（リチウムイオン充電池）を入れる

- バッテリーでオレンジ色のバッテリーロックレバーを矢印の方向に押し上げながら（①）、奥まで差し込みます（②）。
- 正しく入れると、バッテリーロックレバーでバッテリーが固定されます。

逆挿入に注意

バッテリーの向きを間違えると、カメラを破損するおそれがあります。正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

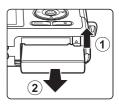
3 バッテリー /SDカードカバーを閉じる

- ご購入直後やバッテリー残量が少なくなったときは、バッテリーを充電してからお使いください。→□18

バッテリーを取り出すときは

電源をOFFにして、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、バッテリー/SDカードカバーを開けます。
オレンジ色のバッテリーロックレバーを矢印の方向に押すと（①）、バッテリーが押し出されるので、まっすぐ引き抜きます（②）。

高温注意

カメラを使った直後は、カメラやバッテリー、SDカードが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

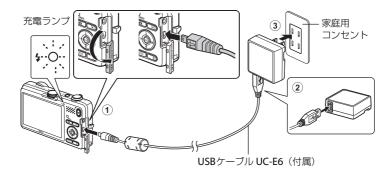
撮影と再生の基本ステップ

バッテリーについてのご注意

- リチャージャブルバッテリーをお使いになるときは、「安全上のご注意」の「危険」（□viii）、「警告」（□viii）、「注意」（□ix）の注意事項を必ずお守りください。
- 「取り扱い上のご注意」（☆2～☆5）をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくお使いください。

準備2　バッテリーを充電する

1　付属の本体充電ACアダプター EH-69Pを用意する

2　バッテリーを入れたカメラと本体充電ACアダプターを①～③の順に接続する

- 電源はOFFにしたままにしてください。
- プラグの挿入方向を確認して、無理な力を加えずにまっすぐに差し込んでください。プラグを外すときも、まっすぐに引き抜いてください。

- カメラの充電ランプが緑色でゆっくり点滅し、充電が始まります。
- 残量がないバッテリーの場合、フル充電までの時間は約5時間です。
- フル充電されると、充電ランプが消灯します。
- 充電ランプについて→□19

3　コンセントから本体充電AC アダプターを外し、USBケーブルを外す

- カメラをEH-69Pでコンセントに接続しているときは、カメラの電源はONにできません。

充電ランプについて

充電ランプ	意味
ゆっくり点滅（緑色）	充電中です。
消灯	充電していません。ゆっくりした点滅（緑色）から消灯に変わると、充電の完了です。
速い点滅（緑色）	• 使用可能な温度ではありません。周囲の温度が 5℃～35℃の室内で充電してください。 • USB ケーブルまたは本体充電 AC アダプターが正しく接続されていないか、バッテリーの異常です。正しく接続し直すか、バッテリーを交換してください。

本体充電ACアダプターについてのご注意

- 本体充電ACアダプターをお使いになるときは、「安全上のご注意」の「警告」（□ix）、「注意」（□x）の注意事項を必ずお守りください。
- 「取り扱い上のご注意」（☆2～☆5）をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくお使いください。

パソコンや充電器で充電する

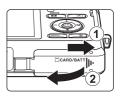
- COOLPIX S1200pjをパソコンに接続してもLi-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL12を充電できます（□72、⊶73）。
- 別売のバッテリーチャージャー MH-65P（⊶81）を使うと、カメラを使わずにEN-EL12を充電できます。

AC電源について

- 別売のACアダプター　EH-62F（⊶81）を使うと、家庭用コンセント（AC 100 V）からこのカメラへ電源を供給して撮影または再生ができます。
- EH-62F以外のACアダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

準備3　SDカードを入れる

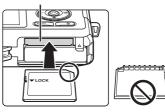
1 電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、バッテリー /SDカードカバーを開ける

- カバーを開けるときは、必ず電源をOFFにしてください。

2 SDカードを入れる

- カチッと音がするまで差し込んでください。

逆挿入に注意

SDカードの向きを間違えると、カメラやSDカードを破損するおそれがあります。 正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

SDカードスロット

3 バッテリー /SDカードカバーを閉じる

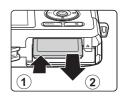
SDカードの初期化について

- 他の機器で使ったSDカードをこのカメラで初めて使うときは、このカメラで初期化してからお使いください。
- **SDカードを初期化すると、カード内のデータはすべて消えてしまいます。** カード内に必要なデータが残っているときは、初期化する前に、パソコンなどに保存してください。
- SDカードを初期化するには、カードをカメラに入れてから、MENUボタンを押し、セットアップメニュー（□98）の［**カードの初期化**］（□100）を選びます。

SDカードについてのご注意

SDカードの説明書や「取り扱い上のご注意　メモリーカードについて」（☼5）をご覧ください。

SDカードを取り出すときは

電源をOFFにして、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、バッテリー/SDカードカバーを開けます。
SDカードを指で軽く奥に押し込むと（①）、SDカードが押し出されるので、まっすぐ引き抜きます（②）。

高温注意

カメラを使った直後は、カメラやバッテリー、SDカードが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

内蔵メモリーとSDカードについて

撮影したデータは、カメラの内蔵メモリー（約94 MB）、またはSDカードのどちらかに記録されます。内蔵メモリーを使って記録や再生をするときはSDカードを取り出してください。

推奨SDカード

下記のSDカードの動作を確認しています。

- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のカードをおすすめします。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。

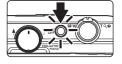
	SDメモリーカード	SDHCメモリーカード※2	SDXCメモリーカード※3
SanDisk	2 GB※1	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB
TOSHIBA	2 GB※1	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB
Panasonic	2 GB※1	4 GB、8 GB、12 GB、16 GB、32 GB	48 GB、64 GB
Lexar	-	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	-

※1　カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器が2 GBのSDカードに対応している必要があります。
※2　SDHC 規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDHC規格に対応している必要があります。
※3　SDXC 規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDXC規格に対応している必要があります。

- 上記SDカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、カードメーカーにお問い合わせください。その他のメーカー製のSDカードは、動作の保証をいたしかねます。

ステップ1　電源をONにする

1 電源スイッチを押して、電源をONにする

- はじめて電源をONにしたときは →「表示言語と日時を設定する」(□24)
- 液晶モニターが点灯します。

2 バッテリー残量表示と記録可能コマ数を確認する

バッテリー残量表示	意味
▭※	バッテリー残量はあります。
▬	バッテリー残量が少なくなりました。バッテリーの充電や交換の準備をしてください。
電池残量がありません	撮影できません。バッテリーを充電または交換してください。

※ プロジェクター投映のスライドショー再生中、外部入力再生中は、表示されません。

記録可能コマ数

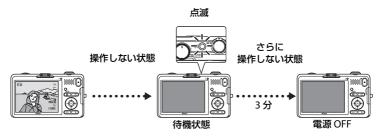
撮影できる残りのコマ数が表示されます。

- SD カードをカメラに入れていないときは、IN が表示され、画像を内蔵メモリー（約94 MB）に記録します。
- 記録可能コマ数は、内蔵メモリーまたはセットしているSDカードのメモリー残量と画質/画像サイズ（画像モード）によって異なります（□62）。
- イラスト上の記録可能コマ数の数値は、実際とは異なります。

電源のON/OFFについて

- 電源をONにすると、電源ランプ（緑色）が点灯し、液晶モニターが点灯します（液晶モニターが点灯すると、電源ランプは消灯します）。
- 電源をOFFにするには、電源スイッチを押します。電源ランプも、液晶モニターも消灯します。
- 再生モードで電源をONにするには、▶（再生）ボタンを長押しします。

節電機能について（オートパワーオフ）

カメラを操作しない状態が続くと、液晶モニターが消灯して待機状態になり、電源ランプが点滅します。待機状態が約3分続くと電源はOFFになります。
待機中に液晶モニターを再点灯するには、以下のボタンのいずれかを押します。
→ 電源スイッチ、シャッターボタン、📷（撮影モード）ボタン、▶（再生）ボタン、または●（🎥動画撮影）ボタン

- 待機状態になるまでの時間は、セットアップメニュー（□98）の［**オートパワーオフ**］（□100）で変更できます。
- 初期設定では、撮影時または再生時は、約1分で待機状態になります。
- ACアダプター EH-62F（別売）使用時は、30分（固定）で待機状態になります。
- 「投映時の節電機能について」→□82

撮影と再生の基本ステップ

表示言語と日時を設定する

ご購入後はじめて電源をONにすると、表示言語やカメラの内蔵時計の日時を設定する画面が自動的に表示されます。

1 マルチセレクターの▲または▼で表示言語を選び、Ⓚボタンを押す

2 ▲または▼で［**はい**］を選び、Ⓚボタンを押す

- 設定を中止するときは［**いいえ**］を選びます。

3 ◀または▶で自宅のある地域（タイムゾーン）を選び、Ⓚボタンを押す

- 夏時間を設定するには→□25

4 ▲または▼で日付の表示順を選び、Ⓚボタンまたは▶を押す

5 ▲、◀、▼または▶で日時を合わせ、Ⓚボタンを押す

- 項目を選ぶ：▶または◀を押します（［**年**］、［**月**］、［**日**］、［**時**］、［**分**］に切り換わります）。
- 項目の内容を合わせる：▲または▼を押します。
- 設定を完了する：［**分**］を選び、Ⓚボタンまたは▶を押します。
- 設定が完了すると、撮影画面になります。

撮影と再生の基本ステップ

夏時間を設定する

夏時間（サマータイム）制のある地域で、その期間中に日時を設定するときは、手順3の地域設定画面でマルチセレクターの▲を押して夏時間の設定をオンにします。

- 設定をオンにすると、画面上部に マークが表示されます。オフにするには、▼を押します。

言語や日時の設定をやり直すときは

- セットアップメニュー（98）で［**言語/Language**］または［**地域と日時**］を設定します。
- 日時の設定後、セットアップメニュー→［**地域と日時**］→［**タイムゾーン**］で夏時間の設定をオンにすると時計が1時間早くなり、オフにすると1時間戻ります。訪問先（✈）のタイムゾーンを登録すると、自宅（⌂）との時差を自動的に計算し、撮影日時を現地時間で記録できます。
- 日時未設定のまま、日時設定の画面を終了すると、撮影画面でが点滅します。セットアップメニューの［**地域と日時**］で日時を設定してください（98）。

時計用電池について

- カメラの時計は、カメラに入れるバッテリーとは別のバックアップ用電池で動いています。
- バックアップ用電池は、カメラにバッテリーを入れるかACアダプター（別売）を接続すると、約10時間で充電され、日時の設定を数日間、記憶できます。
- バックアップ用電池が切れたときは、電源をONにすると、日時を設定する画面が表示されます。日時を再設定してください。→「表示言語と日時を設定する」（24手順2）

撮影日入りの画像をプリントするには

- 撮影前に、カメラの日時を正しく設定してください。
- セットアップメニュー（98）で［**デート写し込み**］を設定すると、撮影時に、画像に日付を写し込めます。
- ［**デート写し込み**］を設定しないで撮影した画像は、ソフトウェア「ViewNX 2」（73）を使うと、日付を入れてプリントできます。

ステップ2　撮影モードを選ぶ

1 ボタンを押す

- 撮影モードを選ぶ画面（撮影モードメニュー）が表示されます。

2 マルチセレクターの▲または▼で撮影モードを選ぶ

- ここでは、（らくらくオート撮影）モードを例に説明します。［**らくらくオート撮影**］を選んでください。

3 ボタンを押す

- （らくらくオート撮影）モードの撮影画面になります。撮影モードアイコンは、被写体や構図に合わせて、、、、、、またはに変わります。
- 撮影画面の表示について→「液晶モニターの表示内容」（8）
- 選んだ撮影モードは電源をOFFにしても記憶されます。

撮影モードの種類

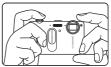
	らくらくオート撮影	38
	構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動的で選ぶので、簡単にシーンに適した撮影ができます。	
	シーン	39
	撮影シーンを選ぶと、そのシーンに適した設定で撮影ができます。 ・シーンを選ぶには、撮影モードメニューで、マルチセレクターの ▶ を押し、▲▼◀ ▶ でシーンを選んで OK ボタンを押します。	
SO	**スペシャルエフェクト**	46
	画像に効果を付けて撮影できます。6種類の撮影効果から選べます。 ・効果を選ぶには、撮影モードメニューで、マルチセレクターの ▶ を押し、▲▼◀ ▶ でシーンを選んで OK ボタンを押します。	
	ベストフェイス	47
	カメラが人物の笑顔を検出すると、シャッターボタンを押さなくても自動でシャッターがきれます（笑顔自動シャッター）。美肌機能で人物の顔の肌をなめらかにできます。	
	オート撮影	50
	基本的な撮影ができます。また、撮影状況や撮影意図に合わせて撮影メニュー（51）の項目を設定できます。	

撮影モードで使える機能について

- マルチセレクターの▲（）、▼（）、◀（）または▶（）の機能を設定できます。→「マルチセレクターで設定できる機能」（53）
- MENUボタンを押すと、選んだ撮影モードに応じたメニュー項目が表示されます。撮影モードに応じたメニュー項目は、「いろいろな撮影」（37）をご覧ください。

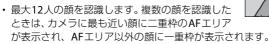
ステップ3　カメラを構え、構図を決める

1　カメラをしっかりと構える

- レンズやフラッシュ、AF補助光、マイク、スピーカーなどに指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。

- 縦位置で撮影するときは、フラッシュの位置をレンズよりも上にしてください。

2　構図を決める

撮影モードアイコン

- カメラが撮影シーンを自動判別すると、撮影モードアイコンが切り換わります（📖38）。
- カメラが人物の顔を認識したときは、顔に黄色い二重枠のAF（オートフォーカス）エリアが表示されます。

- 最大12人の顔を認識します。複数の顔を認識したときは、カメラに最も近い顔に二重枠のAFエリアが表示され、AFエリア以外の顔に一重枠が表示されます。
- 人物以外の撮影や顔を認識できない構図では、AF エリアは表示されません。写したいもの（被写体）を画面の中央付近に合わせます。

🖉 ◘（らくらくオート撮影）モードのご注意

電子ズーム使用時は、撮影シーンの判別は◘になります。

🖉 三脚の使用について

- 以下の場合などは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。
  - 暗い場所で撮影するときや、フラッシュモード（📖55）を⊛（発光禁止）にして撮影するとき
  - 望遠側で撮影するとき
- 三脚などに固定して撮影するときは、セットアップメニュー（📖99）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

ズームを使う

ズームレバーを回すと、光学ズームが作動します。

- 被写体を大きく写す：**T**（望遠）方向に回す。
- 広い範囲を写す：**W**（広角）方向に回す。
- 電源をONにしたときは、最も広角側になっています。

- ズームレバーを回すと液晶モニターの画面上部にズームの量が表示されます。

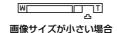
電子ズームについて

光学ズームを最も望遠側（光学ズームの最大倍率）にして、さらにズームレバーを**T**方向に回し続けると、電子ズームが作動します。
電子ズームは、光学ズームの最大倍率の約4倍まで拡大できます。

- 電子ズーム使用時は、AFエリアは表示されず、画面中央でピントが合います。

電子ズームと画質の劣化について

電子ズームは光学ズームとは異なり、画像をデジタル処理で拡大するため、使用する画像モード（□61）や電子ズームの倍率によって、画質が劣化します。
ズーム表示の凸マークは、静止画の撮影で画質の劣化が始まるズーム位置を示しています。このマークを越えてズーム倍率を上げると劣化が始まり、ズーム表示も黄色に変わります。凸マークの位置は画像サイズが小さいほど右に移動しますので、設定した画像モードで画質を劣化させずに静止画を撮影できるズーム位置を事前に確認できます。

画像サイズが小さい場合

- セットアップメニュー（□98）の［**電子ズーム**］（□99）で、電子ズームを作動しない設定にできます。

ステップ4　ピントを合わせ、シャッターをきる

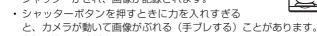
1 シャッターボタンを指先に少し抵抗を感じるところまで押し、そのまま止める（これを「半押し」といいます）

- 半押しすると、ピントと露出（シャッタースピードと絞り値の組み合わせ）が決まります。ピントと露出は、半押しを続けている間、固定されます。
- 顔認識した場合：
  二重枠のAFエリアで囲まれた顔にピントが合います。ピントが合うと二重枠が緑色になります。

- 顔認識していない場合：
  撮影シーンに応じてカメラが選んだAFエリアでピントが合います。ピントが合うと、ピントが合った場所のAFエリア表示が緑色に点灯します（最大9カ所）。

- 電子ズーム使用時は、AFエリアは表示されず、画面中央でピントが合います。ピントが合うとAF表示（📖8）が緑色に点灯します。
- 半押しして、AFエリアまたはAF表示が赤色に点滅したときはピントが合っていません。構図を変えて、もう一度シャッターボタンを半押ししてください。

2 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込む（これを「全押し」といいます）

- シャッターがきれ、画像が記録されます。
- シャッターボタンを押すときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる（手ブレする）ことがあります。ゆっくりと押し込んでください。

画像の記録についてのご注意

- 液晶モニターで「記録可能コマ数」が点滅しているときは、画像の記録中です。**バッテリー /SDカードカバーを開けないでください。**画像の記録中にSDカードやバッテリーを取り出すと、画像が記録されないことや、撮影した画像やカメラ、SDカードが壊れることがあります。
- 設定や撮影状況によっては、記録の終了までに時間がかかることがあります（12）。

オートフォーカスが苦手な被写体

以下のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができないことがあります。

また、AFエリアやAF表示が緑色に点灯しても、まれにピントが合っていないことがあります。

- 被写体が非常に暗い
- 画面内の輝度差が非常に大きい（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）
- 同じパターンを繰り返す被写体（窓のブラインドや、同じ形状の窓が並んだビルなど）
- 動きの速い被写体

このような被写体を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、オート撮影モードなどで、等距離にある別の被写体にピントを合わせて、フォーカスロック撮影（68）をお試しください。

顔認識機能についてのご注意

詳しくは、「顔認識撮影について」（65）をご覧ください。

AF補助光とフラッシュについて

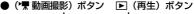
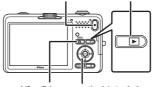
暗い場所などでは、シャッターボタンを半押ししたときにAF補助光（99）が点灯することや、全押ししたときにフラッシュ（54）が発光することがあります。

シャッターチャンスを優先する撮影では

シャッターチャンスが重要な撮影では、半押しせずに、全押ししてもシャッターをきれます。

ステップ5　画像を再生する

1　▶（再生）ボタンを押す

- 撮影モードから再生モードに切り換わり、最後に保存した画像を 1 コマ表示します。

2　マルチセレクターで前後の画像を表示する

- 前の画像を表示する：▲または◀
- 次の画像を表示する：▼または▶
- 内蔵メモリーに保存した画像を再生するときは、SD カードを取り出します。「画像の番号/全画像数」に IN が表示されます。
- 撮影に戻るには、 ボタン、シャッターボタン、または●（動画撮影）ボタンを押します。

画像の番号 / 全画像数

画像の再生について

- 前後の画像に切り換えた直後は、表示が粗いことがあります。
- 顔認識（65）またはペット検出（45）して撮影した画像は、1コマ表示で再生すると、顔の上下方向に合わせて自動的に回転して表示されます（［**連写**］、［**BSS**］、［**マルチ連写**］（51）で撮影した画像を除く）。
- 画像の向き（縦横位置）は、再生メニュー（71）の［**画像回転**］で変更できます。

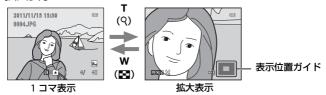
関連ページ

- 「再生モードで使える機能（再生メニュー）」（71）
- 「再生する画像を絞り込む」（70）

画像の表示方法を変更する

再生モードでズームレバー（**W**（▣）/ **T**（Q））（□6）を操作すると、画像の表示方法を変更できます。

拡大表示

1 コマ表示　　拡大表示

- 拡大率を調節するには、ズームレバー（**W**（▣）/**T**（Q））を操作します。約10倍まで拡大できます。
- 表示位置を移動するには、マルチセレクターの▲▼◀ ▶を押します。
- 顔認識（□65）またはペット検出（□45）して撮影した画像は、撮影時に認識した顔を中心に拡大表示します（[**連写**]、[**BSS**]、[**マルチ連写**]（□51）で撮影した画像を除く）。複数の顔を認識したときは、▲▼◀ ▶で、別の顔に移動できます。顔以外の位置を拡大するには、いったん拡大率を変更してから▲▼◀▶を押します。
- MENUボタンを押すと、表示されている部分だけにトリミングし、別画像として保存できます（⚯19）。
- ⓀボタンOKを押すと、1コマ表示に戻ります。

サムネイル表示/カレンダー表示

1 コマ表示　　サムネイル表示（4 コマ /9 コマ /16 コマ）　　カレンダー表示

- 複数の画像を同時に表示するので、目的の画像が探しやすくなります。
- 表示コマ数は、ズームレバー（**W**（▣）/**T**（Q））で変更できます。
- マルチセレクターの▲▼◀ ▶で画像を選びⓀボタンを押すと、選んだ画像を1コマ表示します。
- サムネイル表示を16コマにした後、ズームレバーを**W**（▣）方向に回すと、「カレンダー表示」になります（撮影日一覧モードを除く）。
- カレンダー表示でマルチセレクターの▲▼◀ ▶で日付を選んでⓀボタンを押すと、その日に撮影した最初の画像に移動して表示します。

ステップ6　不要な画像を削除する

1 削除したい画像を表示し、🗑ボタンを押す

2 マルチセレクターの ▲ または ▼ で削除方法を選び、OKボタンを押す

- ［**表示画像**］：表示している1コマを削除します。
- ［**削除画像選択**］：複数の画像を選んで削除します。
  →「削除画像選択画面の操作方法」（📖35）
- ［**全画像**］：すべての画像を削除します。
- 削除をやめるには、MENUボタンを押します。

3 ▲または▼で［**はい**］を選び、OKボタンを押す

- 削除した画像は、もとに戻せません。
- 削除をやめるときは、▲または▼で［**いいえ**］を選び、OKボタンを押します。

✔ 画像削除についてのご注意

- 削除した画像はもとに戻せません。残しておきたい画像はパソコンなどに保存することをおすすめします。
- プロテクト設定（📖71）した画像は、削除されません。

🖉 撮影モードで画像を削除する

撮影モードで🗑ボタンを押すと、最後に保存した画像を削除できます。

削除画像選択画面の操作方法

1 マルチセレクターの◀または▶で削除したい画像を選び、▲で✓を表示する

- 選択を解除するときは、▼を押して✓を非表示にします。
- ズームレバー（□2）を**T**（Q）方向に回すと1コマ表示に、**W**（▦）方向に回すと一覧表示に切り換わります。

2 削除したい画像すべてに✓を表示し、Ⓚボタンを押して選択を決定する

- 確認画面が表示されます。画面の表示に従って操作してください。

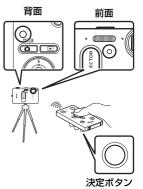
削除する画像を絞り込むには

お気に入り再生モード、オート分類再生モードまたは撮影日一覧モードに切り換えると、お気に入りフォルダー、分類や撮影日ごとに画像を絞り込んで削除できます（□70）。

リモコン（別売）でシャッターをきる

別売のリモコンML-L5（□4）を使ってカメラのシャッターをきれます。

- リモコンを使って撮影するときは三脚の使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（□98）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。
- リモコンの送信部をカメラ前面または背面のリモコン受光部(□2、3）に向けて決定ボタンを押すとシャッターがきれ、画像が記録されます。
- 約5 m以内の距離で、決定ボタンを押してください。
- リモコンの **T** または **W** ボタンを押すとズーム操作できます（動画撮影中を除く）。
- セルフタイマー（□56）と併用できます。リモコンの決定ボタンでセルフタイマーが動作します。シャッターがきれると、セルフタイマーは［**OFF**］になります。

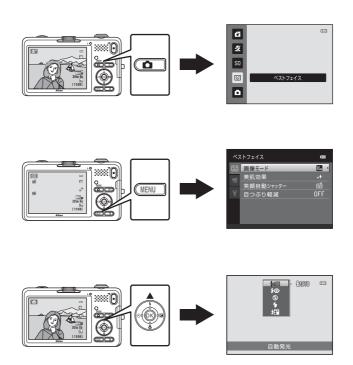
撮影と再生の基本ステップ

いろいろな撮影

この章では、各撮影モードの特徴や、撮影モードで使える機能などを説明しています。

撮影状況や撮影意図に合わせて設定を変えると、撮影方法や画像の仕上がりを工夫できます。

ベストフェイス

ベストフェイス
画像モード
美肌効果
笑顔自動シャッター
目つぶり軽減 OFF

自動発光

（らくらくオート撮影）モード

構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動的に選ぶので、簡単にシーンに適した撮影ができます。

撮影画面にする → （撮影モード）ボタン→ らくらくオート撮影モード（□26～27）

- カメラを被写体に向けると、以下の撮影シーンに合わせた設定に自動的に切り換わります。
  - ：ポートレート
  - ：風景
  - ：夜景ポートレート
  - ：夜景
  - ：クローズアップ
  - ：逆光
  - ：その他の撮影シーン
- ピント合わせをするエリア（AFエリア）は、構図によってカメラが選びます。カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（□65）。

らくらくオート撮影モードのご注意

- 電子ズーム使用時は、撮影シーンの判別はになります。
- 撮影状況によっては、意図したシーンに切り換わらないことがあります。その場合は、他の撮影モードに切り換えて撮影してください。

（らくらくオート撮影）モードの設定を変える

- マルチセレクターで設定できる機能（□53）→フラッシュモード（□54）、セルフタイマー（□56）、露出補正（□58）
- MENUボタンで設定できる機能→画像サイズと画質の組み合わせ（画像モード）を設定できます（□61）。

シーンモード（シーンに合わせて撮影する）

撮影シーンを以下から選ぶと、そのシーンに適した設定で撮影ができます。

> 撮影画面にする ➔ ◘（撮影モード）ボタン ➔ 🯅（上から2番目のアイコン※）➔▶➔ シーンの選択（□26～27）

※ 前回選んだシーンのアイコンが表示されます。初期設定は🯅（ポートレート）です。

ポートレート（□40）	風景（□40）	スポーツ（□40）	夜景ポートレート（□41）
パーティー（□41）	ビーチ（□41）	雪（□41）	夕焼け（□41）
トワイライト（□42）	夜景（□42）	クローズアップ（□42）	料理（□43）
ミュージアム（□43）	打ち上げ花火（□43）	モノクロコピー（□44）	逆光（□44）
パノラマアシスト（□44）	ペット（□45）		

各シーンの説明を見るには（ヘルプ表示）

シーンを選ぶ画面でシーンの種類を選び、ズームレバー（□2）を**T**（?）方向に回すと、そのシーンの説明を表示できます。もとの画面に戻るには、もう一度ズームレバーを**T**（?）方向に回します。

シーンモードの設定を変える

- シーンによっては、マルチセレクターの▲（⚡）、▼（🌷）、◀（⏲）または▶（☒）の機能を設定できます。→「初期設定一覧」（□59）
- MENUボタンで設定できる機能→画像サイズと画質の組み合わせ（画像モード）を設定できます（□61）。

シーンモードの種類と特徴

ポートレート

人物のポートレート撮影に使います。
- カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（□65）。
- 美肌機能で人物の顔の肌をなめらかにしてから画像を記録します（□67）。
- 顔を認識しないときは、画面中央の被写体にピントが合います。
- 電子ズームは使えません。

風景

自然の風景や街並みなどを、色鮮やかに撮影したいときに使います。
- シャッターボタンを半押しすると、常に AF エリアまたは AF 表示（□8）が緑色に点灯します。

スポーツ

運動会などスポーツ写真を撮影するときに使います。動きのある被写体の一瞬の動きを連写（連続撮影）によって鮮明にとらえます。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- 連写するには、シャッターボタンを全押しし続けます。約 0.8 コマ / 秒の速さで約 18 コマまで連写できます（画像モードが［**14M 4320 × 3240**］のとき）。
- シャッターボタンを半押ししていないときもピント合わせを行います。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。
- 連写した画像のピント、露出および色合いは、1 コマ目と同じ条件に固定されます。
- 画像モード、SD カードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります。

三脚マーク：三脚マークが記載されているシーンでは、三脚などのご使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（□98）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

夜景ポートレート

夕景や夜景を背景にした人物を撮影するときに使います。
- カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（📖65）。
- 美肌機能で人物の顔の肌をなめらかにしてから画像を記録します（📖67）。
- 顔を認識しないときは、画面中央の被写体にピントが合います。
- 電子ズームは使えません。

パーティー

パーティー会場などでの撮影に使います。キャンドルライトなどの背景を活かして、雰囲気のある画像に仕上げます。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- 暗い場所では手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（📖98）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

ビーチ

晴天の海や砂浜、湖などを明るく鮮やかに撮影したいときに使います。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。

雪

晴天の雪景色を明るく鮮やかに撮影したいときに使います。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。

夕焼け

赤い夕焼けや朝焼けの撮影に使います。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。

トワイライト

夜明け前や日没後のわずかな自然光の中での風景撮影に使います。
- シャッターボタンを半押しすると、常に AF エリアまたは AF 表示（8）が緑色に点灯します。

夜景

遅いシャッタースピードで夜景の雰囲気を表現します。
- シャッターボタンを半押しすると、常に AF エリアまたは AF 表示（8）が緑色に点灯します。
- 電子ズームは使えません。

クローズアップ

草花や昆虫、小さな被写体などの接写（近接撮影）に使います。
- マクロモード（57）が ON になり、ズームが自動的に最短距離で撮影可能な位置まで移動します。
- ピントを合わせるエリア（AF エリア）を移動できます。移動するには、OK ボタンを押し、マルチセレクターの ▲▼◀▶ を押します。
  以下の設定をするときは、OK ボタンを押していったん AF エリアが選べる状態を解除し、それぞれの設定を行います。
  - フラッシュモード
  - セルフタイマー
  - 露出補正
- シャッターボタンを半押ししていないときもピント合わせを行います。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。

三脚マーク：三脚マークが記載されているシーンでは、三脚などのご使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（98）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

料理

料理の撮影に使います。

- マクロモード（□57）が ON になり、ズームが自動的に最短距離で撮影可能な位置まで移動します。
- 色合いをマルチセレクターの ▲▼ で調節できます。色合いの設定は、電源を OFF にしても記憶されます。
- ピントを合わせるエリア（AF エリア）を移動できます。移動するには、Ⓚ ボタンを押し、マルチセレクターの ▲▼◀▶ を押します。
  以下の設定をするときは、Ⓚ ボタンを押していったん AF エリアが選べる状態を解除し、それぞれの設定を行います。
  - 色合い
  - セルフタイマー
  - 露出補正
- シャッターボタンを半押ししていないときもピント合わせを行います。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。

ミュージアム

フラッシュ撮影が禁止されている美術館など、フラッシュを発光させたくない場所で使います。

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- シャッターボタンを全押しし続けると、最大 10 コマ連写し、最も鮮明に撮れている 1 コマだけをカメラが自動で選んで記録します（BSS（ベストショットセレクター））。

打ち上げ花火

遅いシャッタースピードで、打ち上げ花火を撮影します。

- ピントは、遠景に固定されます。
- シャッターボタンを半押しすると、常に AF エリアまたは AF 表示（□8）が緑色に点灯します。

◻ モノクロコピー

ホワイトボードや印刷物などの文字を、シャープに撮影したいときに使います。

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- 近くのものを撮影するときは、マクロモード（🕮57）を併用してください。

逆光

逆光状態での撮影に使います。内蔵フラッシュが常に発光し、人物が陰にならずに撮影できます。

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。

パノラマアシスト

パノラマ写真用の画像を複数撮影し、パソコンでパノラマ写真に合成したいときに使います。

- 画像をつなげる方向をマルチセレクターの ▲▼◀▶ で選び、Ⓚ ボタンを押します。
- 1 コマ目を撮影したら、画面の表示でつなぎ目を確認しながら必要なコマ数を撮影します。撮影を終了するには、Ⓚ ボタンを押します。
- 撮影した画像は、パソコンに取り込んで、ソフトウェア「Panorama Maker 5」（🕮74）で合成してください。
- 「パノラマアシストの使い方」→ ⚯2

ペット

犬または猫の撮影に使います。カメラが犬または猫の顔を検出し、その顔にピントを合わせます。ピントが合うと、初期設定では自動でシャッターをきります（ペット自動シャッター）。

- シーンモードの［**ペット**］を選ぶと表示される画面で、［**単写**］または［**連写**］を選びます。
  - ［**単写**］：1 コマずつ撮影します。
  - ［**連写**］（初期設定）：検出した顔にピントが合うと、3 コマ連写します。（連写速度：画像モードが［**4320 × 3240**］のとき、約 0.5 コマ / 秒）。［**連写**］設定時は、撮影画面に アイコンが表示されます。
- 検出した顔は、二重枠の AF エリア表示で囲まれ、ピントが合うと二重枠が緑色になります。
  最大 5 匹の顔を同時に検出します。顔を複数検出したときは、画面内で最も大きい顔が二重枠の AF エリア表示で、それ以外の顔が一重枠で囲まれます。

- ペットを検出していないときも、シャッターボタンを押すとシャッターをきることができます。
  - ペットを検出していないときは、画面中央の被写体でピントを合わせます。
  - ［**連写**］設定時は、シャッターボタンを全押ししている間、約 0.5 コマ / 秒で最大 18 コマまで連写できます（画像モードが［**4320 × 3240**］のとき）。
- マルチセレクターの ◀（）を押すと、自動シャッターの設定を変更できます。
  - ［**ペット自動シャッター**］（初期設定）：検出した顔にピントが合うと自動でシャッターをきります。［**ペット自動シャッター**］設定時は、撮影画面に アイコンが表示されます。
  - ［**OFF**］：シャッターボタンのみでシャッターをきります。
- 電子ズームは使えません。
- AF 補助光（99、69）は点灯しません。設定音およびシャッター音（99、70）は鳴りません。
- ペットとの距離、ペットの動く速さ、顔の向きや明るさなど、撮影条件によっては、犬や猫を検出しないことや、犬や猫以外に枠が表示されることがあります。
- 以下の場合は［**ペット自動シャッター**］が自動的に［**OFF**］になります。
  - 自動シャッターによる連写を 5 回繰り返したとき
  - 撮影中に内蔵メモリーまたは SD カードの残量がなくなったとき
  ［**ペット自動シャッター**］での撮影を続けるときは、マルチセレクターの ◀（）を押し、再設定してください。

スペシャルエフェクトモード（効果を付けて撮影する）

画像に効果を付けて撮影できます。

撮影画面にする ➔ ◘（撮影モード）ボタン ➔ SO（上から3番目のアイコン※）➔ ▶ ➔ 効果の選択（□26～27）

※ 前回選んだ効果のアイコンが表示されます。初期設定はSO［**ソフト**］です。

以下の6種類の効果の中から選べます。

種類	内容
SO ソフト	やわらかな雰囲気にするために、画像全体を少しぼかします。
SE ノスタルジックセピア	セピア色でコントラストが低めの、昔の写真のような雰囲気にします。
◨ 硬調モノクローム	コントラストがはっきりした調子の白黒写真にします。
HI ハイキー	画像全体を明るいトーンで表現します。
LO ローキー	画像全体を暗いトーンで表現します。
✐ セレクトカラー	画像の特定の色だけを残し、他の部分を白黒にします。

- ［**セレクトカラー**］を選んだときは、残したい色をマルチセレクターの▲▼でスライダーから選びます。
  以下の設定をするときは、Ⓚボタンを押していったん色を選べる状態を解除し、それぞれの設定を行います。
  - フラッシュモード（□54）
  - マクロモード（□57）

  もう一度Ⓚボタンを押すと、再び色を選べる状態になります。

スペシャルエフェクトモードの設定を変える

- マルチセレクターで設定できる機能（□53）→フラッシュモード（□54）、セルフタイマー（□56）、マクロ（接写）（□57）、露出補正（□58）
- MENUボタンで設定できる機能→画像サイズと画質の組み合わせ（画像モード）を設定できます（□61）。

ベストフェイスモード（笑顔を撮影する）

カメラが人物の笑顔を検出すると、シャッターボタンを押さなくても自動でシャッターがきれます（笑顔自動シャッター）。美肌機能で人物の顔の肌をなめらかにできます。

撮影画面にする ➔ 📷（撮影モード）ボタン ➔ ☺ ベストフェイスモード（📖26〜27）

1 構図を決め、シャッターボタンを押さずに笑顔を待つ

- カメラが人物の顔を認識すると、顔が黄色い二重枠のAFエリア表示で囲まれ、ピントが合うと二重枠が一瞬緑色になりピントが固定されます。
- 最大 3 人の顔を認識します。複数の顔を認識したときは、最も画面の中央に近い顔が二重枠のAFエリア表示で囲まれ、他の顔が一重枠で囲まれます。
- ［**笑顔自動シャッター**］（📖49）により、カメラが二重枠で囲まれた人物の笑顔を検出すると、自動的にシャッターがきれます。
- シャッターがきれるたびに、顔認識と笑顔検出による自動撮影を繰り返します。

2 撮影を終了する

- 笑顔検出による自動撮影を終了するには、以下の操作を行います。
  - 電源をOFFにする
  - ［**笑顔自動シャッター**］（📖49）を［**OFF**］にする
  - 📷ボタンを押して他の撮影モードに切り換える

ベストフェイスモードについてのご注意

- 電子ズームは使えません。
- 撮影条件などによっては、適切に顔の認識や笑顔の検出ができないことがあります。
- 「顔認識機能についてのご注意」→□66

リモコンML-L5（別売）使用時のご注意

ベストフェイスモードで［**笑顔自動シャッター**］が［**ON**］の場合、カメラが人物の顔を認識しているときは、リモコンを使えません。

笑顔自動シャッター使用時の節電機能について

［**笑顔自動シャッター**］が［**ON**］のときは、カメラを操作しないまま以下の状態が続くと、オートパワーオフ（□100）が作動して、電源がOFFになります。

- カメラが顔を認識しない。
- カメラが顔を認識していても、笑顔を検出できない。

セルフタイマーランプの点滅について

笑顔自動シャッターでは、カメラが顔を認識すると点滅し、シャッターがきれた直後は速く点滅します。

手動でシャッターをきるには

シャッターボタンを押してもシャッターがきれます。顔認識していないときは、画面中央の被写体にピントが合います。

ベストフェイスモードの設定を変える

- マルチセレクターで設定できる機能（□53）→フラッシュモード（□54）、セルフタイマー（□56）、露出補正（□58）
- MENUボタンで設定する機能→ベストフェイスメニューの種類（□49）

同時に設定できない機能について

他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（□63）

ベストフェイスメニューの種類

ベストフェイスモードでは、以下の項目の設定が変更できます。

ベストフェイスモードの撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ タブ（□12）

項目	内容	□
画像モード	記録する画像サイズと画質の組み合わせを選びます。設定を変更すると、他の撮影モードでも同じ画像モードの設定になります。	61
美肌効果	美肌の効果を設定します。人物の顔の肌をなめらかにしてから画像を記録します。効果の度合いを選べます。初期設定は［**標準**］です。	➡36
笑顔自動シャッター	［**ON**］（初期設定）にすると、顔認識した人物の笑顔を検出するたびに、カメラが自動でシャッターをきります。セルフタイマーは同時に使えません。	➡36
目つぶり軽減	［**ON**］にすると、撮影のたびに2回シャッターをきり、人物が目をつぶっていない画像を優先して1コマだけ記録します。 ［**ON**］にすると、フラッシュは使えません。 初期設定は［**OFF**］です。	➡36

（オート撮影）モード

基本的な撮影ができます。また、撮影状況や撮影意図に合わせて撮影メニュー（51）の項目を設定できます。

撮影画面にする → （撮影モード）ボタン → オート撮影モード（26～27）

- ピント合わせをするAFエリアは、MENUボタン→タブ→［**AFエリア選択**］の設定によって異なります。初期設定は、［**顔認識オート**］です。
- ［**AF エリア選択**］が［**顔認識オート**］（初期設定）のときは、以下のようにピントが合います。
  - 人物の顔を認識すると、顔にピントが合います。→「顔認識撮影について」（65）
  - 顔を認識しないときは、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアにピントが合います。ピントが合うと、ピントが合った場所のAFエリア表示が緑色に点灯します（最大9カ所）。

（オート撮影）モードの設定を変える

- マルチセレクターで設定できる機能（53）→フラッシュモード（54）、セルフタイマー（56）、マクロ（接写）（57）、露出補正（58）
- MENUボタンで設定する機能→オート撮影メニューの種類（51）

オート撮影メニューの種類

（オート撮影）モードでは、以下の項目の設定が変更できます。

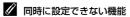
（オート撮影）モードの撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ タブ（12）

項目	内容	
画像モード	記録する画像サイズと画質の組み合わせを選びます（61）。 初期設定は［ **4320×3240**］です。 この設定は、他の撮影モードにも適用されます。	61
ホワイトバランス	画像の色合いを見た目に近づけたいときなどに設定します。［**オート**］（初期設定）でほとんどの光源に対応できますが、思い通りの色合いにならないときは、天候や光源に合わせて設定します。 • ホワイトバランスを［**オート**］、［**フラッシュ**］以外設定したときは、フラッシュを （発光禁止）に設定してください。	37
連写	連続撮影の設定を［**単写**］、［**連写**］、［**BSS**］（43）、［**マルチ連写**］から選びます。初期設定は［**単写**］（1コマずつ撮影）です。 ［**連写**］に設定して、シャッターボタンを全押しし続けると、約0.8コマ/秒の速さで約18コマまで連写できます（画像モードが［ **4320×3240**］のとき）。	39
ISO感度設定	ISO感度を高くするほど、より暗い被写体を撮影できます。また、同じ明るさの被写体でも、より速いシャッタースピードで撮影でき、手ブレや被写体ブレを軽減しやすくなります。［**オート**］（初期設定）では、カメラが自動でISO感度を設定します。 ［**オート**］のときにISO感度が自動的に上がると、撮影画面に（8）が表示されます。	41

（オート撮影）モード

項目	内容	
AFエリア選択	AF（オートフォーカス）でピント合わせをするエリアの決め方を［**顔認識オート**］（初期設定）、［**オート**］、［**マニュアル**］、［**中央**］、［**ターゲット追尾**］から選べます。	42
AFモード	シャッターボタンの半押しときのみピント合わせを行う［**シングルAF**］（初期設定）、または半押ししていないときもピント合わせを行う［**常時AF**］を選べます。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。	45

同時に設定できない機能

他の機能と組み合わせて使えない設定があります（63）。

マルチセレクターで設定できる機能

撮影時にマルチセレクターの▲（⚡）、▼（🌷）、◀（⏲）または▶（±）を押すと、以下の機能を設定できます。

⚡（フラッシュモード）
⏲（セルフタイマー）
🌷（マクロモード）
±（露出補正）

設定できる機能の種類

設定できる機能は、撮影モードによって、以下のように異なります。

- 各撮影モードの初期設定は「初期設定一覧」（□59）をご覧ください。

<table>
<tr><th>機能</th><th>（らくらくオート撮影）</th><th>シーン</th><th>スペシャルエフェクト</th><th>ベストフェイス</th><th>（オート撮影）</th></tr>
<tr><td>フラッシュモード（□54）</td><td>○</td><td rowspan="4">※1</td><td>○</td><td>○※2</td><td>○</td></tr>
<tr><td>セルフタイマー（□56）</td><td>○</td><td>○</td><td>○※2</td><td>○</td></tr>
<tr><td>マクロ（□57）</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td><td>○</td></tr>
<tr><td>露出補正（□58）</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
</table>

※1 シーンによって異なります。
※2 ベストフェイスメニューの設定によって異なります。

フラッシュを使う（フラッシュモード）

フラッシュの発光モード（フラッシュモード）を撮影状況に合わせて設定できます。

1 マルチセレクターの▲（⚡フラッシュモード）を押す

2 マルチセレクターの ▲ または ▼ でモードを選び、OKボタンを押す

- フラッシュモードの種類→📖55
- OKボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。
- ⚡AUTO（自動発光）にすると［**モニター表示設定**］（⚙64）にかかわらず、⚡AUTOは数秒間で消えます。

3 構図を決めて撮影する

- シャッターボタンを半押しすると、フラッシュランプでフラッシュの状態を確認できます。
  - 点灯：シャッターボタンを全押しすると、発光します。
  - 点滅：フラッシュの充電中です。撮影できません。
  - 消灯：発光しません。
- バッテリー残量が少なくなると、フラッシュの充電中は液晶モニターが消灯します。

フラッシュの光が届く距離

フラッシュの光が充分に届く距離は、広角側で約0.3～4.5 m、望遠側で約0.5～3.5 mです（ISO感度設定がオート時）。

フラッシュモードの種類

AUTO	**自動発光**
	暗い場所などで、自動的にフラッシュを発光します。
	赤目軽減自動発光
	人物撮影に適しており、フラッシュで人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減します。
	発光禁止
	フラッシュは発光しません。 ・暗い場所で撮影するときは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。
	強制発光
	被写体の明るさに関係なく、フラッシュを発光します。逆光で撮影するときなどに使います。
	スローシンクロ
	自動発光モードにスロー（低速）シャッターを組み合わせて撮影します。夕景や夜景を背景にした人物撮影に適しています。フラッシュでメインの被写体を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景を写します。

フラッシュモードの設定について

- 設定は、撮影モードによって異なります。
  →「初期設定一覧」（□59）
  →「設定できる機能の種類」（□53）
- 他の機能と組み合わせて使えない場合があります。→「同時に設定できない機能」（□63）
- （オート撮影）モードの場合、変更したフラッシュモード設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

赤目軽減自動発光について

このカメラは、「**アドバンスト赤目軽減方式**」を採用しています。
フラッシュが本発光する前に、小光量で数回発光する「プリ発光」で赤目現象の発生を軽減します。さらに、画像の記録時に赤目現象を検出すると、赤目部分を画像補正して記録します。
撮影する際は、以下にご注意ください。

- プリ発光するため、シャッターボタンを押してからシャッターがきれるまでに、通常よりも時間がかかります。
- 画像の記録にかかる時間は、通常よりも少し長くなります。
- 撮影状況によっては、望ましい結果を得られないことがあります。
- ごくまれに赤目以外の部分を補正することがあります。この場合は、他のフラッシュモードにして撮影し直してください。

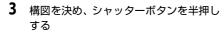
セルフタイマーを使う

シャッターボタンを押してから約10秒または2秒後にシャッターをきります。記念撮影など自分も一緒に写りたいときや、シャッターボタンを押す操作による手ブレを軽減したいときにセルフタイマーを使うと便利です。セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（□98）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

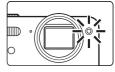
1 マルチセレクターの◀（⏲ セルフタイマー）を押す

2 マルチセレクターの▲または▼で［**10s**］または［**2s**］を選び、OKボタンを押す

- ［**10s**］（10秒）：記念撮影などに適しています。
- ［**2s**］（2秒）：手ブレの軽減に適しています。
- 設定したセルフタイマーモードが表示されます。
- OKボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。
- 撮影モードがシーンモードの［**ペット**］のときは、🐱（ペット自動シャッター）が表示されます（□45）。セルフタイマー［**10s**］、［**2s**］は使えません。

3 構図を決め、シャッターボタンを半押しする

- ピントと露出が合います。

4 シャッターボタンを全押しする

- セルフタイマーが作動し、シャッターがきれるまでの秒数が液晶モニターに表示されます。作動中はセルフタイマーランプが点滅し、シャッターがきれる約1秒前になると、点灯に変わります。
- シャッターがきれると、セルフタイマーは［**OFF**］になります。
- セルフタイマーを途中で止めるときは、もう一度シャッターボタンを押します。

マクロ（接写）モードを使う

最短で、レンズ前約3 cmまでの被写体にピント合わせができます。
草花などの小さな被写体を大きく写したいときなどに便利です。

1 マルチセレクターの▼（マクロモード）を押す

2 マルチセレクターの▲または▼で［ON］を選び、ボタンを押す

- マークが表示されます。
- ボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。

3 ズームレバーを操作し、マークやズーム表示が緑色になるズーム位置にする

- 最短撮影距離はズーム位置によって異なります。
- マークやズーム表示が緑色で表示されるズーム位置では、レンズ前約9cmまでの被写体にピント合わせができます。
  マークから広角側のズーム位置では、レンズ前約3 cmまでの被写体にピント合わせができます。

フラッシュ撮影についてのご注意

撮影距離が50 cm未満の場合、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがあります。

オートフォーカスについて

（オート撮影）モードの場合、撮影メニュー（51）→［**AFモード**］（52）の［**常時AF**］と組み合わせると、シャッターボタンを半押ししなくても、ピント合わせを行います。
それ以外の撮影モードでは、マクロモードをONにすると、自動的に［**常時AF**］になります。オートフォーカスの動作音が聞こえることがあります。

マクロモードの設定について

- 撮影モードによっては、マクロモードを使えません。→「マルチセレクターで設定できる機能」（53）
- （オート撮影）モードの場合、マクロモードの設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

明るさを調整する（露出補正）

露出補正を設定して撮影すると、画像全体の明るさを明るく、または暗く調整できます。

1 マルチセレクターの▶（露出補正）を押す

2 マルチセレクターの▲または▼で補正値を選ぶ

- 被写体を明るくしたいとき：補正値を「+」側に設定します。
- 被写体を暗くしたいとき：補正値を「−」側に設定します。
- 補正値を選ぶと、補正値が設定されます。

3 ⓞⓚボタンを押す

- ［**0.0**］以外に設定すると、液晶モニターに露出補正マークと補正値が表示されます。

4 シャッターボタンを押して撮影する

- 露出補正を解除するときは、手順1に戻って補正値を［**0.0**］にしてⓞⓚボタンを押します。

露出補正の設定について

（オート撮影）モードの場合、露出補正の設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

初期設定一覧

各撮影モードの初期設定は以下のとおりです。

- シーンモードについては、次ページをご覧ください。

	フラッシュ（□54）	セルフタイマー（□56）	マクロ（□57）	露出補正（□58）
（らくらくオート撮影）	AUTO※1	OFF	OFF※2	0.0
SO（スペシャルエフェクト）		OFF	OFF	0.0
（ベストフェイス）	AUTO※3	OFF※4	OFF※5	0.0
（オート撮影）	AUTO	OFF	OFF	0.0

※1 AUTO（自動発光）か（発光禁止）を選べます。AUTO（自動発光）では、自動判別したシーンに合わせて、カメラがフラッシュモードを設定します。

※2 変更できません。

※3［**目つぶり軽減**］が［**ON**］のときは使えません。

※4［**笑顔自動シャッター**］を［**OFF**］にすると設定できます。

※5 変更できません。

（オート撮影）モードの場合、設定した内容は、電源をOFFにしても記憶されます（セルフタイマーを除く）。

マルチセレクターで設定できる機能

シーンモードの初期設定は以下のとおりです。

	フラッシュ（□54）	セルフタイマー（□56）	マクロ（□57）	露出補正（□58）
（□40）		OFF	OFF※1	0.0
（□40）	※1	OFF	OFF※1	0.0
（□40）	※1	OFF※1	OFF※1	0.0
（□41）	※2	OFF	OFF※1	0.0
（□41）	※3	OFF	OFF※1	0.0
（□41）	AUTO	OFF	OFF※1	0.0
（□41）	AUTO	OFF	OFF※1	0.0
（□41）	※1	OFF	OFF※1	0.0
（□42）	※1	OFF	OFF※1	0.0
（□42）	※1	OFF	OFF※1	0.0
（□42）		OFF	ON※1	0.0
（□43）	※1	OFF	ON※1	0.0
（□43）	※1	OFF	OFF	0.0
（□43）	※1	OFF※1	OFF※1	0.0※1
（□44）		OFF	OFF	0.0
（□44）	※1	OFF	OFF※1	0.0
（□44）		OFF	OFF	0.0
（□45）	※1	※4	OFF	0.0

※1 変更できません。

※2 変更できません。赤目軽減スローシンクロ強制発光に固定されます。

※3 赤目軽減スローシンクロに切り換わることがあります。

※4 セルフタイマーは使えません。ペット自動シャッター（□45）のON/OFFを設定できます。

同時に設定できない機能について

他の機能と組み合わせて使えない場合があります（□63）。

画像サイズ（画像モード）を変える

撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ 撮影メニュー ➔ 画像モード

撮影メニューの［**画像モード**］で、記録時の画像サイズ（画像の大きさ）と画質（画像の圧縮率）の組み合わせを選べます。
画像の用途や内蔵メモリー /SDカードの残量に合わせて設定してください。
画像サイズの大きい画像モードほど、大きくプリントするのに適していますが、記録できるコマ数は少なくなります。

画像モード（画像サイズ/画質）の種類

項目※	画像サイズ（ピクセル）	内　容
14M★ 4320×3240★	4320×3240	14Mよりも精細な画像になります。圧縮率は約1/4です。
14M 4320×3240（初期設定）	4320×3240	ファイルサイズと画質のバランスが良く、一般的な撮影に適した画像モードです。圧縮率は約1/8です。
8M 3264×2448	3264×2448	
5M 2592×1944	2592×1944	
3M 2048×1536	2048×1536	14M、8M、5Mよりも画像サイズが小さいため、より多く撮影できます。圧縮率は約1/8です。
PC 1024×768	1024×768	パソコンのモニターに表示するときに適しています。圧縮率は約1/8です。
VGA 640×480	640×480	電子メールへの添付や画面の縦横比が4：3のテレビへの表示に適しています。圧縮率は約1/8です。
16:9 10M 4224×2376	4224×2376	縦横比が16：9の画像を撮影できます。圧縮率は約1/8です。

※ 記録データの総画素数と長辺×短辺の画素数を表しています。
例：［14M **4320×3240**］は、約14メガピクセル＝4320×3240ピクセル

画像モードの設定は、撮影時や再生時の画面で確認できます（📖8、9）。

画像モードの設定について

- 設定は、他の撮影モードにも適用されます。
- 他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」(63)

記録可能コマ数

内蔵メモリーや4GBのSDカードに記録できるおおよそのコマ数は以下のとおりです。ただし、JPEG圧縮の性質上、画像の絵柄によって記録可能コマ数は大きく異なります。同じ容量のSDカードでも、カードの種類によって、記録可能コマ数が異なることがあります。

画像モード	内蔵メモリー（約94 MB）	SDカード[※1]（4GB）	プリント時の大きさ[※2]
4320×3240★	約14コマ	約550コマ	約36×27 cm
4320×3240	約27コマ	約1100コマ	約36×27 cm
3264×2448	約48コマ	約1910コマ	約28×21 cm
2592×1944	約74コマ	約2940コマ	約22×16 cm
2048×1536	約116コマ	約4640コマ	約17×13 cm
1024×768	約378コマ	約15000コマ	約9×7 cm
640×480	約673コマ	約24100コマ	約5×4 cm
4224×2376	約38コマ	約1290コマ	約35×20 cm

※1 記録可能コマ数が10,000コマ以上の場合、画面には「9999」と表示されます。

※2 出力解像度を300 dpiに設定した場合のサイズです。
ピクセル数÷プリンター解像度（dpi）× 2.54 cm で計算しています。同じ画像サイズでも、高い解像度で印刷すると印刷サイズは小さくなり、低い解像度で印刷すると、印刷サイズは大きくなります。

同時に設定できない機能

撮影メニューには、他の機能と組み合わせて使えない設定があります。

制限される機能	設定	内容
フラッシュモード	連写（□51）	［**連写**］、［**BSS**］、または［**マルチ連写**］にして撮影するときは、フラッシュは使えません。
	目つぶり軽減（□49）	［**目つぶり軽減**］を［**ON**］にして撮影するときは、フラッシュは使えません。
セルフタイマー	笑顔自動シャッター（□49）	［**笑顔自動シャッター**］で撮影するときは、セルフタイマーは使えません。
	AFエリア選択（□52）	［**ターゲット追尾**］にして撮影するときは、セルフタイマーは使えません。
マクロモード	AFエリア選択（□52）	［**ターゲット追尾**］にして撮影するときは、マクロモードは使えません。
画像モード	連写（□51）	［**マルチ連写**］で撮影するときは、［**画像モード**］は5M（画像サイズ：2560×1920ピクセル）に固定されます。
	ISO感度設定（□51）	［**ISO感度設定**］を［**3200**］または［**6400**］にして撮影するときは、選べる［**画像モード**］は3M［**2048×1536**］、PC［**1024×768**］、VGA［**640×480**］に制限されます。これらの画像サイズ以外に設定していたときに［**ISO感度設定**］を［**3200**］または［**6400**］にすると、3M［**2048×1536**］に変更されます。
連写	セルフタイマー（□56）	セルフタイマーで撮影するときは、［**単写**］に固定されます。
ISO感度設定	連写（□51）	［**マルチ連写**］で撮影するときは、［**ISO感度設定**］は明るさに応じて自動的に設定されます。
デート写し込み	連写（□51）	［**連写**］、［**BSS**］にして撮影するときは、日付を写し込めません。
	目つぶり軽減（□49）	［**ON**］に設定すると、［**デート写し込み**］は使えません。

同時に設定できない機能

制限される機能	設定	内容
モーション検知	連写（□51）	［**マルチ連写**］で撮影するときは、［**モーション検知**］は作動しません。
	ISO 感度設定（□51）	ISO 感度を［**オート**］以外にすると、［**モーション検知**］は作動しません。
目つぶり検出設定	連写（□51）	［**連写**］、［**BSS**］、または［**マルチ連写**］にして撮影するときは、目つぶり検出しません。
電子ズーム	連写（□51）	［**マルチ連写**］にして撮影するときは、電子ズームは使えません。
	AFエリア選択（□52）	［**ターゲット追尾**］にして撮影するときは、電子ズームは使えません。

電子ズームについてのご注意

- 撮影モードや設定によっては、電子ズームを使えません（⊶69）。
- 電子ズーム使用時は、画面中央でピント合わせを行います。

顔認識撮影について

以下の撮影モードでは、人物の顔にカメラを向けると自動的に顔を認識して、顔にピントを合わせます。
複数の顔を認識したときは、ピントを合わせる顔に二重枠のAFエリアが表示され、AFエリア以外の顔に一重枠が表示されます。

撮影モード	認識する顔の数	AFエリア（二重枠）
（らくらくオート撮影）モード（38）	最大12人	カメラに最も近い顔
シーンモード（39）の［**ポートレート**］（40）、［**夜景ポートレート**］（41）		
（オート撮影）モード（50）で［**AFエリア選択**］（52）を［**顔認識オート**］（42）に設定時		
ベストフェイスモード（47）	最大3人	画面中央に最も近い顔

- （らくらくオート撮影）では、自動判別した撮影シーンによってAFエリアが変わります。
- シーンモードの［**ポートレート**］、［**夜景ポートレート**］、およびベストフェイスモードでは、顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しすると、画面中央にピントが合います。
- ［**顔認識オート**］では、顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しすると、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。

顔認識機能についてのご注意

- 顔の向きなどの撮影条件によっては、顔を認識できないことがあります。また、以下のような場合は、顔を認識できません。
  - 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている
  - 構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている
- 複数の人物がいた場合、どの人物の顔を認識してピントを合わせるかは、顔の向きなどによっても異なります。
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」（□31）の撮影では、二重枠が緑色になっていても、まれにピントが合わないことがあります。ピントが合わないときは、◘（オート撮影）モードなどでAFエリア選択を［**マニュアル**］か［**中央**］に切り換え、等距離にある別の被写体でピントを合わせる方法（□68）をお試しください。

顔認識撮影した画像の再生について

- 再生すると、顔の上下方向に合わせて自動的に回転して表示されます（［**連写**］、［**BSS**］、［**マルチ連写**］（□51、⚭39）で撮影した画像を除く）。
- 1コマ表示でズームレバーを**T**（Q）方向に回すと、撮影時に認識した顔を中心に拡大表示されます（□33）（［**連写**］、［**BSS**］、［**マルチ連写**］（□51、⚭39）で撮影した画像を除く）。

美肌機能について

以下の撮影モードでは、シャッターがきれると、人物の顔をカメラが検出し（最大3人）、画像処理で顔の肌をなめらかにしてから画像を記録します。

- （らくらくオート撮影）モード
- シーンモードの［**ポートレート**］（□40）または［**夜景ポートレート**］（□41）
- ベストフェイスモード

- 撮影後にも、記録した画像に［**メイクアップ効果**］で［**美肌**］などの編集ができます（□71）。

美肌機能についてのご注意

- 画像の記録時間が通常より長くなることがあります。
- 撮影条件によっては、美肌の効果が表れないことや、顔以外の部分が画像処理されることがあります。望ましい効果が得られない場合は、他の撮影モードに切り換えるか、ベストフェイスモード時は［**美肌効果**］を［**OFF**］にして撮影し直してください。
- シーンモードのポートレート、夜景ポートレートでは、美肌効果の度合いは設定できません（（らくらくオート撮影）モードで切り換わった場合を含む）。

フォーカスロック撮影

AF（オートフォーカス）エリアが画面中央でも、ピントを固定（フォーカスロック）する方法を使うと、構図を工夫して撮影できます。
ここでは、■（オート撮影）モードで撮影メニュー（□51）の［**AFエリア選択**］を［**中央**］に設定した場合のフォーカスロックの操作方法を説明します。

1 ピントを合わせる被写体を画面中央に配置する

2 シャッターボタンを半押しする

- ピントが合い、AFエリアが緑色に点灯します。
- 露出も固定されます。

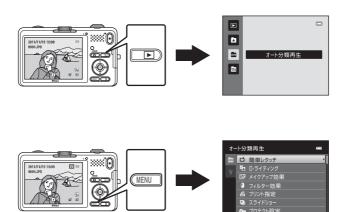
3 半押ししたまま構図を変える

- 被写体との距離は変えないでください。

4 シャッターボタンを全押しして撮影する

いろいろな撮影

いろいろな再生

この章では、再生する画像を絞り込む方法や再生時に使える機能について説明しています。

再生する画像を絞り込む

再生モードの種類を切り換えると、画像を絞り込んで再生できます。

再生モードの種類

▶	**再生**	32
	画像を絞り込まずに、撮影したすべての画像を再生します。撮影モードから再生モードに切り換えると、このモードになります。	
★	**お気に入り再生**	4
	お気に入りフォルダーに登録した画像のみを再生します。このモードに切り換える前に、お気に入りフォルダーへの画像登録が必要です（7）。	
AUTO	**オート分類再生**	7
	撮影した画像は、人物、風景、動画などの項目別に自動で分類されます。同じ分類の画像のみを再生します。	
12	**撮影日一覧**	9
	同じ撮影日の画像のみを再生します。	

再生モードの切り換え方法

1 1コマ表示またはサムネイル表示中に▶ボタンを押す

- 再生モードの種類を選ぶ画面（再生モードメニュー）が表示されます。

2 マルチセレクターの▲または▼でモードを選びⓀボタンを押す

- ［**再生**］を選んだときは、再生画面になります。
- ［**再生**］以外を選んだときは、お気に入りフォルダー、分類、または撮影日の選択画面になります。
- 再生モードの種類を切り換えずに再生に戻るには、▶ボタンを押します。

3 お気に入りフォルダー、分類、または撮影日を選び、Ⓚボタンを押す

- ★ お気に入り再生→4
- AUTO オート分類再生→7
- 12 撮影日一覧→9
- お気に入りフォルダー、分類、または撮影日を選び直すときは、手順1から繰り返してください。

お気に入り再生モードのとき

再生モードで使える機能（再生メニュー）

再生画面にする➔ MENU ボタン ➔ ▶タブ、★タブ、AUTOタブ、または12タブ

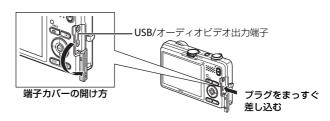
1コマ表示中またはサムネイル表示中にMENUボタンを押してメニュー画面を表示し、▶タブ、★タブ、AUTOタブまたは12タブを選ぶと、以下のメニュー操作ができます（□12）。

項目	内容	□
簡単レタッチ※1	コントラストと色の鮮やかさを高めた画像を簡単に作成します。	⚭12
D-ライティング※1	逆光やフラッシュの光量不足などで暗くなった被写体を、明るく補正できます。	⚭13
メイクアップ効果※1	人物の顔の肌をなめらかにしたり、顔を小さく見せたり、目を大きく見せたりします。	⚭14
フィルター効果※1	デジタルフィルターでいろいろな効果をつけます。効果の種類には、［**ピクチャーカラー**］、［**ソフト**］、［**セレクトカラー**］、［**クロススクリーン**］、［**魚眼効果**］、［**ミニチュア効果**］があります。	⚭16
プリント指定※2、3	SDカードに記録した画像をプリンターでプリントするときに、どの画像を何枚プリントするかを設定します。	⚭46
スライドショー※2、3	内蔵メモリー/SDカード内の画像を、1コマずつ順番に自動再生します。	⚭50
プロテクト設定※2、3	大切な画像を誤って削除しないように、プロテクト（保護）します。	⚭52
画像回転※3	撮影後に、カメラなどで表示するときの画像の向き（縦横位置）を設定します。	⚭54
スモールピクチャー※1	撮影した画像から、サイズの小さい画像を作成します。ホームページで使ったり、電子メールへ添付したりするのに便利です。	⚭18
音声メモ	撮影した画像に、カメラのマイクを使って音声によるメモを付けます。音声メモの再生や削除もできます。	⚭55
画像コピー※4	内蔵メモリーの画像をSDカードへ、またはSDカードの画像を内蔵メモリーへコピーできます。	⚭57

※1 選択中の画像を編集し、元画像とは異なるファイル名で保存します。画像モードが［**4224×2376**］の画像や動画などは編集できません（⚭10）。編集済みの画像は、繰り返し編集できないことがあります（⚭11）。
※2 撮影日一覧モードのときは、撮影日の一覧画面（⚭9）でMENUボタンを押すと、選んだ日付の画像をまとめて同じ設定にできます。
※3 プロジェクター投映時も操作できます（□88）。
※4 お気に入り再生モード、オート分類再生モード、撮影日一覧モードのときは、選べません。

テレビ、パソコン、プリンターとの接続

テレビやパソコン、プリンターに接続すると、撮影した画像や動画をいろいろな方法で楽しむことができます。

- 外部機器と接続するときは、カメラのバッテリー残量が充分にあることを確認し、必ず、カメラの電源をOFFにしてから接続してください。また、接続方法や接続後の操作方法については、各機器の説明書も併せてお読みください。

テレビで鑑賞する

E21

撮影した画像や動画をテレビに映して鑑賞できます。
接続方法：別売のオーディオビデオケーブル（AVケーブル）EG-CP16の映像プラグと音声プラグをテレビの外部入力端子に接続します。

パソコンで閲覧、管理する

73

パソコンに転送すると、静止画や動画の再生だけではなく、簡易編集や画像データの管理ができます。
接続方法：付属のUSBケーブルUC-E6をパソコンのUSB端子に接続します。

- パソコンと接続する前に付属 CD-ROM「ViewNX 2 Installer」を使って、ViewNX 2 をパソコンにインストールしてください。付属 CD-ROM「ViewNX 2 Installer」の使い方、パソコンへの簡単な転送手順については、75 ページをご覧ください。
- パソコンから電源を供給するタイプの他の USB 機器がパソコンに接続されているときは、接続する前にそれらの機器をパソコンから取り外してください。同時に接続すると動作に不具合が発生したり、パソコンからの供給電力が過大になり、カメラ、SD カードなどが壊れるおそれがあります。

パソコンを使わずにプリントする

E22

PictBridge対応プリンターと接続すると、パソコンを使わずに画像をプリントできます。
接続方法：付属のUSBケーブルUC-E6をプリンターのUSB端子に接続します。

ViewNX 2を使う

ViewNX 2は、画像や動画の転送、閲覧、編集、共有、これら全てを可能とするオールインワンソフトです。
付属CD-ROM「ViewNX 2 Installer」からインストールできます。

ViewNX 2をインストールする

- **インストールにはインターネットに接続できる環境が必要です。**

対応OS

Windows

- Windows 7 Home Premium/Professional/Enterprise/Ultimate
- Windows Vista Home Basic/Home Premium/Business/Enterprise/Ultimate（Service Pack 2）
- Windows XP Home Edition/Professional（Service Pack 3）

Macintosh

- Mac OS X（version10.5.8、10.6.7）

対応OSに関する最新情報、動作環境については、当社ホームページのサポート情報でご確認ください。

1 パソコンを起動し、付属CD-ROM「ViewNX 2 Installer」をCD-ROMドライブに入れる

- Mac OS：［**ViewNX 2**］ウィンドウが表示されるので、ウィンドウ内の［**Welcome**］アイコンをダブルクリックします。

2 ［言語選択］ダイアログで言語を選択し、［Welcome］ウィンドウを開く

- ［**言語選択**］ダイアログのメニューに選択したい言語がない場合は、［**地域選択**］をクリックし、地域を選択してから言語を選択してください。
- ［**次へ**］をクリックすると、［**Welcome**］ウィンドウが開きます。

3 インストールを開始する

- インストールをする前に、［**Welcome**］ウィンドウの［**インストールガイド**］をクリックして、インストール方法のヘルプと動作環境を確認することをおすすめします。
- ［**Welcome**］ウィンドウの［**インストール（推奨）**］をクリックします。

4 ソフトウェアをダウンロードする

- ［**ソフトウェアのダウンロード**］画面が表示されたら、［**同意して、ダウンロード開始**］をクリックします。
- 画面の指示に従ってインストールを続けてください。

5 インストール終了画面が表示されたら、インストールを終了する

- Windows：［**はい**］をクリックします。
- Mac OS：［**OK**］をクリックします。

以下のソフトウェアがインストールされます。

- ViewNX 2（以下の3つのモジュールで構成されています）
  - Nikon Transfer 2：画像をパソコンに取り込みます
  - ViewNX 2：取り込んだ画像の閲覧、編集、印刷ができます
  - Nikon Movie Editor：取り込んだ動画の簡易編集ができます
- Panorama Maker 5（シーンモードのパノラマアシスト使って撮影した画像をパノラマ写真に合成します）
- QuickTime（Windows のみ）

6 CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す

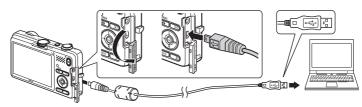
パソコンに画像を取り込む

カメラからパソコンに画像を転送するときは、パソコンに接続する前に、セットアップメニュー（🕮98）→［**インターフェース**］（🕮100）→［**USB**］の設定を［**MTP/PTP**］（初期設定）に設定します。

---

1 画像の入ったSDカードを用意する

SD カード内の画像は、次の方法でパソコンに取り込めます。

- SD カードを入れたカメラの電源をOFF にしてから、付属のUSB ケーブルUC-E6 でカメラとパソコンを接続する。カメラの電源が自動的にON になります。

- カードスロットを装備したパソコンのときは、カードスロットに直接SD カードを差し込む。
- 市販のカードリーダーをパソコンに接続して、SD カードをセットする。

起動するプログラム（ソフトウェア）を選ぶ画面がパソコンに表示されたときは、Nikon Transfer 2 を選びます。

- **Windows 7 をお使いの場合**
  右の画面が表示されたときは、次の手順でNikon Transfer 2を選びます。
  1［**画像とビデオのインポート**］の［**プログラムの変更**］をクリックすると表示される画面で、［**画像ファイルを取り込む-Nikon Transfer 2使用**］を選んで、［**OK**］をクリックする
  2［**画像ファイルを取り込む**］をダブルクリックする

SDカード内に大量の画像があると、Nikon Transfer 2の起動に時間がかかる場合があります。Nikon Transfer 2が起動するまでお待ちください。

USBケーブル接続についてのご注意

USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

2 画像をパソコンに取り込む

- Nikon Transfer 2の［**オプション**］の［**転送元**］に、接続したカメラ名またはリムーバブルディスクのデバイス名が表示されていることを確認します（①）。
- ［**転送開始**］ボタンをクリックします（②）。

- 記録されているすべての画像がパソコンに取り込まれます（ViewNX 2 の初期設定）。

3 接続を解除する

- カメラを接続している場合は、カメラの電源をOFF にして、USB ケーブルを抜きます。
- カードリーダーやカードスロットをお使いの場合は、パソコン上でリムーバブルディスクの取り外しを行ってから、カードリーダーまたはSDカードを取り外してください。

画像を見る

ViewNX 2 を起動する

- 画像の取り込みが終わると、ViewNX 2 が自動的に起動し、取り込んだ画像が表示されます。
- ViewNX 2 の詳しい使い方は、ViewNX 2 のヘルプを参照してください。

ViewNX 2 を手動で起動するには

- Windows：デスクトップの［**ViewNX 2**］のショートカットアイコンをダブルクリックする。
- Mac OS：Dock の［**ViewNX 2**］アイコンをクリックする。

画像を編集する

ViewNX 2のツールバーで［**エディット**］をクリックします。

階調の補正、シャープネスの調整、画像の切り抜き（クロップ）などの編集ができます。

動画を編集する

ViewNX 2のツールバーで［**Movie Editor**］をクリックします。

このカメラで撮影した動画の不要な部分を削除するなどの編集ができます。

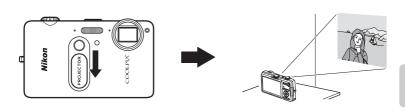
画像をプリントする

ViewNX 2のツールバーで［**印刷**］をクリックします。

ダイアログが表示され、パソコンにつないだプリンターから、画像をプリントできます。

いろいろな再生

プロジェクターを使う

COOLPIX S1200pjは、プロジェクターを内蔵しています。撮影した画像や動画を気軽に投映できるので、ご家族やご友人と一緒に鑑賞したいときなどに便利です。
プロジェクターカバーを開くと、撮影した画像や動画を投映します。

プロジェクターで投映する

画像を投映する

1 カメラを設置する

- カメラを、机の上など水平で安定したところに置きます。
- プロジェクター窓を市販のスクリーンや白い平面に向けて設置します。
- カメラとスクリーンの距離は、26 cm～3.1 mが目安です（□82）。

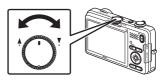
2 カメラの電源を ON にして、プロジェクターカバーを開く

- 再生モードになり、内蔵メモリーまたはSDカード内の画像が1コマ表示で投映されます。
- お気に入り再生モード、オート分類再生モードまたは撮影日一覧モードで投映するには、「再生モードの切り換え方法」（□70）の手順で再生モードを切り換えます。
- プロジェクター投映中は、カメラの液晶モニターは消灯し、マルチセレクター、OKボタン、MENUボタンが点灯します。
- プロジェクターの明るさは、プロジェクターカバーを開けた直後は弱く、約10秒後に一定の明るさになります。

3 カメラの位置を調節する

- 投映サイズを変えるには、カメラを前後に移動して、カメラからスクリーンまでの距離を調節します。
- ゆがみが少なくなるようにカメラの向きを調節します。

4 投映した画像のピントを合わせる

- 部屋を暗くしてください。
- プロジェクターフォーカスダイヤルを回してピントを合わせます。

5 マルチセレクターの▲▼◀▶で画像を切り換える

- 別売のリモコン（□4）でも、画像の切り換えなどができます（□81）。
- 投映中の操作について詳しくは、「プロジェクター投映時に使う主な操作部」（□83）をご覧ください。

6 プロジェクターカバーを閉じて投映を終了する

- 電源は、プロジェクターカバーを閉じてからOFFにしてください。

プロジェクター使用時のご注意

- プロジェクターをお使いになるときは、「安全上のご注意」の「警告」(📖vi)、「注意」(📖vii)の注意事項を必ずお守りください。
- 投映中は、カメラやバッテリーが高温になりますのでご注意ください。長時間投映した後は、温度が下がってからお使いください。
- バッテリー残量が少なくなると、投映する画面の明るさを自動調整し、消費電力を抑えます。
- 投映中、画面の上下に赤いスジ(ゴースト)が現れることがありますが、故障ではありません。
- プロジェクターの光を直接見たり、人の目に向けて投映しないでください。

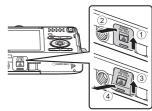
プロジェクターカバーについてのご注意

- プロジェクターカバーを開いてから電源を ON にした場合は、カバーをいったん閉じ、電源を入れ直してください。
- カメラを使わないときは、プロジェクターカバーを開けたまま放置しないでください。プロジェクター窓を外部からの光に長時間さらすと、プロジェクターの褪色や変色などの原因になります。

リモコン(別売)で画像を切り換えるには

- 約5 m以内の距離でリモコンの送信部をカメラ前面または背面のリモコン受光部(📖2、3)に向けます。
- リモコンの上下左右選択ボタンで画像を切り換えます。

プロジェクター脚について

- 内蔵のプロジェクター脚を使うと、設置した机などで画像が遮られないように、少し上向きに投映できます。
- プロジェクター脚のロックレバーをスライドしながら(①)、押すと(②)、脚が出ます。収納するときは、ロックレバーをスライドしながら(③)、押し込みます(④)。
- プロジェクター脚を使うと、少し上向きに投映するため、台形のゆがみが発生します。プロジェクター脚のかわりに三脚でカメラを設置すると、カメラとスクリーンの位置を調節しやすくなり、台形のゆがみも調節できます。

投映時の節電機能について

投映したまま操作しない状態が続くと、バッテリーの消耗を抑えるために投映が終了して待機状態になり、電源ランプが点滅します。待機状態が約3分続くと電源はOFFになります。

- 電源ランプの点滅中は、以下のボタンを押すと再生モードでプロジェクター投映を再開します。
  - 電源スイッチ、シャッターボタン、▶ボタン
- 電源がOFFになったら、プロジェクターカバーを閉じてください。再度、電源をONにするときも、プロジェクターカバーをいったん閉じてから、電源を入れ直してください。
- 画像投映中の無操作時に待機状態に入るまでの時間は、［**セットアップメニュー**］（📖98）の［**オートパワーオフ**］で変更できます。

投映距離と投映サイズについて

投映距離	投映サイズ
26 cm	約10 × 7.5 cm（5型相当）
50 cm	約20 × 15 cm（10型相当）
1.0 m	約40 × 30 cm（20型相当）
1.5 m	約60 × 45 cm（30型相当）
2.0 m	約80 × 60 cm（40型相当）
2.5 m	約100 × 75 cm（50型相当）
3.1 m	約120 × 90 cm（60型相当）

パソコン画面を投映するには（PC-PJ Transfer）

- ソフトウェア「PC-PJ Transfer」を使って、USB接続したパソコンの画面をカメラ内蔵のプロジェクターで投映します。
- PC-PJ Transferは、付属のPC-PJ Transfer CDでインストールできます。
- PC-PJ Transferのインストール方法や使い方については、「パソコン画面の投映方法」（⚯29）をご覧ください。

プロジェクター用入力端子について

カメラのプロジェクター用入力端子（📖2）にApple社製iPhone 4またはiPhone3GSをDockコネクターケーブルで接続すると、Apple社製機器の動画やスライドショーを投映できます。

- Dockコネクターケーブルについては、「ニコン カスタマーサポートセンター」にお問い合わせください。
- プロジェクター用入力端子には、Dock コネクターケーブル以外は接続しないでください。カメラの故障の原因となります。

プロジェクター投映時に使う主な操作部

カメラに入れたSDカード、または内蔵メモリー内の画像を投映するときは、カメラまたは別売のリモコン（📖4）で以下の操作ができます。

<table>
<tr><th>カメラ/リモコンの操作部</th><th>名称</th><th>主な機能</th><th>📖</th></tr>
<tr><td></td><td>マルチセレクター</td><td rowspan="2">• ▲▼◀▶ を押すと、前後の画像を表示する
• ▲▼◀▶ を押し続けると、早送りする</td><td rowspan="2">11</td></tr>
<tr><td></td><td>上下左右選択ボタン</td></tr>
<tr><td></td><td>ズームレバー</td><td rowspan="2">• T（Q）で画像を拡大表示、W（⊞）で1コマ表示をサムネイル表示する
• 音量を調整する</td><td rowspan="2">33

85、86</td></tr>
<tr><td>T（Q）/W（⊞）</td><td>ズームボタン</td></tr>
<tr><td>OK</td><td rowspan="2">決定ボタン</td><td rowspan="2">• サムネイル表示 / 拡大表示から 1 コマ表示に戻る
• お気に入り登録 / 解除する
• 動画を再生する</td><td rowspan="2">33
⊶4、⊶5
85</td></tr>
<tr><td></td></tr>
<tr><td>▣（リモコンのみ）</td><td>スライドショーボタン</td><td>スライドショーを開始する</td><td>4、86</td></tr>
<tr><td>MENU（カメラのみ）</td><td>メニューボタン</td><td>メニューを表示/終了する</td><td>12、88</td></tr>
<tr><td>▶（カメラのみ）</td><td>再生ボタン</td><td>再生モードを切り換える（再生モードを選ぶ画面を表示）</td><td>70</td></tr>
<tr><td>🗑（カメラのみ）</td><td>削除ボタン</td><td>画像を削除する</td><td>34</td></tr>
</table>

プロジェクターで投映する

カメラ/リモコンの操作部	名称	主な機能	📖
（カメラのみ）	**プロジェクターカバー**	開く：投映を開始する 閉じる：投映を終了する ※ 電源は、プロジェクターカバーを閉じてからOFFにしてください。	80

動画投映中の操作

動画を再生するには、1コマ表示で動画を選び、カメラのOKボタン、またはリモコンの決定ボタンを押します。
動画再生中は、画面上部には操作パネルが表示され、カメラのマルチセレクターまたはリモコンの◀▶を押して操作パネルのアイコンを選ぶと、以下の操作ができます。

<table>
<tr><th>機能</th><th>操作パネル</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><td>巻き戻し/早送りする</td><td>◀◀/▶▶
（カメラのみ）</td><td colspan="2">OKボタンを押している間、巻き戻し/早送ります。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">一時停止する</td><td>❚❚</td><td colspan="2">カメラのOKボタン、またはリモコンの決定ボタンを押すと、一時停止します。
一時停止中に画面上部の操作ボタンで以下の操作ができます。</td></tr>
<tr><td rowspan="3"></td><td>◀❚</td><td>カメラのOKボタン、またはリモコンの決定ボタンを押すと、コマ戻しします。押し続けると、連続してコマ戻しします。</td></tr>
<tr><td>❚▶</td><td>カメラのOKボタン、またはリモコンの決定ボタンを押すと、コマ送りします。押し続けると、連続してコマ送りします。</td></tr>
<tr><td>▶</td><td>カメラのOKボタン、またはリモコンの決定ボタンを押すと、再生を再開します。</td></tr>
<tr><td>再生を終了する</td><td>■</td><td colspan="2">カメラのOKボタン、またはリモコンの決定ボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。</td></tr>
</table>

音量調節

再生中にカメラのズームレバーまたはリモコンのズームボタンの**W/T**で音量を調節します。

リモコンで巻き戻し/早送りする

◀▶ボタンを押し続けます。◀ボタンで巻き戻し、▶ボタンで早送りします。

▶ プロジェクターでスライドショーを再生する

内蔵メモリー /SDカード内の画像を、1コマずつ順番に自動再生します。
カメラまたは別売のリモコン（□4）で以下の操作ができます。

1 カメラの電源をONにし、プロジェクターカバーを開く

- 投映する画像を絞り込みたいときは、お気に入り再生、オート分類再生、オート分類再生モードなどをお使いください（□70）。

2 MENUボタンを押す

- 再生メニューが投映されます。
- リモコンで操作する場合→手順4

3 カメラのマルチセレクター ▲▼ で［スライドショー］を選び、OK ボタンを押す

- ［**スライドショー**］を選択して［**効果**］、［**BGM**］または［**インターバル設定**］を選んでOKボタンを押すと、スライドショーの設定を変更できます（⊶51）。

4 カメラの位置やピントを確認する

- 「画像を投映する」（□80）の手順3、4に従って、カメラの位置やピントを確認してください。

5 カメラのマルチセレクター ▲▼ で［開始］を選び、OK ボタンを押す

- リモコンで操作するには、▶ボタンを押します。
- 手順3で、スライドショーの設定をせずに［**開始**］したときは、前回の設定でスライドショーを開始します。

6 スライドショーが始まる

- 再生中にカメラまたはリモコンの▶ボタンを押すと次の画像、◀ボタンを押すと前の画像を表示します（ボタンを押し続けると早送り / 巻き戻しになります）。
- 一時停止するにはカメラのOKボタンまたはリモコンの決定ボタンを、途中で終了するにはカメラのOKボタンを押して一時停止画面にし、マルチセレクターの◀▶で■を選びOKボタンを押す、またはリモコンの▶ボタンを押します。
- ［**BGM**］をつけたときは、再生中にカメラのズームレバーまたはリモコンのズームボタンの**T**/**W**で音量を調節できます。

7 終了または再開する

- スライドショー終了時や一時停止中は、右の画面が投映されます。カメラではマルチセレクターの◀▶で■を選び🆗ボタンを押す、リモコンでは▶ボタンを押すと再生メニューに戻ります。
- カメラではマルチセレクターの◀▶で▶を選ぶ、リモコンでは決定ボタンを押すとスライドショーを再開します。

スライドショーについてのご注意

- 動画（📖94）は1フレーム目だけを表示します。
- スライドショーを連続再生できる時間は、［**エンドレス**］に設定している場合も含め、最大約60分です（Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL12使用時）（⚯70）。

プロジェクターに関する基本設定

プロジェクター投映中にMENUボタンを押してメニュー画面を表示すると、以下のメニュー操作ができます（□12）。また、以下はプロジェクター投映中以外もメニュー操作できます。

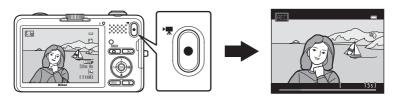
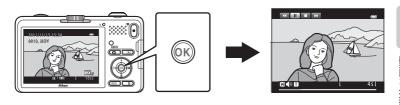
再生メニュー

項目	内容	□
プリント指定	SDカードに記録した画像をプリンターでプリントするときに、どの画像を何枚プリントするかを設定します。	46
スライドショー	内蔵メモリー /SDカード内の画像を、1コマずつ順番に自動再生します。	50
プロテクト設定	大切な画像を誤って削除しないように、プロテクト（保護）します。	52
画像回転	撮影後に、カメラなどで表示するときの画像の向き（縦横位置）を設定します。	54

セットアップメニュー

項目	内容	□
モニター設定	撮影画面や再生画面に情報を表示するかどうかを選びます。構図を決める参考になる格子線を表示する［**格子線+情報AUTO**］も選べます。 初期設定は、［**情報AUTO**］です。	64
プロジェクター設定	投映する画面の明るさを自動調整し、消費電力を抑える設定ができます。 初期設定は、［**OFF**］です。	65
オートパワーオフ	節電のために液晶モニターが消灯するまでの時間を設定します。 初期設定は［**1分**］です。	70

動画を撮影、再生する

●（▸🎥動画撮影）ボタンを押すだけで、動画を撮影できます。

再生モードで🆗ボタンを押すと、動画を再生します。

動画を撮影する

●（動画撮影）ボタンを押すだけで、すぐに動画を撮影できます。
色合いやホワイトバランスなどの静止画の設定は、動画にも引き継がれます。

1 電源をONにして、撮影画面を表示する

- 動画設定は、撮影する動画の種類を表します。初期設定は、［720p HD 720p（1280×720）］です（□93）。

※イラスト上の記録可能時間の数値は、実際とは異なります。

動画設定

動画の記録可能時間※

2 ●（動画撮影）ボタンを押して、動画の撮影を開始する

- 画面中央でピントが合います。動画の撮影中は、AFエリアは表示されません。
- ［**動画設定**］が［720p **HD 720p（1280×720）**］の場合、撮影画面の縦横比が16：9に切り換わります（右の画面の範囲で記録されます）。
- セットアップメニューの［**モニター設定**］（□98）の［**モニター表示設定**］で［**動画枠+情報AUTO**］にすると、動画撮影開始前に動画撮影範囲の枠を画面に表示することができます。

- 記録可能な残り時間の目安を液晶モニターで確認できます。内蔵メモリーへの記録中は、INが表示されます。
- 記録可能な残り時間が無くなると、撮影が自動的に終了します。

3 ●（動画撮影）ボタンを押して撮影を終了する

動画の記録についてのご注意

撮影終了後、撮影画面に切り換わるまでは、動画の記録は終了していません。**バッテリー/SDカードカバーを開けないでください。**記録が終了する前にSDカードやバッテリーを取り出すと、動画が記録されないことや、撮影した動画やカメラ、SDカードが壊れることがあります。

動画撮影についてのご注意

- 動画をSDカードに記録するときは、SDスピードクラスがClass 6以上のSDカードをおすすめします（□21）。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- ［**動画設定**］を［**720p HD 720p（1280×720）**］にして動画を撮影したときは、画角（写る範囲）が静止画に比べて狭くなります。
- 電子ズームを使うと、画質は劣化します。電子ズームを使わずに動画撮影を開始したときは、ズームレバーを**T**方向に回し続けると、光学ズームの最大倍率でズームが止まります。いったんズームレバーから指をはなして、もう一度**T**方向に回すと電子ズームが作動します。
- 電子ズームは、動画撮影を終了するとキャンセルされます。
- ズームレバーなどの操作音、オートフォーカス、手ブレ補正、明るさが変化したときの絞り制御などの動作音が録音されることがあります。
- 動画の撮影では、液晶モニターにスミア（☼3）が発生すると、記録される動画にもスミアの影響が残ります。スミアの影響を避けるため、太陽や太陽の照り返し、電灯などを画面内に入れずに撮影するようおすすめします。
- 撮影距離やズーム倍率によっては、動画の撮影時や再生時、同じパターンを繰り返す被写体（布地や建物の格子窓など）に色の着いた縞模様（干渉縞、モアレ）が現れることがあります。これは被写体の模様と撮像素子の配列が干渉すると起きる現象で故障ではありません。

オートフォーカスについてのご注意

「オートフォーカスが苦手な被写体」（□31）では、ピント合わせができないことがあります。このような被写体を動画で撮影するときは、以下の方法をお試しください。

1. 撮影前に動画メニューの［**AFモード**］をAF-S［**シングルAF**］（初期設定）にする。
2. 等距離にある別の被写体を画面中央に配置して●（動画撮影）ボタンを押し、動画撮影を開始してから構図を変える。

カメラの温度について

- 動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなることがあります。
- 動画撮影中にカメラ内部が極端に高温になると、30 秒後に撮影が自動終了します。
  自動終了までの残りの秒数（30s）が画面に表示されます。

  自動終了後、5秒後に電源もOFFになります。
  カメラ内部の温度が下がるまでしばらく放置してからお使いください。

動画の記録可能時間

動画設定（□93）	内蔵メモリー（約94MB）	SDカード（4 GB）※
720p HD 720p（1280×720）	約1分20秒	約55分
iFrame iFrame 540（960×540）	約30秒	約20分
VGA VGA（640×480）	約4分20秒	約2時間55分

数値はおおよその目安です。同じ容量でもSDカードの種類によって記録可能時間は異なります。

※ 1回の撮影で記録可能な時間は、SDカードの残量が多いときでもファイルサイズ4 GBまで、または最長29分までです。撮影時の画面には、1回の撮影で記録可能な時間が表示されます。

動画撮影で使える機能

- 露出補正またはホワイトバランスの設定も撮影する動画に反映します。マクロモードのときは、より被写体に近づいて動画を撮影できます。動画の撮影を開始する前に設定を確認してください。
- セルフタイマー（□56）を使えます。セルフタイマーを設定し、●（動画撮影）ボタンを押すと、10秒または2秒経過後に動画撮影を開始します。
- フラッシュは発光しません。
- 動画の撮影を開始する前にMENUボタンを押して、（動画）タブを選ぶと動画メニューの設定ができます（□93）。

動画撮影の設定を変える（動画メニュー）

撮影画面にする➔ MENUボタン➔ 🎥タブ（□12）

以下のメニュー項目の設定が変更できます。

項目	内容	□
動画設定	撮影する動画の種類を[720p **HD 720p(1280×720)**]、[iFrame **iFrame 540（960×540)**]、[VGA **VGA（640×480)**］から選べます。 [720p **HD 720p（1280×720)**］を選ぶと、16:9の動画を撮影できます。	➡58
AFモード	動画撮影開始時のピントに固定するAF-S［**シングルAF**］（初期設定）、または動画撮影中にピント合わせを繰り返すAF-F［**常時AF**］を選べます。 AF-F［**常時AF**］にすると、ピントを合わせる動作音が録音されることがあります。動作音が気になるときは、AF-S［**シングルAF**］での撮影をおすすめします。	➡58
動画照明	動画撮影時に、暗い場所などで撮影を補助する動画照明を点灯できます。初期設定は、［**OFF**］です。	➡59
風切り音低減	動画の撮影時にマイクに吹き付ける風の音を抑えて記録するかどうかを［**ON**］（初期設定）または［**OFF**］から設定します。	➡59
解像感補正	動画の撮影時に解像感の補正をするかどうか［**AUTO**］（初期設定）または［**OFF**］から設定します。	➡59

動画を撮影、再生する

動画を再生する

1 ▶（再生）ボタンを押し、再生モードにする

- マルチセレクターで動画を選ぶ。
- 動画設定（📖90）のアイコンが表示されている画像が動画です。

2 ⓚボタンを押す

- 動画が再生されます。

動画再生中の操作

画面上部には操作パネルが表示されます。マルチセレクターの◀▶を押して操作パネルのアイコンを選ぶと、以下の操作ができます。

<table>
<tr><th>機能</th><th>アイコン</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><td>巻き戻し</td><td>◀◀</td><td colspan="2">ⓚボタンを押している間、巻き戻します。</td></tr>
<tr><td>早送り</td><td>▶▶</td><td colspan="2">ⓚボタンを押している間、早送りします。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">一時停止</td><td rowspan="4">❚❚</td><td colspan="2">ⓚボタンを押すと、一時停止します。
一時停止中に画面上部の操作ボタンで以下の操作ができます。</td></tr>
<tr><td>◀❚❚</td><td>ⓚボタンを押すと、コマ戻しします。押し続けると、連続してコマ戻しします。</td></tr>
<tr><td>❚❚▶</td><td>ⓚボタンを押すと、コマ送りします。押し続けると、連続してコマ送りします。</td></tr>
<tr><td>▶</td><td>ⓚボタンを押すと、再生を再開します。</td></tr>
<tr><td>再生終了</td><td>■</td><td colspan="2">ⓚボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。</td></tr>
</table>

音量の調節

再生中にズームレバー **T**/**W**（📖7）を回します。

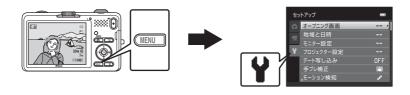
動画ファイルを削除する

動画を削除するには、1コマ表示（📖32）やサムネイル表示（📖33）で動画を選んで🗑ボタンを押します（📖34）。

✔ 動画再生について

COOLPIX S1200pj以外で撮影した動画は再生できません。

カメラに関する基本設定

この章では、Yセットアップメニューで設定できる項目の種類を説明しています。

- メニュー画面の基本操作については、「メニューを使う（MENUボタン）」（□12）をご覧ください。
- 設定できる項目のより詳しい説明は、「詳細編　セットアップメニュー」（➡60）をご覧ください。

セットアップメニュー

MENUボタンを押す➔ 🔧（セットアップ）タブ（📖12）

メニュー画面で🔧タブを選ぶと、以下の項目をセットアップメニューで設定できます。

項目	内容	📖
オープニング画面	［**COOLPIX**］を選ぶと、電源ON時に、オープニング画面（COOLPIXロゴ）を表示してから、撮影/再生画面を表示します。［**撮影した画像**］を選ぶと、オープニング画面として撮影した画像を表示します。	➔60
地域と日時	内蔵時計の日時を設定します。［**タイムゾーン**］では、ご使用の地域や夏時間（サマータイム）を設定します。また、訪問先（✈）のタイムゾーンを登録すると、自宅（⌂）との時差を自動計算し、撮影日時を現地時間で記録できます。	➔61
モニター設定※	撮影画面や再生画面に情報を表示するかどうかを選びます。構図を決める参考になる格子線を表示する［**格子線+情報AUTO**］も選べます。 初期設定は、［**情報AUTO**］です。 また、撮影後の画像表示や画面の明るさを設定します。 • プロジェクター投映時は、［**撮影後の画像表示**］および［**画面の明るさ**］の設定はできません。	➔64
プロジェクター設定※	投映する画面の明るさを自動調整し、消費電力を抑える設定ができます。 初期設定は、［**OFF**］です。	➔65

項目	内容	🕮
デート写し込み	撮影時に画像に撮影日時を写し込んで記録します。 初期設定は、［**OFF**］です。 • 以下の場合は日付を写し込めません。 - シーンモードの［**スポーツ**］、［**ミュージアム**］、［**パノラマアシスト**］または［**ペット**］の設定を［**連写**］にしたとき - ベストフェイスモードの［**目つぶり軽減**］（⊶36）が［**ON**］のとき - 連写の設定（⊶39）が［**連写**］または［**BSS**］のとき - 動画のとき	⊶66
手ブレ補正	撮影時に手ブレの影響を軽減します。 初期設定は、［**ON**］です。 • 三脚などでカメラを固定するときは、補正機能の誤動作を防ぐため［**OFF**］にしてください。	⊶67
モーション検知	撮影時にカメラが被写体の動きや手ブレを検知すると、ブレを軽減するためにISO感度を上げてシャッタースピードを速くします。撮影画面の◎表示は、ブレを検知してシャッタースピードが速くなると緑色に変わります。 初期設定は、［**AUTO**］です。 • 撮影モードなどの設定によっては、検知しません。その場合は撮影画面に ◎ は表示されません。	⊶68
AF**補助光**	［**AUTO**］時は、暗い場所などでオートフォーカスによるピント合わせを補助するAF補助光（🕮2）が点灯します。 初期設定は、［**AUTO**］です。 • AF 補助光が届く距離は、広角側で約 4.5 m、望遠側で約 3.0 m です。 • AF 補助光の設定に関わらず、AF エリアの位置やシーンモードによっては点灯しません。	⊶69
電子ズーム	［**ON**］時は、光学ズームが最も望遠側にある状態でズームレバーを**T**（🔍）方向に回すと、電子ズームが作動します（🕮29）。 初期設定は、［**ON**］です。	⊶69
操作音	操作時に電子音を鳴らすかどうかを設定します。 ［**設定音**］および［**シャッター音**］の初期設定は［**ON**］です。 • 撮影モードなどの設定によっては、電子音は鳴りません。	⊶70

セットアップメニュー

項目	内容	□
オートパワーオフ※	節電のために液晶モニターが消灯するまでの時間を設定します。 初期設定は［**1分**］です。	E70
メモリーの初期化/カードの初期化（フォーマット）	SDカードを入れていないときは内蔵メモリーを、SDカードを入れているときはSDカードを初期化（フォーマット）します。 ・**初期化すると内蔵メモリーまたはSDカード内のデータはすべて削除され、もとに戻せません。**必要なデータは初期化する前にパソコンなどに保存してください。	E71
言語/Language	メニュー画面などに表示する言語を選びます。	E72
インターフェース	［**USB**］を選ぶと、パソコンやプリンターと接続するときの通信方法を［**MTP/PTP**］（初期設定）または［**プロジェクター**］から選ぶことができます。［**ビデオ出力**］を選ぶと、テレビや外部機器に合わせて［**NTSC**］（初期設定）または［**PAL**］を選ぶことができます。	E73
パソコン接続充電	［**AUTO**］（初期設定）時は、パソコンと接続すると、パソコンからの電力供給状態に応じて、カメラ内のバッテリーを充電します。 ・パソコンで充電する場合、本体充電 AC アダプター EH-69P 使用時に比べて、充電に時間がかかります。また、画像を転送しながら充電すると、充電に時間がかかります。	E73
目つぶり検出設定	ベストフェイスモード以外で顔認識撮影（□65）した直後、被写体の人物が目を閉じている可能性をカメラが検出すると［**目つぶり確認**］画面が表示され、撮影した画像を確認できます。 初期設定は、［**OFF**］です。	E75
設定クリアー	カメラを初期設定にリセットします。 ［**地域と日時**］、［**言語/Language**］など、基本設定の一部はリセットされません。	E77
バージョン情報	カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。	E79

※ プロジェクター投映時も操作できます（□88）。

詳細編

詳細編では、機能の詳細や使い方のヒントなどを記載しています。

撮影

再生

外部機器からの投映

動画

メニュー

資料

パノラマアシストの使い方

三脚を使うと、構図を合わせやすくなります。

三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（□98）の［**手ブレ補正**］をOFFにしてください。

撮影画面にする ➔ ◘（撮影モード）ボタン ➔ ◘（上から2番目のアイコン）➔ ▶ ➔ ◘パノラマアシスト（□26～27）

1 撮影時に◘ボタンを押し、マルチセレクターで◘［パノラマアシスト］を選ぶ（□44）

- パノラマ方向（画像をつなげる方向）を示す▷マークが表示されます。

2 マルチセレクターでパノラマ方向を選び、◘ボタンを押す

- 右方向につなげるときは▷、左方向は◁、上方向は△、下方向は▽を選びます。
- 選んだ方向に黄色い▷▷マークが移動し、◘ボタンを押すと方向を決定します。決定した方向の▷（白色）が表示されます。
- フラッシュモード（□54）、セルフタイマー（□56）、マクロモード（□57）、露出補正（□58）を設定したいときは、ここで設定します。
- もう一度◘ボタンを押すと、パノラマ方向を選び直せます。

3 一番端の被写体に構図を合わせ、1 コマ目を撮影する

- 画面中央でピントを合わせます。
- 撮影した画像が、画面の約 1/3 の部分に半透明で表示されます。

4 2コマ目以降を撮影する

- 次の被写体の 1/3 が前の絵柄に重なるように構図を合わせて、シャッターボタンを押します。
- この手順を繰り返して、必要な画像を撮影します。

5 必要な画像を撮影し終わったら、Ⓚボタンを押す

- 手順2の状態に戻ります。

パノラマアシストについてのご注意

- フラッシュモード、セルフタイマー、マクロモード、露出補正は、1コマ目のシャッターをきる前に設定してください。1コマ目を撮影した後は変更できません。1コマ目を撮影した後は、［**画像モード**］（□61）の変更やズーム操作、画像の削除もできません。
- 撮影中にオートパワーオフ（⊶70）による待機状態になると撮影が終了します。オートパワーオフの時間を長めに設定しておくことをおすすめします。

AE/AF-L表示について

パノラマアシストモードでは、パノラマ写真を構成するすべての画像を、1コマ目と同じ露出、ホワイトバランスおよびピントで撮影します。
1コマ目を撮影すると、露出、ホワイトバランスとピントをロック（固定）したことを示すAE/AF-Lが画面に表示されます。

パノラマ写真に合成するには（Panorama Maker 5）

- 撮影した画像をパソコンに転送して（□75）、Panorama Maker 5でパノラマ写真に合成します。
- Panorama Maker 5は、付属CD「ViewNX 2 Installer」でインストールできます（□72）。
- Panorama Maker 5をインストールしたら、次のように起動します。
  Windows：［**スタート**］から［**すべてのプログラム**］→［**ArcSoft Panorama Maker 5**］→［**Panorama Maker 5**］の順にクリックします。
  Mac OS X：［**アプリケーション**］フォルダーを開き、［**Panorama Maker 5**］をダブルクリックします。
- Panorama Maker 5の使い方は、Panorama Maker 5の操作画面やヘルプをご覧ください。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→⊶80

お気に入り再生モード

お気に入りの画像は、撮影後、9つあるお気に入りフォルダーに登録することで分類できます（動画を除く）。登録後、お気に入り再生モードに切り換えると、登録した画像のみを再生できます。

- フォルダーをイベントや被写体の種類などで使い分けると、画像を探しやすくなります。
- 同じ画像を複数のお気に入りフォルダーに登録できます。
- 1つのお気に入りフォルダーに登録できる画像は、最大200コマです。

お気に入りフォルダーに画像を登録する

1 登録したい画像を、1コマ表示またはサムネイル表示で選び、㊗ボタンを押す

- お気に入り再生モードでは、画像の登録はできません。

2 登録したいフォルダーをマルチセレクターで選び、㊗ボタンを押す

詳細編

お気に入りフォルダーの画像を再生する

「再生モードの切り換え方法」（□70）の手順で、★［**お気に入り再生**］モードを選ぶと、フォルダーの選択画面になります。マルチセレクターでフォルダーを選び、OKボタンを押すと、選んだフォルダーに登録した画像のみ絞り込んで再生します。

▶ボタンを押す（再生モード）➔ ▶ボタン ➔ ★お気に入り再生モード

- お気に入りフォルダーの選択画面では、以下の操作ができます。
  - MENUボタン：フォルダーのアイコン（色とデザイン）を変更します（⚭6）。
  - 🗑ボタン：選択中のフォルダーに登録した画像を、すべて削除します。
- 1コマ表示中またはサムネイル表示でMENUボタンを押し、メニュー画面で★タブ（お気に入り再生メニュー）を選ぶと、再生メニュー（□71）の機能が選べます。

お気に入りフォルダーの画像登録を解除する

お気に入り再生モードの1コマ表示でOKボタンを押すと、登録解除の確認画面が表示されます。
［**はい**］を選んでOKボタンを押すと、登録が解除されます。

詳細編

✓ 削除についてのご注意

画像をお気に入りフォルダーに登録しても、画像ファイルはお気に入りフォルダーへコピーも、移動もされません。
お気に入りフォルダーには画像のファイル名が登録され、お気に入り再生モードではファイル名から画像を呼び出して再生します。
お気に入り再生モードで画像を削除すると、お気に入りフォルダーから画像が消えるだけでなく、内蔵メモリーまたはSDカードに記録されている元の画像も削除されます。

お気に入りフォルダーのアイコンを変更する

お気に入りフォルダーの選択画面（□70、⊶5）でフォルダーを選び、MENU ボタンを押すと、お気に入りフォルダーのアイコンを変更できます。

- 色を選んでⓀボタンを押すと、アイコンを選べるようになります。アイコンを選んでⓀボタンを押すと、アイコンが変更されます。

詳細編

✓ お気に入りフォルダーのアイコン設定についてのご注意

お気に入りフォルダーのアイコンは、内蔵メモリーまたはSDカードごとに設定してください。

- 内蔵メモリーのお気に入りフォルダーアイコンを変更するときは、SD カードをカメラから取り出してください。
- アイコンの初期設定は数字アイコン（黒色）です。

オート分類再生モード

撮影した画像は、人物、風景、動画などの項目別に自動で分類されます。
「再生モードの切り換え方法」(□70)の手順で、AUTO[**オート分類再生**]モードを選ぶと、分類の選択画面になります。マルチセレクターで分類を選び、OKボタンを押すと、同じ分類の画像のみを絞り込んで再生します。

▶ボタンを押す(再生モード)➔▶ボタン➔AUTOオート分類再生モード

分類項目の種類と内容

項目	内容
笑顔	ベストフェイスモード(□47)で笑顔自動シャッターを[**ON**]にして撮影した画像。
人物	シーンモード(□39)の[**ポートレート**]※、[**夜景ポートレート**]※、[**パーティー**]、[**逆光**]※で撮影した画像。 ベストフェイスモード(□47)で笑顔自動シャッターを[**OFF**]にして撮影した画像。 (オート撮影)モード(□50)で顔認識撮影(□65)した画像。
料理	シーンモード(□39)の[**料理**]で撮影した画像。
風景	シーンモード(□39)の[**風景**]※で撮影した画像。
夜景	シーンモード(□39)の[**夜景**]※、[**夕焼け**]、[**トワイライト**]、[**打ち上げ花火**]で撮影した画像。
接写	シーンモード(□39)の[**クローズアップ**]※で撮影した画像。 (オート撮影)モードでマクロ(□57)に設定して撮影した画像。
ペット	シーンモード(□39)の[**ペット**]で撮影した画像。
動画	動画(□90)。
編集済み画像	画像編集(⊶10)で作成した画像。
その他の画像	他の分類項目に該当しない画像。

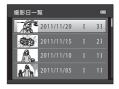
※ (らくらくオート撮影)モードで(□38)で切り換わった場合も含みます。

- 分類項目の選択画面では、以下の操作ができます。
  - 🗑ボタン：選択中の項目に分類された画像を、すべて削除します。
- 1コマ表示またはサムネイル表示でMENUボタンを押し、メニュー画面でAUTOタブ(オート分類再生メニュー)を選ぶと、再生メニュー(□71)の機能が選べます。

オート分類再生モードについてのご注意

- 1つの分類項目で表示できるのは、最大999コマです。撮影時にすでに999コマある分類項目に該当した画像/動画は、オート分類再生モードに登録できず、オート分類再生モードで表示できません。通常の再生モード（📖32）または撮影日一覧モード（🔭9）で表示してください。
- 内蔵メモリーまたはSDカードからコピーした画像や動画（🔭57）は、オート分類再生モードでは表示できません。
- COOLPIX S1200pj以外で記録した画像や動画は、オート分類再生モードで表示できません。

撮影日一覧モード

「再生モードの切り換え方法」（□70）の手順で、📅［**撮影日一覧**］モードを選ぶと、撮影日の選択画面になります。マルチセレクターで日付を選び、Ⓚボタンを押すと、同じ撮影日の画像のみを絞り込んで再生します。

▶ボタンを押す（再生モード）➔ ▶ボタン ➔ 📅撮影日一覧モード

- 選んだ日に最初に撮影した画像から表示されます。
- 撮影日の選択画面では、以下の操作ができます。
  - MENUボタン：メニュー画面で📅タブ（撮影日一覧メニュー）を選ぶと、再生メニュー（□71）のうち、以下の機能が選択でき、選択中の撮影日の画像をまとめて同じ設定にできます。
    →プリント指定、スライドショー、プロテクト設定
  - 🗑ボタン：選択中の撮影日の画像を、すべて削除します。
- 1コマ表示またはサムネイル表示でMENUボタンを押し、メニュー画面で📅タブ（撮影日一覧メニュー）を選ぶと、再生メニュー（□71）の機能が選べます。
- 撮影日一覧モードでは、カレンダー表示（□33）はできません。

詳細編

✔ 撮影日一覧モードについてのご注意

- 選べる撮影日は最大29日分までです。撮影日が30日以上あると、［**過去画像**］として30日以降の画像がすべてまとめられます。
- 撮影日一覧モードで表示できる画像は、最新の画像から9,000 コマまでです。
- 日時を設定せずに撮影した画像は、「2011年1月1日」の画像として扱われます。

画像の編集（静止画）

画像編集の種類

このカメラでは以下の機能を使って画像を簡単に編集できます。編集した画像は元画像とは別に、異なるファイル名で保存されます（E80）。

編集の種類	用途
簡単レタッチ（E12）	コントラストと色の鮮やかさを高めた画像を簡単に作成します。
D-ライティング（E13）	逆光やフラッシュの光量不足で暗くなった部分を明るく補正します。
メイクアップ効果（E14）	人物の顔の肌をなめらかにしたり、顔を小さく見せたり、目を大きく見せたりします。
フィルター効果（E16）	デジタルフィルターでいろいろな効果をつけます。効果の種類には、［**ピクチャーカラー**］、［**ソフト**］、［**セレクトカラー**］、［**クロススクリーン**］、［**魚眼効果**］、［**ミニチュア効果**］があります。
スモールピクチャー（E18）	サイズの小さい画像を作成します。電子メールに添付して送信するときなどに使います。
トリミング（E19）	画像の一部を切り抜きます。被写体をクローズアップしたいときや構図に手を加えたいときなどに使います。

画像編集についてのご注意

- ［**画像モード**］（61）を［**4224×2376**］にして撮影した画像は、編集できません。
- 画像から人物の顔を検出できないときは、メイクアップ効果の編集はできません（E14）。
- COOLPIX S1200pj以外で撮影した画像は、COOLPIX S1200pjで編集できません。
- COOLPIX S1200pj以外のデジタルカメラでは、COOLPIX S1200pjで編集した画像の正常な表示やパソコンへの転送ができないことがあります。
- 内蔵メモリー /SDカードに充分な空き容量がないときは、編集できません。

画像編集の制限

編集で作成した画像に別の編集を追加するときには、以下の制限があります。

編集に使った機能	追加できる編集機能
簡単レタッチ D-ライティング フィルター効果	メイクアップ効果、スモールピクチャーまたはトリミングができます。 簡単レタッチ、D-ライティング、フィルター効果を組み合わせることはできません。
メイクアップ効果	メイクアップ効果以外の編集ができます。
スモールピクチャー トリミング	追加編集できません。

- 編集で作成した画像に同じ種類の編集を繰り返すことはできません。
- スモールピクチャーまたはトリミングと別の編集機能を組み合わせるときは、スモールピクチャーまたはトリミングは最後に編集してください。
- 撮影時に美肌機能を使って撮影した画像（⚭36）にも、メイクアップ効果で美肌などの編集ができます。

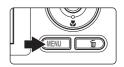
元画像と編集画像の関係について

- 編集で作成した画像は、元画像を削除しても削除されません。また編集で作成した画像を削除しても、元画像は削除されません。
- 編集で作成した画像の撮影日時は、元の画像と同じです。
- プリント指定（⚭46）やプロテクト設定（⚭52）した画像を編集しても、これらの設定内容は編集で作成した画像に反映されません。

簡単レタッチ（コントラストと鮮やかさを高める）

コントラストと色の鮮やかさを高めた画像を、簡単に作成できます。作成した画像は、元画像とは別に保存されます。

1 1コマ表示（32）またはサムネイル表示（33）で画像を選び、MENUボタンを押す

- 再生メニューが表示されます。

2 マルチセレクターで［簡単レタッチ］を選び、ボタンを押す

- 補正前（左側）と補正後（右側）の見本が表示されます。

3 ▲▼を押して効果の度合いを選び、ボタンを押す

- レタッチした画像が作成されます。
- 中止するときは、MENUボタンを押します。

- 簡単レタッチで作成した画像は、再生画面でが表示されます。

詳細編

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→80

D-ライティング（画像の暗い部分を明るく補正する）

逆光やフラッシュの光量不足などで暗くなった被写体を、明るく補正できます。補正した画像は、元画像とは別に保存されます。

1 1コマ表示（32）またはサムネイル表示（33）で画像を選び、MENUボタンを押す

- 再生メニューが表示されます。

2 マルチセレクターで［D-ライティング］を選び、ⓚボタンを押す

- 補正前（左側）と補正後（右側）の見本が表示されます。

3 ［実行］を選び、ⓚボタンを押す

- 補正した画像が作成されます。
- 中止するときは、［**キャンセル**］を選び、ⓚ ボタンを押します。

- D-ライティングで作成した画像は、再生画面でが表示されます。

詳細編

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→80

メイクアップ効果（肌をなめらかに、さらに顔を小さく目を大きくする）

撮影した画像から人物の顔を検出して、顔の肌をなめらかにしたり、顔を小さく見せたり、目を大きく見せたりできます。メイクアップ効果で作成した画像は、元画像とは別に保存されます。

1 1コマ表示（□32）またはサムネイル表示（□33）で画像を選び、MENUボタンを押す

- 再生メニューが表示されます。

2 マルチセレクターで［メイクアップ効果］を選び、OKボタンを押す

3 ▲▼を押して［すべて］または［美肌］を選び、OKボタンを押す

- ［**すべて**］：美肌に加え、小顔効果、目を大きく見せる効果を追加します。
- ［**美肌**］：顔の肌をなめらかにします。
- 効果の確認画面が表示されます。

詳細編

4 効果を確認し、Ⓚボタンを押す

- 最も画面の中央に近い順に、最大12人の肌を編集します。
- 美肌編集した顔が複数あるときは、マルチセレクターの◀▶を押すと顔の切り換えができます。
- 効果の度合いを変えたいときは、MENUボタンを押して手順3に戻ります。
- 編集した画像が作成されます。
- メイクアップ効果で作成した画像は、再生画面でが表示されます。

メイクアップ効果についてのご注意

- 画像から人物の顔を検出できないときは、メイクアップ効果の編集はできません。
- 顔の向きや明るさなど、画像によっては、適切に顔を検出できないことや望ましい効果が得られないことがあります。

関連ページ

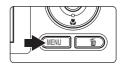
記録データのファイル名とフォルダー名→80

フィルター効果（デジタルフィルター）

デジタルフィルターでいろいろな効果をつけます。以下の効果を選べます。フィルター効果で作成した画像は、元画像とは別に保存されます。

種類	内容
ピクチャーカラー	カラーフィルターで画像の色調を変えます。色調の種類は［**ビビッドカラー**］、［**白黒**］、［**セピア**］、［**クール**］があります。
ソフト	画像の中央部から外側をぼかしたような雰囲気にします。
セレクトカラー	画像の特定の色だけを残し、他の部分を白黒にします。
クロススクリーン	太陽の反射や街灯などの光源から、放射状に光の筋を伸ばします。夜景などを撮影した画像が適しています。
魚眼効果	魚眼レンズで撮影したような画像にします。マクロで撮影した画像が適しています。
ミニチュア効果	ミニチュア（模型）を接写したように加工します。ミニチュア効果には、高いところから見下ろして撮影した画像で、主要な被写体が画面中央付近に写った画像が適しています。

1 1コマ表示（□32）またはサムネイル表示（□33）で画像を選び、MENUボタンを押す

- 再生メニューが表示されます。

2 マルチセレクターで［フィルター効果］を選び、Ⓚボタンを押す

3 ▲▼を押してフィルター効果を選び、Ⓚボタンを押す

- ［**クロススクリーン**］、［**魚眼効果**］、［**ミニチュア効果**］を選んだ場合→手順5

4 効果を調節する

- ［**ピクチャーカラー**］：▲または▼で色調を選び、Ⓚボタンを押します。

- ［**ソフト**］：▲または▼で効果の範囲を選び、Ⓚボタンを押します。

- ［**セレクトカラー**］：▲または▼でスライダーを動かし、残したい色合いを選び、Ⓚボタンを押します。

- ◀ を押すと、効果をつけずに［**フィルター効果**］選択画面に戻ります。

5 効果を確認し、Ⓚボタンを押す

- 編集した画像が作成されます。
- 1つ前の画面に戻るときは、◀を押します。
- 中止するときは、MENUボタンを押します。
- フィルター効果で作成した画像は、再生画面でⒺが表示されます。

詳細編

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→⚭80

スモールピクチャー（画像サイズを小さくする）

撮影した画像から、サイズの小さい画像を作成します。ホームページで使ったり、電子メールへ添付したりするのに便利です。サイズは［640×480］、［320×240］、または［160×120］から選べます。スモールピクチャーは、元の画像とは別の画像（圧縮率約1/16）として保存されます。

1 1コマ表示（32）またはサムネイル表示（33）で画像を選び、MENUボタンを押す

- 再生メニューが表示されます。

2 マルチセレクターで［スモールピクチャー］を選び、OKボタンを押す

3 スモールピクチャーのサイズを選び、OKボタンを押す

4 ［はい］を選び、OKボタンを押す

- スモールピクチャーが作成されます。
- 中止するときは、［**いいえ**］を選び、OKボタンを押します。
- スモールピクチャーで作成した画像は、黒の枠で囲まれて表示されます。

詳細編

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→80

✂ トリミング（画像の一部を切り抜く）

拡大表示（📖33）中にMENU:✂マークが表示されている画像は、液晶モニターに表示している部分だけにトリミング（切り抜き）できます。トリミングした画像は、元画像とは別に保存されます。

1 1コマ表示（📖32）でズームレバーを**T**（Q）方向に回して、画像を拡大表示する

- 縦位置画像は、左右の黒い帯が見えなくなるまで画像を拡大するとトリミングできますが、トリミング画像は横位置になります。縦位置のトリミング画像を作るには［**画像回転**］（⊶54）で横位置にしてからトリミングし、再度トリミング画像を縦位置に戻します。

2 切り抜きたい部分だけが表示されるように調節する

- ズームレバーを**T**（Q）方向または**W**（▦）方向に回して拡大率を調節します。
- マルチセレクターの ▲▼◀▶ を押して表示範囲を移動します。

3 MENUボタンを押す

4 マルチセレクターで［はい］を選び、Ⓚ ボタンを押す

- トリミング画像が作成されます。
- 中止するときは、［**いいえ**］を選び、Ⓚ ボタンを押します。

画像サイズについて

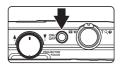
切り抜く範囲が狭くなるほど、トリミングで作成した画像の画像サイズ（ピクセル数）は小さくなります。
トリミングして画像サイズが320 × 240または160 × 120になった画像は、再生時に黒の枠で囲まれ、画面左側にスモールピクチャーのアイコンが表示されます。

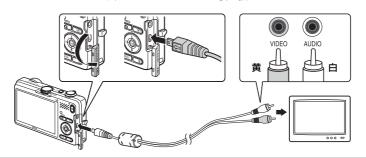
関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→80

テレビとの接続（テレビ画面での再生）

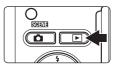
カメラを別売のオーディオビデオケーブルEG-CP16（AVケーブル）でテレビに接続すると、撮影した画像をテレビ画面で再生できます。

1 カメラの電源をOFFにする

2 カメラとテレビを接続する

- 黄色のプラグをテレビの映像入力端子に、白色のプラグを音声入力端子に接続してください。
- プラグの挿入方向を確認して、無理な力を加えずにまっすぐに差し込んでください。プラグを外すときも、まっすぐに引き抜いてください。

3 テレビの入力をビデオ入力（外部入力）に切り換える

- 詳しくはお使いのテレビの説明書をご覧ください。

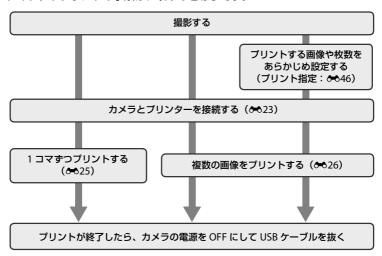
4 カメラの▶ボタンを長押しして電源をONにする

- カメラは再生モードになり、撮影した画像がテレビに表示されます。
- テレビとの接続中は、カメラの液晶モニターは消灯したままになります。

✔ 画像がテレビに映らないときは

［**セットアップ**］メニュー（📖98）→［**インターフェース**］（🔍73）→［**ビデオ出力**］がお使いのテレビに合っているか確認してください。

詳細編

プリンターとの接続（ダイレクトプリント）

PictBridge（18）対応プリンターをお使いの場合は、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを直接つないでプリントできます（ダイレクトプリント）。ダイレクトプリントの手順は、以下のとおりです。

電源についてのご注意

- プリンターと接続するときは、途中で電源が切れないように、充分に残量のあるバッテリーをお使いください。
- 別売の AC アダプター EH-62F を使用すると、家庭用コンセント（AC 100 V）からCOOLPIX S1200pjへ電源を供給できます。EH-62F以外のACアダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

画像のプリント方法について

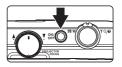
SDカードに記録した画像は、パソコンに転送したり、カメラをプリンターに接続してプリントする他に以下の方法でプリントできます。

- カードスロットが付いたDPOF対応プリンターでプリントする。
- プリントサービス店にプリントを依頼する。

これらの方法でプリントするときは、プリントする画像やプリント枚数などを、再生メニューの［**プリント指定**］を使って、あらかじめSDカードに設定できます（46）。

カメラとプリンターを接続する

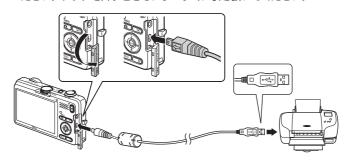
カメラとプリンターを接続するときは、プリンターに接続する前に、セットアップメニュー→［**インターフェース**］（🔗73）→［**USB**］の設定を［**MTP/PTP**］（初期設定）に設定します。

1 カメラの電源をOFFにする

2 プリンターの電源をONにする

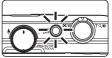
- プリンターの設定を確認します。

3 付属のUSBケーブルで、カメラとプリンターを接続する

- プラグの挿入方向を確認して、無理な力を加えずにまっすぐに差し込んでください。プラグを外すときも、まっすぐに引き抜いてください。

詳細編

4 カメラの電源が自動的にONになる

- 正しく接続されると、カメラの液晶モニターに［**PictBridge**］画面（①）が表示された後、［**プリント画像選択**］画面（②）が表示されます。

①
②
PictBridge画面が表示されないときは

カメラの電源をいったんOFFにしてUSBケーブルを外してください。カメラのセットアップメニューの［**パソコン接続充電**］（E73）を［**OFF**］に設定してから、接続をやり直してください。

1コマずつプリントする

カメラとプリンターを正しく接続してから（⚭23）、以下の手順でプリントしてください。

1 マルチセレクターでプリントする画像を選び、Ⓚボタンを押す

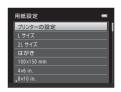
- ズームレバーを**W**（⊞）方向に回すと12コマ表示に、**T**（Q）方向に回すと1コマ表示に切り換わります。

2 ［**プリント枚数設定**］を選び、Ⓚボタンを押す

3 プリント枚数（9枚まで）を設定し、Ⓚボタンを押す

4 ［**用紙設定**］を選び、Ⓚボタンを押す

5 用紙サイズを選び、Ⓚボタンを押す

- プリンターの設定を優先したいときは、［**プリンターの設定**］を選びます。

6 ［**プリント実行**］を選び、Ⓚボタンを押す

7 プリントが始まる

- プリントが終わると、手順1の画面に戻ります。
- プリントを途中で中止したいときは、Ⓚボタンを押します。

プリント中の枚数/総枚数

複数の画像をプリントする

カメラとプリンターを正しく接続してから（E23）、以下の手順でプリントしてください。

1 ［**プリント画像選択**］画面が表示されたら、MENUボタンを押す

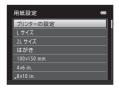
- ［**プリントメニュー**］画面が表示されます。

2 マルチセレクターで［**用紙設定**］を選び、Ⓚ ボタンを押す

- プリントメニューを終了したいときは、MENUボタンを押します。

詳細編

3 用紙サイズを選び、ⓚボタンを押す

- プリンターの設定を優先したいときは、［**プリンターの設定**］を選びます。

4 ［プリント選択］、［全画像プリント］または［DPOFプリント］を選んで、ⓚボタンを押す

プリント選択

プリントする画像（最大99コマまで）と、それぞれのプリント枚数（各9枚まで）を設定できます。

- マルチセレクターの ◀▶ を押して画像を選び、▲▼ を押してプリント枚数を設定します。
- プリントされる画像には、チェックマークとプリント枚数が表示されます。枚数を 0 にすると、その画像の選択を解除できます。
- ズームレバーを **T**（Q）方向に回すと 1 コマ表示に、**W**（▦）方向に回すと 12 コマ表示に切り換わります。
- 設定が終了したら ⓚ ボタンを押します。
- 右の画面が表示されたら、［**プリント実行**］を選び、ⓚ ボタンを押すと画像のプリントが始まります。［**キャンセル**］を選んでⓚボタンを押すと、プリントメニューに戻ります。

詳細編

全画像プリント

SDカードまたは内蔵メモリー内のすべての画像を1枚ずつプリントできます。

- 右の画面が表示されたら、[**プリント実行**]を選び、Ⓚ ボタンを押すと画像のプリントが始まります。[**キャンセル**] を選んでⓀボタンを押すと、プリントメニューに戻ります。

DPOFプリント

[**プリント指定**]（⊖46）であらかじめ指定しておいた画像をプリントできます。

- 右の画面が表示されたら、[**プリント実行**]を選び、Ⓚ ボタンを押すと画像のプリントが始まります。[**キャンセル**] を選んでⓀボタンを押すと、プリントメニューに戻ります。

- [**画像の確認**] を選んで Ⓚ ボタンを押すと、どの画像をプリント指定したか確認できます。もう一度 Ⓚ ボタンを押すと、画像のプリントが始まります。

5 プリントが始まる

- プリントが終わると、手順2の画面に戻ります。
- プリントを途中で中止したいときは、Ⓚボタンを押します。

プリント中の枚数/総枚数

詳細編

用紙設定について

用紙設定画面では、[**プリンターの設定**] 以外に、[**L サイズ**]、[**2L サイズ**]、[**はがき**]、[**100×150 mm**]、[**4×6 in.**]、[**8×10 in.**]、[**Letter**]、[**A3 サイズ**]、[**A4 サイズ**] のうち、プリンターが対応している用紙サイズを表示します。

パソコン画面の投映方法

COOLPIX S1200pjには、ソフトウェアCD-ROM「PC-PJ Transfer」が付属しています。「PC-PJ Transfer」を使うと、USB接続したパソコンの画面をカメラ内蔵のプロジェクターで投映できます。

PC-PJ Transferをインストールする前にご確認ください

カメラとパソコンを接続する前に、付属のPC-PJ Transfer CD-ROMを使って、ソフトウェアをインストールします。

動作環境

	Windows	Mac OS
プロセッサー（CPU）	Intel Core 2 Duo 3GHz以上	Intel Core 2 Duo 3GHz以上
OS	Windows 7 Home Premium/Professional/Enterprise/Ultimate、Windows Vista Home Basic/Home Premium/Business/Enterprise/Ultimate（Service Pack 3）、Windows XP Home Edition/Professional（Service Pack 3） ・すべてプリインストールされているモデルに対応 ・64 bit版Windows 7およびWindows Vista上で使用する場合、32 bit アプリケーションとして動作します。	Mac OS X（Version 10.4.11、10.5.8、10.6.7）
メモリー（RAM）	Windows 7、Windows Vista：1 GB以上（1.5 GB以上推奨） Windows XP：512 MB以上（1 GB以上推奨）	512 MB以上（1 GB以上推奨）
ハードディスク	実行時に50 MB以上の空き領域が必要	

- CPUの性能やメモリー（RAM）が上記を満たしていないパソコンでも使用できることがあります。ただし、転送速度や転送画質（E32）、パソコンで再生中の動画の投映などは制限されます。
- パソコン画面の推奨解像度：1280×800ピクセル以下

詳細編

インストールする前のご注意

ウイルスチェック用のソフトウェア、および他のアプリケーションソフトウェアはすべて終了してください。

PC-PJ Transferをインストールする

1 パソコンを起動し、PC-PJ Transfer CD-ROMをCD-ROMドライブに入れる

- Windowsの場合：画面の指示に従ってインストールしてください。
- Mac OSの場合：デスクトップ上のCD-ROM（PC-PJ Transfer）アイコンをダブルクリックし、［**PC-PJ Transfer Installer**］アイコンをクリックしてください。

2 インストールする言語を確認して［**次へ**］をクリックする

- 他の言語を選ぶ場合は、［**地域選択**］をクリックし、地域を選んでから言語を選んでください。
- 画面の指示に従ってインストールを続けてください。

3 インストールを終了する

- パソコンを再起動するダイアログが表示されたときは、ダイアログに従ってパソコンを再起動してください。

アンインストールするには

- Windowsの場合：［**スタート**］から［**すべてのプログラム**］→［**PC-PJ Transfer**］→［**PC-PJ Transfer アンインストール**］の順にクリックします。
- Mac OSの場合：［**アプリケーション**］フォルダーを開き、［**Nikon Software**］→［**PC-PJ Transfer**］→［**PC-PJ Transfer Uninstaller**］の順にクリックします。

PC-PJ Transferをお使いになるときのご注意

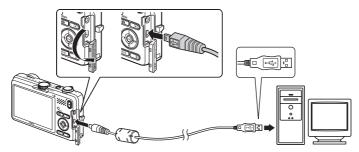
PC-PJ Transferをお使いになるとき（インストール、アンインストール含む）は、コンピューターの管理者権限のアカウントでログインしてください。

パソコンの画面を投映する

1 投映する前に、カメラでセットアップメニューを表示し、［**インターフェース**］（⊶73）の［**USB**］を［**プロジェクター**］に設定する

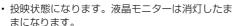
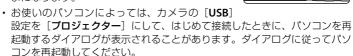
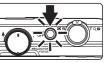
- セットアップメニューを表示するには、メニュー画面で🔧タブを選びます（📖12）。

2 カメラの電源をOFFにする

3 付属のUSBケーブルで、カメラとパソコンを接続する

- ケーブルは、プラグの挿入方向を確認して、無理な力を加えずにまっすぐに差し込んでください。プラグを引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。

4 カメラの電源をONにし、プロジェクターカバーを開く

- 投映状態になります。液晶モニターは消灯したままになります。

- お使いのパソコンによっては、カメラの［**USB**］設定を［**プロジェクター**］にして、はじめて接続したときに、パソコンを再起動するダイアログが表示されることがあります。ダイアログに従ってパソコンを再起動してください。

5 パソコンでPC-PJ Transferを起動する

- Windows：［**スタート**］から［**すべてのプログラム**］→［**PC-PJ Transfer**］→［**PC-PJ Transfer**］の順にクリックします。
- Mac OS：［**アプリケーション**］フォルダーを開き、［**Nikon Software**］→［**PC-PJ Transfer**］の順にフォルダーを開き、［**PC-PJ Transfer**］アイコンをダブルクリックします。Dockの［**PC-PJ Transfer**］アイコンをクリックしても起動できます。
- パソコン画面の投映が始まり、パソコンの画面に が表示されます。
  - Windows： は、タスクバーの右側に表示されます。 を右クリックすると、PC-PJ Transferメニューが表示されます。
  - Mac OS： は、メニューバーの右側に表示されます。 をクリックすると、PC-PJ Transferメニューが表示されます。
- 投映を一時停止するには、PC-PJ Transferメニューから［**停止**］を選びます。投映を再開するときは、［**開始**］を選びます。

6 投映を終了する

- PC-PJ Transferメニューから［**終了**］を選び、カメラのプロジェクターカバーを閉じ、電源をOFFにしてから、USBケーブルを外してください。
- カメラからパソコンに画像を転送するときは、カメラの［**USB**］設定を［**MTP/PTP**］に再設定してください。

パソコン画面投映時のご注意

- パソコン画面の投映中に、PC-PJ Transferメニューから［**停止**］または［**終了**］を選ぶと、パソコンからの画面転送を中止し、最後に投映した画面を投映し続けます。［**終了**］を選び、カメラの電源をOFFにすると、投映を終了できます。
- パソコン画面の投映中は専用の描画モードに移行するため、デスクトップ上の配色やファイル名の表示が変更される場合があります（Windows使用時）。PC-PJ Transferメニューから［**終了**］を選ぶと、自動的に元の状態に戻ります。

PC-PJ Transferの設定について

PC-PJ Transferメニューから［**設定**］を選ぶと、［**転送速度**］または［**転送画質**］の設定を変更できます。
- ［**転送速度**］：転送速度が速いほど画面内の動きが滑らかになります。［**自動**］にすると、5～24 fpsを自動で選びます。
- ［**転送画質**］：投映する画質を、［**自動**］、［**低**］、［**中**］、［**高**］から選べます。［**自動**］にすると、［**低**］、［**中**］、［**高**］を自動で選びます。

オートパワーオフについて

パソコン画面の投映中は、オートパワーオフは作動しません。

PowerPointで作成した資料の投映方法

Microsoft PowerPoint®で作成したファイルをJPEG形式で保存し、SDカードにコピーすると、カメラ単体でPowerPoint資料を投映できます。

1 PowerPointで作成したファイルを、PowerPointを使ってJPEG形式で別名保存する

- 別名保存したファイル名と同名のフォルダーが作られ、その中にPowerPointのページ数分のJPEGファイルが保存されます。
- ファイルの別名保存は、必ずPowerPointから行ってください。ファイルの別名保存や保存形式については、PowerPointのヘルプをご覧ください。

2 フォルダー名とJPEGファイル名を変更する

- フォルダー名：半角数字3桁※1+半角アルファベット5文字※2
  例：105USERS
- JPEGファイル名：FSCN+半角数字4桁※3
  例：FSCN0001.jpg、FSCN0002.jpg…

※1 3桁の数字は、手順3のDCIMフォルダー内にあるサブフォルダー名で使用されている最大数字に、1を足した数字を使用してください。例の「105」は、既存のサブフォルダーの最大数字が「104」のときの数字です。

※2 半角アルファベット5文字に「NIKON」は使えません。

※3 半角数字4桁のファイル番号は、PowerPoint資料のスライド順に合わせて付けると、その順番で投映できます。

3 カードリーダーを使用してSDカード※4をパソコンのデスクトップで開く

- DCIMフォルダーを開き、その中に手順2で作成したJPEGファイルをフォルダーごとコピーします。
- 新たに変換したファイルは、ファイルのみ同じフォルダーに追加することもできます。
- パソコンからSDカードを取り出すときは、パソコン上でリムーバブルディスクの取り外し操作を行ってから取り出してください。

※4 このカメラでフォーマットしたSDカード、または、このカメラで一度でも撮影に使用したSDカードをお使いください。

4 SDカードをカメラに入れ、電源をONにし、プロジェクターカバーを開く

- 通常の投映と同じ方法で、JPEGファイルに変換したPowerPoint資料を投映できます。

PowerPoint資料（JPEGファイル）再生時のご注意

- PowerPointのアニメーション効果は、再現できません。
- PowerPoint資料は、サムネイル表示では黒く表示されます。

動画の編集

撮影した動画の必要な部分だけを切り出し、別ファイルとして保存します（[iFrame 540（960×540）]（E58）で撮影した動画を除く）。

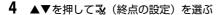
1 編集する動画を再生して、一時停止する（□94）

2 マルチセレクターの◀▶で操作パネルの✂を選び、OKボタンを押す

- 動画編集画面が表示されます。

3 ▲▼を押して編集操作パネルの✂（始点の設定）を選ぶ

- 編集開始時は、一時停止したときのフレームが始点になっています。
- マルチセレクターの◀▶を押して、始点を必要な部分の開始位置まで移動します。
- 編集を中止するには、▲▼で↩（戻る）を選び、OKボタンを押します。

4 ▲▼を押して✂（終点の設定）を選ぶ

- マルチセレクターの◀▶を押して、右端にある終点を必要な部分の終了位置まで移動します。
- ▶（プレビュー）を選び、OKボタンを押すと、保存する前に指定した範囲の動画を再生して確認できます。再生中、ズームレバー **T**/**W** で音量を調節できます。プレビュー再生を停止するときは、もう一度OKボタンを押します。

5 設定が完了したら、▲▼を押して[保存]を選び、OKボタンを押す

6 ［はい］を選び、Ⓚボタンを押す

- 編集した動画が保存されます。
- 保存しないときは［**いいえ**］を選びます。

動画編集についてのご注意

- 編集で作成した動画から、もう一度動画を切り出すことはできません。ほかの範囲を切り出すときは、元の動画を選んで編集してください。
- 秒単位で動画を切り出すため、設定した始点/終点のフレームと、実際の切り出し範囲は、多少ずれることがあります。再生時間が2秒未満になる切り出しはできません。
- 内蔵メモリー/SDカードに充分な空き容量がないときは、編集できません。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→E80

ベストフェイスメニュー

- ［**画像モード**］については、「画像サイズ（画像モード）を変える」（□61）をご覧ください。

美肌効果

ベストフェイスモードの画面にする ➔ MENUボタン ➔ ☺タブ ➔ 美肌効果

美肌の効果を設定します。
シャッターがきれると、人物の顔をカメラが検出し（最大3人）、画像処理で顔の肌をなめらかにしてから画像を記録します。効果の度合いを［**強め**］、［**標準**］（初期設定）、［**弱め**］から選べます。

- 美肌効果の設定は、撮影画面のアイコン表示で確認できます（□8）。［**OFF**］のときは、何も表示されません。また、撮影画面の被写体では、効果の度合いは確認できません。撮影後に画像を再生して確認してください。

笑顔自動シャッター

ベストフェイスモードの画面にする ➔ MENUボタン ➔ ☺タブ ➔ 笑顔自動シャッター

［**ON**］（初期設定）にすると、顔認識した人物の笑顔を検出するたびに、カメラが自動でシャッターをきります。

- 笑顔自動シャッターの設定は、撮影時の画面で確認できます（□8）。［**OFF**］のときは、何も表示されません。

目つぶり軽減

ベストフェイスモードの画面にする ➔ MENUボタン ➔ ☺タブ ➔ 目つぶり軽減

［**ON**］にすると、撮影のたびに2回シャッターをきり、人物が目をつぶっていない画像を優先して1コマだけ記録します。

- 目をつぶっている可能性のある画像を記録したときは、右のメッセージが数秒間表示されます。
- ［**ON**］にすると、フラッシュは使えません。
- 初期設定は、［**OFF**］です。
- 目つぶり軽減の設定は、撮影時の画面で確認できます（□8）。［**OFF**］のときは、何も表示されません。

撮影メニュー（▲（オート撮影）モード）

- ［**画像モード**］については、「画像サイズ（画像モード）を変える」（□61）をご覧ください。

ホワイトバランス（色合いの調整）

▲（オート撮影）モードの撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ ▲タブ ➔ ホワイトバランス

人間の目には、晴天、曇り空、白熱電球や蛍光灯の室内など、光源の色に関係なく白い被写体は白く見えます。人間の目に白く見える色を、デジタルカメラで白く撮影するには、光源の色に合わせて調整が必要です。この調整を「ホワイトバランスを合わせる」といいます。
初期設定の［**オート**］でほとんどの光源に対応できますが、撮影した画像が思い通りの色にならないときは、天候や光源に合わせて設定を変更してください。

項目	内容
AUTO オート（初期設定）	カメラが自動的にホワイトバランスを調整します。ほとんどの場合、この設定のままで撮影できます。
PRE プリセットマニュアル	特殊な照明の下などでの撮影に適しています。詳しくは「プリセットマニュアルの使い方」（⊶38）をご覧ください。
☀ 晴天	晴天の屋外での撮影に適しています。
✹ 電球	白熱電球の下での撮影に適しています。
蛍光灯	白色蛍光灯の下での撮影に適しています。
☁ 曇天	曇り空の屋外での撮影に適しています。
⚡ フラッシュ	フラッシュを使う撮影に適しています。

ホワイトバランスの設定は、撮影時の画面で確認できます（□8）。［**オート**］のときは、何も表示されません。

詳細編

✔ ホワイトバランスについてのご注意

［**オート**］、［**フラッシュ**］以外のホワイトバランスを選んだときは、フラッシュを⊛（発光禁止）に設定してください（□54）。

プリセットマニュアルの使い方

特殊な照明の下で撮影するときなど、［**オート**］や［**電球**］などのホワイトバランス設定では望ましい結果が得られない場合に使います（赤みがかった照明下で撮影した画像を、普通の照明下で撮影したように見せたいときなど）。
以下の手順で、撮影する照明下のホワイトバランス値を測定して、撮影します。

1 撮影する照明下で、白またはグレーの被写体を用意する

2 撮影メニューを表示し（□12、51）、マルチセレクターで［**ホワイトバランス**］の［**PRE プリセットマニュアル**］を選び、Ⓚボタンを押す

- レンズが測定用のズーム位置になります。

3 ［**新規設定**］を選ぶ

- 前回測定したホワイトバランス値を使いたいときは、［**前回の設定**］を選んでⓀボタンを押します。再測定せずに、ホワイトバランスが前回の値に設定されます。

4 測定窓に、用意した白またはグレーの被写体を収める

測定窓

5 Ⓚボタンを押して、ホワイトバランス値を測定する

- シャッターがきれて、ホワイトバランスのプリセット値が新たに設定されます（画像は記録されません）。

☑ プリセットマニュアルについてのご注意

フラッシュ発光時のホワイトバランス値は測定できません。フラッシュ撮影時は、［**ホワイトバランス**］を［**オート**］または［**フラッシュ**］に設定してください。

連写

（オート撮影）モードの撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ タブ ➔ 連写

連写（連続撮影）やBSS（ベストショットセレクター）を設定できます。

項目	内容
単写（初期設定）	1コマずつ撮影します。
連写	シャッターボタンを全押ししている間、約0.8コマ/秒で最大18コマまで連写できます（画像モードが［**4320×3240**］のとき）。
BSS BSS(ベストショットセレクター)	暗い場所でフラッシュを使わずに撮影するときや、望遠側で撮影するときなど、手ブレしやすい状況で撮影する場合に設定します。 シャッターボタンを全押ししている間、連写を続け（最大10コマ）、撮影した画像の中から最も鮮明に撮れている1コマをカメラが自動的に選んで記録します。
マルチ連写	シャッターボタンを1回全押しすると約30コマ/秒で16コマの連続写真を撮影し、1コマの画像として記録します。 • 記録される画像モードは（画像サイズ：2560 × 1920 ピクセル）に固定されます。 • 電子ズームは使えません。

連写の設定は、撮影時の画面で確認できます（□8）。［**単写**］のときは、何も表示されません。

詳細編

✔ 連写についてのご注意

- ［**連写**］、［**BSS**］または［**マルチ連写**］で撮影するときは、フラッシュは使えません。ピントと露出、ホワイトバランスは、最初の1コマと同じ条件に固定されます。
- 画像モード、SD カードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります。
- この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（□63）

✔ BSSについてのご注意

［**BSS**］は静止している被写体の撮影に効果的です。動いている被写体の撮影や、構図を変えながらの撮影では、望ましい結果が得られない場合があります。

✔ マルチ連写についてのご注意

マルチ連写の撮影では、液晶モニターにスミア（☼3）が発生すると、記録される画像にもスミアの影響が残ります。スミアの影響を避けるため、太陽や太陽の照り返し、電灯などを画面内に入れずに撮影するようおすすめします。

ISO感度設定

📷（オート撮影）モードの撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ 📷タブ ➔ ISO感度設定

ISO感度を高くすると、より少ない光量で撮影できます。
ISO感度を高くするほど、より暗い被写体を撮影できます。また、同じ明るさの被写体でも、より速いシャッタースピードで撮影でき、手ブレや被写体の動きによるブレを軽減しやすくなります。

- ISO感度を高くすると、暗い被写体の撮影、フラッシュを使わない撮影、望遠側での撮影などに効果的ですが、撮影した画像が多少ざらつくことがあります。

項目	内容
オート（初期設定）	明るい場所ではISO 80になり、暗い場所では自動的にISO 800までISO感度が高くなります。
感度制限オート	カメラが自動的にISO感度を変更するときの範囲を［**ISO 80-200**］（初期設定）、［**ISO 80-400**］から選べます。選んだ範囲の上限値以上にISO感度は上がりません。ISO感度の上限値を設定することで、画像のざらつきを抑える効果があります。
80、100、200、400、800、1600、3200、6400	ISO感度を選んだ値に固定します。

ISO感度の設定は、撮影時の画面で確認できます（📖8）。

- ［**オート**］に設定した場合、ISO 80で撮影できるときは何も表示されず、ISO感度が自動的に上がったときにISOマークが表示されます（📖8）。
- ［**感度制限オート**］に設定したときはISO＋ISO感度の上限値が表示されます。

✔ ISO感度設定についてのご注意

- この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（📖63）
- ISO感度設定を［**オート**］以外にすると、［**モーション検知**］（🔍68）は作動しません。

✔ ISO感度［3200］、［6400］についてのご注意

- ［**ISO感度設定**］を［**3200**］または［**6400**］にして撮影するときは、選べる［**画像モード**］は3M［**2048×1536**］、PC［**1024×768**］、VGA［**640×480**］に制限されます。
- ［**ISO 感度設定**］を［**3200**］または［**6400**］にすると、撮影時の画像モード設定アイコンが赤色になります。

AFエリア選択

（オート撮影）モードの撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ タブ ➔ AFエリア選択

オートフォーカスでピント合わせをするエリアの決め方を設定します。

項目	内容
顔認識オート（初期設定）	カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（顔認識撮影について→65）。複数の顔を認識したときは、最もカメラに近い顔にピントが合います。人物以外の撮影や顔を認識できない構図では、AFエリア選択が［**オート**］になり、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。 AFエリア
オート	9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。シャッターボタンを半押しするまで、AFエリアは表示されません。半押しすると、ピントが合ったAFエリアが画面に表示されます（最大9カ所）。 AFエリア

項目	内容
[◘] マニュアル	画面内の99カ所から、ピントを合わせたいエリアを自分で選びます。 比較的動きの少ない被写体が画面中央にない場合に適しています。 マルチセレクターの▲▼◀▶を押して、画面に表示されているAFエリアを、ピントを合わせたい位置に動かしてから撮影します。 • 以下の設定をするときは、Ⓚ ボタンを押していったんAFエリアが選べる状態を解除し、それぞれの設定を行います。 - フラッシュモード - マクロモード、セルフタイマーまたは露出補正 もう一度Ⓚボタンを押すと、再びAFエリアを選べる状態になります。 AFエリア 選択可能エリア
[■] 中央	画面中央の被写体にピントが合います。 AFエリアが画面中央に常に表示されます。 720P 29m 0s 14M [1100] AFエリア
◎ ターゲット追尾	動く被写体を撮影するときに使います。 ピントを合わせたい被写体を登録するとターゲット追尾が始まり、AFエリアが被写体を追いかけて移動します→「ターゲット追尾の使い方」（⚭44）。 OK開始

✔ AFエリア選択についてのご注意

- 電子ズーム使用時は、［**AFエリア選択**］の設定にかかわらず、画面中央でピント合わせを行います。
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」（□31）の撮影では、ピントが合わないことがあります。
- 他の機能と組み合わせて使えない場合があります。→「同時に設定できない機能」（□63）

ターゲット追尾の使い方

📷（オート撮影）モードの撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ 📷タブ ➔ AFエリア選択 ➔ ターゲット追尾

動く被写体を撮影するときに使います。ピントを合わせたい被写体を登録するとターゲット追尾が始まり、AFエリアが被写体を追いかけて移動します。

1 被写体を登録する

- 画面中央に白色の枠が表示されたら、その枠にピントを合わせたい被写体を合わせ、OKボタンを押します。
- 枠が赤色で表示されたときは、被写体にピントを合わせられません。構図を変えて、もう一度被写体を登録してください。
- 被写体が登録されると、黄色いAFエリア表示で囲まれ、ターゲット追尾が始まります。
- 登録を解除したいときは、OKボタンを押します。
- カメラがターゲットを見失って AF エリア表示が消えたときは、もう一度被写体を登録してください。

2 シャッターボタンを全押しして撮影する

- シャッターボタンを半押しして、AFエリアでピントが合うと、AFエリア表示が緑色になり、ピントが固定されます。
- AFエリアが表示されていない状態でシャッターボタンを半押しすると、画面中央の被写体にピントが合います。

詳細編

ターゲット追尾についてのご注意

- ズーム位置、フラッシュモード、露出補正またはメニューは、被写体を登録する前に設定してください。
- 撮影条件によっては、適切にターゲット追尾できないことがあります。
- 電子ズームは使えません。

AFモード（オートフォーカスモード）

（オート撮影）モードの撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ タブ ➔ AFモード

ピントの合わせ方を設定します。

項目	内容
AF-S シングルAF（初期設定）	シャッターボタンを半押ししたときだけピントを合わせます。
AF-F 常時AF	シャッターボタンを半押しするまで、常にピント合わせを繰り返します。動きのある被写体の撮影に適しています。常にピントを合わせる動作音がします。

動画のAFモードについて

動画撮影時のAFモードは、動画メニュー（58）の［**AFモード**］（58）で設定します。

- 簡単レタッチ［**簡単レタッチ**］、D-ライティング［**D-ライティング**］、メイクアップ効果［**メイクアップ効果**］、［**フィルター効果**］、［**スモールピクチャー**］については、「画像の編集（静止画）」（10）をご覧ください。

プリント指定（プリントする画像や枚数の設定）

ボタンを押す（再生モード）➔ MENU ボタン ➔ 再生メニュー ➔ プリント指定

SDカードに記録した画像を以下の方法でプリントする場合、どの画像を何枚プリントするかを、あらかじめSDカードに設定できます。

- カードスロットが付いたDPOF対応（18）のプリンターでプリントする。
- DPOF対応のプリントサービス店にプリントを依頼する。
- カメラをPictBridge対応（18）のプリンターに接続してプリントする（22）（カメラからSDカードを取り外すと、内蔵メモリーに記録した画像にもプリント指定できます）。

1 マルチセレクターで［**プリント指定**］を選び、ボタンを押す

- お気に入り再生、オート分類再生または撮影日一覧モードの場合→手順3へ

2 ［**複数画像選択**］を選び、ボタンを押す

3 プリントする画像（最大99コマまで）と、それぞれのプリント枚数（各9枚まで）を設定する

- マルチセレクターの ◀▶ を押して画像を選び、▲▼を押してプリント枚数を設定します。
- プリントされる画像には、チェックマークとプリント枚数が表示されます。枚数を0にすると、その画像の選択を解除できます。
- ズームレバーを **T**（Q）方向に回すと1コマ表示に、**W**（▦）方向に回すと12コマ表示に切り換わります。
- 設定が終了したらⓀボタンを押します。

4 日付と撮影情報を画像に入れてプリントするかどうかを設定する

- ［**日付**］を選んでⓀボタンを押すと、すべての画像に撮影日を印字します。
- ［**撮影情報**］を選んでⓀボタンを押すと、すべての画像に撮影情報（シャッタースピードと絞り値）を印字します。
- ［**選択終了**］を選んでⓀボタンを押し、設定を有効にします。

プリント指定を行った画像は、再生時の画面で確認できます。

［プリント指定］についてのご注意

お気に入り再生、オート分類再生または撮影日一覧モードでプリント指定するときに、選んだフォルダー、分類または撮影日以外の画像がすでにプリント指定されていると、以下の画面が表示されます。

- ［**はい**］を選ぶと、他の画像のプリント指定は変更せずに、今回の設定をします。
- ［**いいえ**］を選ぶと、他の画像のプリント指定をすべて解除して、今回の設定だけを残します。

お気に入り再生または
オート分類再生モードのとき

撮影日一覧モードのとき

また、今回の設定内容を追加することで設定コマ数が99コマを超える場合は、以下の画面が表示されます。

- ［**はい**］を選ぶと、他の画像のプリント指定をすべて解除して、今回の設定だけを残します。
- ［**キャンセル**］を選ぶと、他の画像のプリント指定を残して、今回の設定を取り消します。

お気に入り再生または
オート分類再生モードのとき

撮影日一覧モードのとき

日付と撮影情報を入れてプリントするときのご注意

プリント指定で設定した［**日付**］と［**撮影情報**］は、「日付」や「撮影情報」が印字可能なDPOF対応プリンター（18）で印字できます。

- 付属のUSBケーブルでカメラをプリンターに接続して「DPOFプリント」（28）するときは、「撮影情報」は印字できません。
- プリント指定を行った後、再び［**プリント指定**］を表示すると、［**日付**］と［**撮影情報**］の設定はリセットされますのでご注意ください。
- プリントされる日付は、撮影時点でカメラに設定されている日時です。撮影後にセットアップメニューの［**地域と日時**］を変更してもプリントされる日付には反映されません。

プリント指定をすべて取り消すには

「プリント指定（プリントする画像や枚数の設定）」の手順2（46）で［**プリント指定取消**］を選んでOKボタンを押すと、すべての画像に対するプリント指定を取り消しできます。

［デート写し込み］について

セットアップメニューの［**デート写し込み**］（66）を使うと、撮影時に日時を画像に写し込んで記録できます。日付の印字に対応していないプリンターでも日付入りの画像をプリントできます。
デート写し込みした画像は、［**プリント指定**］で日付の印字を設定しても、デート写し込みした日付のみがプリントに表示されます。

スライドショー

▶ボタンを押す（再生モード）➔ MENUボタン ➔ 再生メニュー ➔ スライドショー

内蔵メモリー /SDカード内の画像を、1コマずつ順番に自動再生します。

1 マルチセレクターで［開始］を選び、OK ボタンを押す

- スライドショーの設定を変える→E51
- 繰り返し再生するには、［**開始**］を選ぶ前に［**エンドレス**］を選んでOKボタンを押し、チェックボックスをオン［✔］にします。

2 スライドショーが始まる

- 再生中にマルチセレクターの ▶ を押すと次の画像、◀を押すと前の画像を表示します（ボタンを押し続けると早送り/巻き戻しになります）。
- 途中で終了または一時停止したいときは、OKボタンを押します。
- ［**BGM**］をつけたときは、再生中にズームレバー**T**/**W**で音量を調節できます。

3 終了または再開する

- スライドショー終了時や一時停止中は、右の画面になります。マルチセレクターの◀▶で■を選び、OKボタンを押すと再生メニューに戻ります。マルチセレクターの◀▶で▶を選ぶとスライドショーを再開します。

スライドショーの設定を変える

「▶ スライドショー」（⚫⚫50）の手順1で［**効果**］、［**インターバル設定**］または［**BGM**］を選ぶと、これらの設定を変更できます。

効果
［**クラシック**］（初期設定）、［**ズーム**］、［**フェードイン**］、［**セレクトカラー**］、［**ランダムフロー**］または［**曇りガラス**］から選べます。

BGM
［**アップテンポ**］、［**ノーマル**］、［**スローテンポ**］または［**なし**］（初期設定）から選べます。

インターバル設定
画像1コマあたりの表示時間を選べます。 初期設定は［**3秒**］です。 ［**手動送り**］を選ぶと、自動的に画像が切り換わらないようにできます。◀▶ボタンを押したときのみ画像を切り換えます。効果やBGMをつけて投映し、画像の切り換えは手動にしたいときなどに選びます。

✔ スライドショーについてのご注意

- 動画（📖94）は1フレーム目だけを表示します。
- スライドショーを連続再生できる時間は、［**エンドレス**］に設定している場合も含め、最大約60分です（Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL12使用時）（⚫⚫70）。
- ［**効果**］の設定を［**ランダムフロー**］に設定したときは、スライドショー再生中にマルチセレクターの◀▶で画像を切り換えることができません。また、［**インターバル設定**］の［**手動送り**］時は、［**2秒**］相当になります。

🖉 リモコンML-L5（別売）でスライドショーを操作する

- 「▶プロジェクターでスライドショーを再生する」→📖86

On プロテクト設定

▶ボタンを押す（再生モード）➔ MENUボタン ➔ 再生メニュー ➔ On プロテクト設定

大切な画像を誤って削除しないように、画像にプロテクト（保護）を設定できます。
画像選択の画面で、画像を選んでプロテクトの設定または解除をします。
→「画像選択画面の操作方法」（E53）
ただし、内蔵メモリー/SDカードを初期化（フォーマット、E71）すると、プロテクト設定した画像も削除されますので、ご注意ください。

プロテクト設定した画像は、カメラでの再生時にOnマーク（□9）が表示されます。

画像選択画面の操作方法

以下の操作では、画像選択時に右のような画面が表示されます。

- プリント指定の［**複数画像選択**］（⚭46）
- プロテクト設定（⚭52）
- 画像回転（⚭54）
- 画像コピーの［**選択画像コピー**］（⚭57）
- オープニング画面の［**撮影した画像**］（⚭60）
- 削除の［**削除画像選択**］（□35）

以下の手順で画像を選びます。

1 マルチセレクターの◀または▶で画像を選ぶ

- ズームレバー（□2）を**T**（Q）方向に回すと1コマ表示に、**W**（▣）方向に回すと12コマ表示に切り換わります。
- ［**画像回転**］、［**オープニング画面**］の画像選択では、1画像しか選べません。→手順3へ

2 ▲または▼でON/OFF（またはプリント枚数）を設定する

- ONにすると、選択画像に✔が表示されます。複数の画像に設定したいときは、手順1と2を繰り返します。

3 Ⓚボタンを押して画像選択を決定する

- ［**選択画像コピー**］などでは、確認画面になります。画面の表示に従って操作してください。

詳細編

画像回転

▶ボタンを押す（再生モード）➔ MENUボタン ➔ 再生メニュー ➔ 画像回転

撮影後に、カメラなどで表示するときの画像の向き（縦横位置）を設定します。静止画を時計方向に90度、または反時計方向に90度回転できます。撮影時に縦位置で記録された画像は、時計回り/反時計回りのどちらか一方向に180度まで回転できます。

画像選択の画面で回転する画像を選ぶと（E53）、画像回転の画面が表示されます。マルチセレクターの◀または▶を押すと90度回転します。

反時計方向に90度回転　　**時計方向に90度回転**

OKボタンを押すと、表示している方向で決定し、画像に縦横位置情報が記録されます。

詳細編

🎙 音声メモ

▶ボタンを押す（再生モード）➔ 画像を選ぶ ➔ MENUボタン ➔ 再生メニュー ➔ 🎙音声メモ

撮影した画像に、カメラのマイクを使って音声によるメモが付けられます。

- 音声メモが付いていない画像では録音画面になり、音声メモが付いた画像（1コマ表示で♪が表示されている画像）では音声メモの再生画面になります。

音声メモを録音する

- Ⓚボタンを押している間、約20秒まで音声メモを録音できます。
- 録音中はカメラのマイクに触れないようご注意ください。
- 録音中は REC と ♪が点滅します。
- 録音が終了すると、音声メモ再生画面になります。

音声メモを再生する

- Ⓚボタンを押して音声メモを再生します。
- 再生を途中で止めるには、Ⓚボタンを押します。
- 再生中は、ズームレバー **T**/**W** で音量を調節できます。
- 再生前または再生終了後にマルチセレクターの ◀ を押すと、再生メニューに戻ります。MENU ボタンを押すと、再生メニューを終了します。

音声メモを削除する

音声メモの再生画面で🗑ボタンを押します。マルチセレクターの▲▼を押して［**はい**］を選び、Ⓚボタンを押すと、音声メモだけを削除します。

音声メモについてのご注意

- 音声メモが付いた画像を削除すると、その画像に付けた音声メモも削除されます。
- プロテクト設定した画像は、音声メモを削除できません。
- すでに音声メモが録音されている画像には、音声メモを録音できません。録音内容を変更するときは、いったん音声メモだけを削除してから、もう一度音声メモを録音してください。
- COOLPIX S1200pj以外で撮影した画像には、COOLPIX S1200pjで音声メモを付けられません。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→🔍80

詳細編

画像コピー（内蔵メモリーとSDカード間のコピー）

▶ボタンを押す（再生モード）➔ MENUボタン ➔ 再生メニュー ➔ 画像コピー

内蔵メモリーの画像をSDカードへ、またはSDカードの画像を内蔵メモリーへコピーできます。

1 マルチセレクターでコピーする方向を選び、Ⓚボタンを押す

- IN➔SD：内蔵メモリーからSDカードへコピーします。
- SD➔IN：SD カードから内蔵メモリーへコピーします。

2 コピーの方法を選び、Ⓚボタンを押す

- ［**選択画像コピー**］：画像選択の画面（🔗53）で、画像を選んでコピーします。
- ［**全画像コピー**］：すべての画像をコピーします。

画像コピーについてのご注意

- コピーできるファイルの形式は、JPEG、MOV、WAVです。これ以外の形式のファイルはコピーできません。
- 画像コピーでは、画像に付けた「音声メモ」（🔗55）も画像と同時にコピーします。
- 他社製のカメラで撮影した画像やパソコンで加工した画像のコピーは動作を保証していません。
- ［**プリント指定**］（🔗46）した画像をコピーしても、プリント指定の設定内容はコピーされません。［**プロテクト設定**］（🔗52）した画像をコピーすると、コピー先の画像もプロテクトされます。
- 内蔵メモリーまたは SD カードからコピーした画像や動画は、オート分類再生モード（🔗7）で表示できません。
- お気に入り登録（🔗4）した画像をコピーしても、お気に入り登録の登録内容はコピーされません。

［撮影画像がありません］のメッセージについて

SDカードに画像が記録されていないときに再生モードに切り換えると、［**撮影画像がありません**］と表示されますが、MENUボタンを押すと画像コピー画面が表示され、内蔵メモリー内の画像をSDカードにコピーできます。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→🔗80

動画メニュー

動画設定

撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ 🎥タブ ➔ 動画設定

撮影する動画の種類を選びます。
画像サイズが大きく、ビットレートが大きいほど高画質になりますが、ファイルサイズは大きくなります。

項目	内容
720p HD 720p（1280×720）（初期設定）	縦横比16：9の動画を記録します。 • ビットレート：約 9.0 Mbps
iFrame iFrame 540（960×540）	縦横比16:9 の動画を記録します。Apple Inc.がサポートするフォーマットのひとつです。 • ビットレート：約 24 Mbps 動画の編集（➡34）はできません。 内蔵メモリーで撮影するときは、絵柄によっては撮影が途中で終了することがあります。大切な撮影ではSDカード（Class 6以上）の使用をおすすめします。
VGA VGA（640×480）	縦横比4:3の動画を記録します。 • ビットレート：約 3.0 Mbps

- 撮影フレーム数は、いずれの設定も約30フレーム/秒です。
- 記録可能時間→📖92

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→➡80

AFモード（オートフォーカスモード）

撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ 🎥タブ ➔ AFモード

動画撮影時のオートフォーカスの方法を選びます。

項目	内容
AF-S シングルAF（初期設定）	●（🎥動画撮影）ボタンで撮影を開始したときのピントに固定します。 撮影中に被写体との距離があまり変化しない撮影に適しています。
AF-F 常時AF	動画撮影中、ピント合わせを繰り返します。 撮影中に被写体との距離が変化する撮影に適しています。ピントを合わせる動作音が録音されることがあります。動作音が気になるときは、［**シングルAF**］での撮影をおすすめします。

動画照明

撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ 🎥タブ ➔ 動画照明

動画撮影時に、暗い場所などで撮影を補助する動画照明の点灯/非点灯を設定します。

項目	内容
ON	動画撮影中に動画照明が点灯します。
OFF（初期設定）	動画照明は点灯しません。

風切り音低減

撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ 🎥タブ ➔ 風切り音低減

動画の撮影時に風切り音を低減するかどうかを設定します。

項目	内容
ON（初期設定）	マイクに吹き付ける風の音を抑えて記録します。強風時の撮影に適しています。再生時に風切り音以外の音が聞こえにくくなることがあります。
OFF OFF	風切り音を低減しません。

風切り音低減の設定は、撮影時の画面で確認できます（8）。［**OFF**］のときは、何も表示されません。

解像感補正

撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ 🎥タブ ➔ 解像感補正

動画の撮影時に解像感の補正をするかどうか設定します。

項目	内容
AUTO（初期設定）	解像感を自動で補正します。被写体の輪郭などをくっきりと撮影できます。被写体が暗い場合など、条件によっては効果が得られない場合があります。
OFF	解像感の補正を行いません。

被写体の明るさが大きく変化する場所では、［**OFF**］にしたほうが、適している場合があります。設定を変えて試し撮りをすることをおすすめします。

オープニング画面

MENUボタン ➔ 🔧タブ ➔ オープニング画面

カメラの電源をONにしたときに、液晶モニターにオープニング画面を表示するかどうかを設定します。

項目	内容
なし（初期設定）	オープニング画面を表示しないで、撮影または再生画面を表示します。
COOLPIX	オープニング画面を表示してから、撮影または再生画面を表示します。
撮影した画像	撮影した画像をオープニング画面として表示します。画像選択の画面が表示されたら画像を選び（🔗53）、Ⓚボタンを押して登録します。 • 登録した画像はカメラに記憶されるため、元画像を削除しても、オープニング画面に残ります。 • ［**画像モード**］（📖61）を［**16:9 10M 4224 × 2376**］にして撮影した画像、およびスモールピクチャー（🔗18）やトリミング（🔗19）で作成した画像サイズ 320 × 240 以下の画像は登録できません。

地域と日時

MENUボタン ➔ 🔧タブ ➔ 地域と日時

カメラに内蔵された時計を設定します。

項目	内容
日時の設定	内蔵時計の日付と時刻を設定します。 表示される設定画面で、マルチセレクターを使って設定します。 • 項目を選ぶ：◀ または ▶ を押します（[**年**]、[**月**]、[**日**]、[**時**]、[**分**] に切り換わります）。 • 項目の内容を合わせる：▲ または ▼ を押します。 • 設定を完了する：[**分**] の項目を選び、Ⓚ ボタンを押します。
日付の表示順	日付の表示順を、[**年/月/日**]、[**月/日/年**]、[**日/月/年**] から選べます。
タイムゾーン	自宅(🏠)のタイムゾーン(地域)や夏時間(サマータイム)を設定します。また、訪問先(✈)のタイムゾーンを登録すると、自宅(🏠)との時差(63)を自動的に計算し、撮影日時を現地時間で記録できます。海外旅行などに便利です。

時差のある地域で使うには

1 マルチセレクターで［**タイムゾーン**］を選び、Ⓚボタンを押す

• ［**タイムゾーン**］画面が表示されます。

2 ［✈**訪問先**］を選び、Ⓚボタンを押す

• 訪問先の時計に切り換わります。

3 ▶を押す

- 地域の設定画面が表示されます。

4 ◀または▶を押して訪問先の地域（タイムゾーン）を選ぶ

- 夏時間（サマータイム）が現在実施されている地域で使うときは、▲を押して夏時間の設定をオンにします。設定をオンにすると、画面上部に🌞マークが表示され、時計が1時間進みます。オフにするときは、▼を押します。
- Ⓚボタンを押して、訪問先を決定します。
- 訪問先の時計に設定しているときは、撮影時の画面に✈マークが表示されます。

⌂（自宅）の設定について

- 自宅のタイムゾーンに戻すには、手順2で［⌂ **自宅**］を選び、Ⓚボタンを押してください。
- 自宅のタイムゾーンを変更するには、手順2で［⌂ **自宅**］を選び、［✈ **訪問先**］と同様の手順でタイムゾーンを変更してください。

夏時間の設定について

夏時間（サマータイム）が始まったときや終わったときは、手順4の地域設定画面で、夏時間のオンとオフを切り換えてください。

日付を画像に写し込むには

日時を設定した後に、セットアップメニューの［**デート写し込み**］（🔍66）で設定します。［**デート写し込み**］を設定して撮影すると、撮影日時を画像に写し込んで記録できます。

タイムゾーンについて

時差とタイムゾーンの関係は以下の表をご覧ください。
この表にない時差は、正しい時刻を［**日時の設定**］で合わせてください。

時差 +/–	タイムゾーン	時差 +/–	タイムゾーン
–20	Midway, Samoa（ミッドウェー、サモア）	–8	Madrid, Paris, Berlin（マドリード、パリ、ベルリン）
–19	Hawaii, Tahiti（ハワイ、タヒチ）	–7	Athens, Helsinki, Ankara（アテネ、ヘルシンキ、アンカラ）
–18	Alaska, Anchorage（アラスカ、アンカレッジ）	–6	Moscow, Nairobi, Riyadh, Kuwait, Manama（モスクワ、ナイロビ、リヤド、クウェート、マナマ）
–17	PST (PDT): Los Angeles, Seattle, Vancouver（ロサンゼルス、シアトル、バンクーバー）	–5	Abu Dhabi, Dubai（アブダビ、ドバイ）
–16	MST (MDT): Denver, Phoenix（デンバー、フェニックス）	–4	Islamabad, Karachi（イスラマバード、カラチ）
–15	CST (CDT): Chicago, Houston, Mexico City（シカゴ、ヒューストン、メキシコシティー）	–3.5	New Delhi（ニューデリー）
–14	EST (EDT): New York, Toronto, Lima（ニューヨーク、トロント、リマ）	–3	Colombo, Dhaka（コロンボ、ダッカ）
–13.5	Caracas（カラカス）	–2	Bangkok, Jakarta（バンコク、ジャカルタ）
–13	Manaus（マナウス）	–1	Beijing, Hong Kong, Singapore（北京、香港、シンガポール）
–12	Buenos Aires, Sao Paulo（ブエノスアイレス、サンパウロ）	±0	Tokyo, Seoul（東京、ソウル）
–11	Fernando de Noronha（フェルナンド・デ・ノローニャ）	+1	Sydney, Guam（シドニー、グアム）
–10	Azores（アゾレス）	+2	New Caledonia（ニューカレドニア）
–9	London, Casablanca（ロンドン、カサブランカ）	+3	Auckland, Fiji（オークランド、フィジー）

モニター設定

MENUボタン ➔ ᛘタブ ➔ モニター設定

以下の項目を設定します。

項目	内容
モニター表示設定	撮影、再生時の画面に表示される情報について設定します。
撮影後の画像表示※	・［**ON**］（初期設定）：撮影直後に、撮影した画像を表示してから撮影画面に戻ります。 ・［**OFF**］：撮影直後に、撮影した画像を表示しません。
画面の明るさ※	画面の明るさを5段階で調節できます。初期設定は［**3**］です。

※ プロジェクター投映時は、［**撮影後の画像表示**］および［**画面の明るさ**］の設定はできません。

［モニター表示設定］について

画面に情報を表示するかどうかを設定します。

液晶モニターの表示内容については→📖8

	撮影時	再生時
情報ON		
情報AUTO（初期設定）	［**情報ON**］と同じ情報を表示した後、操作しない状態が数秒経過すると［**情報OFF**］と同じ表示になります。操作すると、再び情報を表示します。	
情報OFF		

	撮影時	再生時
格子線＋情報AUTO	［**情報AUTO**］の表示内容に加えて、構図を決める際の参考となる格子線を表示します。動画撮影中は表示しません。	［**情報AUTO**］と同じです。
動画枠＋情報AUTO	［**情報AUTO**］の表示内容に加えて、動画撮影開始前に動画撮影範囲の枠を画面に表示します。シャッターボタン半押し中、動画撮影中は、表示しません。	［**情報AUTO**］と同じです。

プロジェクター設定

MENUボタン ➔ Ｙタブ ➔ プロジェクター設定

投映する画面の明るさを自動調整し、消費電力を抑えます。

項目	内容
パワーセーブ	•［**ON**］：省電力モードで投映します。［**OFF**］の場合と比べ、画面が暗く感じられることがあります。 •［**OFF**］（初期設定）：省電力モードを OFF にします。［**OFF**］に設定していても、バッテリー残量が少なくなると、投映する画面の明るさを自動調整し、消費電力を抑えます。

詳細編

デート写し込み（日付の写し込み）

MENUボタン ➔ 🔧タブ ➔ デート写し込み

撮影時に日時を画像に写し込んで記録できます。日付の印字（➡49）に対応していないプリンターでも日付入りの画像をプリントできます。

項目	内容
DATE **年・月・日**	画像に日付を写し込みます。
DATE **年・月・日・時刻**	画像に日付と時刻を写し込みます。
OFF **OFF（初期設定）**	日付、時刻のどちらも写し込みません。

デート写し込みの設定は、撮影時の画面で確認できます（📖8）。［**OFF**］のときは何も表示されません。

✔ デート写し込みについてのご注意

- 一度写し込まれた日時を画像から消したり、撮影した後で日時を写し込むことはできません。
- 以下の場合は日付を写し込めません。
  - シーンモードの［**スポーツ**］、［**ミュージアム**］、［**パノラマアシスト**］または［**ペット**］の設定を［**連写**］にしたとき
  - ベストフェイスモードの［**目つぶり軽減**］（➡36）が［**ON**］のとき
  - 連写の設定（➡39）が［**連写**］または［**BSS**］のとき
  - 動画のとき
- ［**画像モード**］（📖61）が［VGA **640×480**］の画像にデート写し込みを行うと、写し込んだ日付が読みづらいことがあります。画像モードは［PC **1024×768**］以上に設定してください。
- 年月日の並びは、［**地域と日時**］（📖24、➡61）での設定と同じになります。

🖉 「デート写し込み」と「プリント指定」について

日付や撮影情報の印刷が可能なDPOF対応のプリンターでプリントするときは、［**デート写し込み**］で日時を写し込んでいない画像でも、［**プリント指定**］（➡46）で撮影日時や撮影情報をプリントするように設定できます。

手ブレ補正

MENUボタン ➔ 🔧タブ ➔ 手ブレ補正

撮影するときの手ブレ補正を設定します。
望遠側での撮影やスローシャッターでの撮影時に起こりがちな手ブレを補正します。静止画撮影だけでなく、動画撮影時の手ブレも補正します。
三脚などでカメラを固定して撮影するときは、手ブレ補正を［**OFF**］にしてください。

項目	内容
ON（ハイブリッド）	レンズシフト方式で手ブレを光学的に補正し、さらに静止画撮影時に以下の条件になると、画像処理による電子式手ブレ補正を加えて記録します。 ・フラッシュを発光しないとき ・シャッタースピードが 1/60 秒より低速のとき ・［**セルフタイマー**］が OFF のとき ・［**連写**］の設定が［**単写**］のとき ・ISO 感度が 200 以下のとき
ON（初期設定）	レンズシフト方式で手ブレを補正します。
OFF OFF	手ブレ補正をしません。

手ブレ補正の設定は、撮影時の画面で確認できます（📖8）。［**OFF**］のときは、何も表示されません。

手ブレ補正についてのご注意

- カメラの電源をONにした直後、または再生モードから撮影モードに切り換えた直後は、液晶モニターの画像が安定してから撮影してください。
- 手ブレ補正の原理上、撮影直後に液晶モニターの画像がずれて見えることがあります。
- 手ブレ補正機能を設定しても、撮影状況によっては手ブレを完全に補正できないことがあります。
- ブレが極端に小さいときや大きいときは、［**ON（ハイブリッド）**］に設定しても電子式手ブレ補正で画像補正できないことがあります。
- シャッタースピードが速いとき、または極端に遅いときは、［**ON（ハイブリッド）**］に設定しても電子式手ブレ補正は作動しません。
- ［**ON（ハイブリッド）**］で電子式手ブレ補正が作動するときは、撮影すると自動的にシャッターを2回きって画像補正をするため、通常よりも画像の記録に時間がかかります。［**シャッター音**］（⚫70）が鳴るのは1回目のみです。記録する画像は1コマです。

詳細編

モーション検知

MENUボタン ➔ ▼タブ ➔ モーション検知

静止画の撮影時に被写体ブレや手ブレを軽減する「モーション検知」機能を設定します。

項目	内容
AUTO（初期設定）	カメラが被写体の動きや手ブレを検知すると、ブレを軽減するためにISO感度を上げてシャッタースピードを速くします。 ただし、以下の場合は、モーション検知は作動しません。 • フラッシュが発光するとき • 以下のシーンモードのとき：[**スポーツ**]、[**夜景ポートレート**]、[**トワイライト**]、[**夜景**]、[**ミュージアム**]、[**打ち上げ花火**]、[**逆光**] または [**ペット**] • （オート撮影）モードで、[**ISO 感度設定**]（➡41）を［**感度制限オート**］に設定したとき、または ISO 感度を固定したとき • （オート撮影）モードで［**マルチ連写**］（➡39）のとき • （オート撮影）モードで、[**AFエリア選択**]（➡42）を［**ターゲット追尾**］に設定したとき • 動画のとき
OFF OFF	モーション検知をしません。

モーション検知の設定は、撮影時の画面で確認できます（□8）。カメラがブレを検知してシャッタースピードを速くしたときは、モーション検知表示は緑色に変わります。[**OFF**] のときは、何も表示されません。

モーション検知についてのご注意

- モーション検知を設定しても、撮影状況によっては手ブレや被写体ブレを完全に軽減できないことがあります。
- 極端にブレているときや暗すぎるときは、モーション検知が作動しないことがあります。
- 撮影した画像が多少ざらつくことがあります。

AF補助光

MENUボタン ➔ タブ ➔ AF補助光

暗い場所などでオートフォーカスによるピント合わせを補助するAF補助光の点灯/非点灯を設定します。

項目	内容
AUTO（初期設定）	暗い場所などで自動的にAF補助光が点灯します。AF補助光が届く距離は、広角側で約4.5 m、望遠側で約3.0 mです。ただし、［**AUTO**］に設定していても、AFエリアの位置や［**ミュージアム**］（□43）や［**ペット**］（□45）など、シーンモードによっては点灯しない場合があります。
OFF	AF補助光は点灯しません。暗い場所などでピントが合いにくくなることがあります。

電子ズーム

MENUボタン ➔ タブ ➔ 電子ズーム

電子ズームの動作を設定します。

項目	内容
ON（初期設定）	光学ズームが最も望遠側にある状態でズームレバーを**T**（）方向に回すと、電子ズーム（□29）が作動します。
OFF	電子ズームは作動しません（動画撮影中を除く）。

電子ズームについてのご注意

- 電子ズーム使用時は、画面中央でピント合わせを行います。
- 以下の場合、電子ズームは使えません。
  - シーンモードが［**ポートレート**］、［**夜景ポートレート**］、［**夜景**］または［**ペット**］のとき
  - ベストフェイスモードのとき
  - ［**マルチ連写**］（39）のとき
  - ［**AFエリア選択**］（42）の［**ターゲット追尾**］のとき

詳細編

操作音

MENUボタン ➔ Yタブ ➔ 操作音

操作音について設定します。

項目	内容
設定音	設定音（電子音1回：設定完了時など）、合焦音（電子音2回：ピントが合ったとき）、警告音（電子音3回：禁止動作を行ったときなど）およびオープニング音の［**ON**］（初期設定）/［**OFF**］を設定します。
シャッター音	シャッターをきったときのシャッター音の［**ON**］（初期設定）/［**OFF**］を設定します。 ただし、連写、BSSなどで撮影するときや、動画撮影時は、［**ON**］に設定しても、シャッター音は鳴りません。

操作音についてのご注意

- シーンモードの［**ペット**］では、設定音およびシャッター音は鳴りません。
- プロジェクター投映時では、設定音は鳴りません。

オートパワーオフ

MENUボタン ➔ Yタブ ➔ オートパワーオフ

電源をONにしたまま、カメラを操作しない状態が続くと、節電のために液晶モニターが消灯して待機状態になります（□23）。
このメニューでは、カメラの無操作時に待機状態になるまでの時間を設定します。［**30秒**］、［**1分**］（初期設定）、［**5分**］、または［**30分**］から選べます。

節電により液晶モニターが消灯したときは

- 待機状態では、電源ランプが点滅します。
- 待機状態が約3分続くと電源はOFFになります。
- 電源ランプの点滅中は、以下のボタンを押すと液晶モニターが再点灯します。
  → 電源スイッチ、シャッターボタン、撮影ボタン、▶ボタン、または●（動画撮影）ボタン
- 「投映時の節電機能について」→□82

オートパワーオフの設定について

以下の場合、待機状態に入るまでの時間は固定です。

- メニュー表示中：3分
- スライドショー再生中:最大60分（Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL12使用時）
- ACアダプター EH-62F接続中：30分

詳細編

メモリー /カードの初期化（フォーマット）

MENUボタン ➔ 🔧タブ ➔ メモリーの初期化/カードの初期化

内蔵メモリーまたはSDカードを初期化（フォーマット）します。
初期化すると、内蔵メモリー/SDカード内のデータはすべて削除されます。削除したデータはもとに戻せません。必要なデータは初期化する前にパソコンなどに転送してください。

内蔵メモリーの初期化

内蔵メモリーを初期化するときは、SDカードを取り出します。セットアップメニューの項目に［**メモリーの初期化**］が表示されます。

SDカードの初期化

SDカードをカメラに入れると、SDカードを初期化できます。セットアップメニューの項目に［**カードの初期化**］が表示されます。

詳細編

初期化についてのご注意

- 内蔵メモリー /SDカードを初期化すると、お気に入りフォルダーのアイコン設定（➡6）は初期設定（数字アイコン）に戻ります。
- 初期化中は、電源をOFFにしたり、バッテリー /SDカードカバーを開けたりしないでください。
- 他の機器で使ったSDカードをこのカメラで初めて使うときは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。

言語/Language

MENUボタン ➔ 🔧タブ ➔ 言語/Language

画面に表示する言語を、日本語（初期設定）または英語に設定します。

インターフェース

MENUボタン ➔ Yタブ ➔ インターフェース

パソコンやテレビとの接続に必要な設定を行います。

項目	内容
USB	パソコンやプリンターと接続するときの通信方法を選びます。 ・［**MTP/PTP**］（初期設定）: カメラからパソコンへ画像を転送するとき（□75）、またはプリンターと接続するとき（□72、➡23）に選びます。 ・［**プロジェクター**］：パソコンの画面を内蔵プロジェクターで投映するときに選びます。
ビデオ出力	テレビと接続するときのビデオ出力方式を［**NTSC**］と［**PAL**］から選べます。［**NTSC**］と［**PAL**］はいずれも、アナログカラーテレビ放送の規格です。日本ではNTSC方式が、欧州ではPAL方式が主流です。

パソコン接続充電

MENUボタン ➔ Yタブ ➔ パソコン接続充電

カメラをパソコンにUSBケーブルで接続したときに、カメラ内のバッテリーを充電するかどうかを設定します。

項目	内容
AUTO（**初期設定**）	カメラを起動済みのパソコンに接続したときに、パソコンからの電力供給状態に応じて、カメラ内のバッテリーを充電します。
OFF	カメラをパソコンに接続しても、カメラ内のバッテリーを充電しません。

カメラとプリンターを接続してプリントするときのご注意

- カメラをPictBridge対応プリンターに接続しても、バッテリーの充電はできません。
- プリンターによっては、［**パソコン接続充電**］を［**AUTO**］にするとプリントできない場合があります。プリンターに接続して電源がONになってもカメラにPictBridge画面が表示されないときは、カメラの電源をいったんOFFにしてUSBケーブルを外し、［**パソコン接続充電**］を［**OFF**］に設定してから、接続をやり直してください。

パソコンに接続して充電するときのご注意

- パソコンに接続しても、ご購入後にカメラの表示言語と日時（24）を設定していないときは、充電やデータの転送はできません。また、時計用電池（25）が切れて日時がリセットされたまま再設定していないときも、充電やデータの転送はできません。本体充電ACアダプター EH-69Pでバッテリーを充電し（18）、カメラの日時を設定してください。
- カメラの電源をOFFにすると、バッテリーの充電も中止されます。
- 充電中にパソコンが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止され、カメラの電源がOFFになることがあります。
- カメラとパソコンの接続を外すときは、カメラの電源をOFFにしてから、USBケーブルを外してください。
- 残量がないバッテリーの場合、フル充電までの時間は約5時間です。また、画像を転送しながら充電すると、充電に時間がかかります。
- 充電だけをしたいときに、カメラをパソコンに接続して、パソコンでNikon Transfer2などが起動した場合は、これらの画面を閉じてください。
- 充電が完了し、パソコンとの通信が無い状態が 30 分続くと、カメラの電源は自動的にOFFになります。
- パソコンの仕様、設定または状態によっては、カメラ内のバッテリーを充電できないことがあります。

充電ランプについて

パソコンに接続しているときのカメラの充電ランプの状態と意味は以下のとおりです。

充電ランプ	意味
ゆっくり点滅（緑色）	充電中です。
消灯	充電していません。 電源ランプが点灯したまま、ゆっくりした点滅（緑色）から消灯に変わると、充電の完了です。
速い点滅（緑色）	• 使用可能な温度ではありません。周囲の温度が 5 ℃～ 35 ℃の室内で充電してください。 • USB ケーブルが正しく接続されていないか、バッテリーの異常です。正しく接続し直すか、バッテリーを交換してください。 • パソコンが休止状態（スリープ状態）で電力を供給していません。パソコンを復帰してください。 • パソコンの仕様または設定がカメラへの電力供給に対応していないため充電できません。

目つぶり検出設定

MENUボタン ➔ ¥タブ ➔ 目つぶり検出設定

以下の撮影モードで顔認識撮影（□65）したときに、目つぶりを検出するかどうか設定します。

- （らくらくオート撮影）モードのとき
- シーンモードの［**ポートレート**］（□40）または［**夜景ポートレート**］（□41）
- （オート撮影）モード（AFエリア選択が［**顔認識オート**］（⚭42）のとき）

項目	内容
ON	顔認識して撮影した直後に、被写体の人物が目を閉じて写っている可能性があるとカメラが検出したときは、液晶モニターに［**目つぶり確認**］画面を表示します。 目を閉じて写っている可能性のある人物の顔が黄色い枠で囲まれます。撮影した画像を見て、撮り直すかどうかを確認できます。 →「目つぶり確認画面の操作方法」（⚭76）
OFF（初期設定）	目つぶり検出をしません。

目つぶり検出設定についてのご注意

連写の設定が［**連写**］、［**BSS**］、または［**マルチ連写**］のときは、目つぶり検出をしません。

目つぶり確認画面の操作方法

［**目つぶり確認**］画面が表示されたときは、以下の操作ができます。
何も操作しないまま数秒経過すると、自動的に撮影画面に戻ります。

機能	操作部	内容
目つぶり検出した顔を拡大表示する	**T**（Q）	ズームレバーを **T**（Q）方向に回します。
1コマ表示に戻る	**W**（▦）	ズームレバーを **W**（▦）方向に回します。
表示する顔を切り換える	◀▶	複数の人物の目つぶりを検出した場合、拡大表示中に◀▶を押すと、拡大表示する顔が切り換わります。
撮影した画像を削除する	🗑	🗑ボタンを押します。
撮影画面に戻る	OK / シャッターボタン	OKボタンまたはシャッターボタンを押します。

詳細編

設定クリアー

MENUボタン → ¥タブ → 設定クリアー

［**はい**］を選ぶと、カメラの設定が初期設定にリセットされます。

撮影の基本機能

項目	初期設定
フラッシュモード（□54）	AUTO
セルフタイマー（□56）	OFF
マクロモード（□57）	OFF
露出補正（□58）	0.0

シーンモード

項目	初期設定
撮影モードメニューのシーン設定（□39）	ポートレート
料理モードの色合い調整（□43）	中央
連写（ペットに設定時）（□45）	連写
ペット自動シャッター（ペットに設定時）（□45）	ON

ベストフェイスメニュー

項目	初期設定
美肌効果（⚭36）	標準
笑顔自動シャッター（⚭36）	ON
目つぶり軽減（⚭36）	OFF

撮影メニュー

項目	初期設定
画像モード（□61）	14M 4320×3240
ホワイトバランス（⚭37）	オート
連写（⚭39）	単写
ISO感度設定（⚭41）	オート
AFエリア選択（⚭42）	顔認識オート
AFモード（⚭45）	シングルAF

動画メニュー

項目	初期設定
動画設定（E58）	720p HD 720p（1280×720）
AFモード（E58）	シングルAF
動画照明（E59）	OFF
風切り音低減（E59）	ON
解像感補正（E59）	AUTO

セットアップメニュー

項目	初期設定
オープニング画面（E60）	なし
モニター表示設定（E64）	情報AUTO
撮影後の画像表示（E64）	ON
画面の明るさ（E64）	3
パワーセーブ（E65）	OFF
デート写し込み（E66）	OFF
手ブレ補正（E67）	ON
モーション検知（E68）	AUTO
AF補助光（E69）	AUTO
電子ズーム（E69）	ON
設定音（E70）	ON
シャッター音（E70）	ON
オートパワーオフ（E70）	1分
USB（E73）	MTP/PTP
ビデオ出力（E73）	NTSC
パソコン接続充電（E73）	AUTO
目つぶり検出設定（E75）	OFF

その他

項目	初期設定
用紙設定（E25、E26）	プリンターの設定
スライドショーの効果（E51）	クラシック
スライドショーのBGM（E51）	なし
スライドショーのインターバル設定（E51）	3秒

- ［**設定クリアー**］を行うと、ファイル番号の連番（E80）もクリアーされます。クリアー後に撮影した画像には、内蔵メモリー/SDカード内の最大ファイル番号の次の番号から連番が付けられます。ファイル番号の連番を「0001」に戻したいときは、内蔵メモリー/SDカード内の画像をすべて削除（□34）してから、［**設定クリアー**］を行ってください。
- 以下の項目は、［**設定クリアー**］を行っても初期設定には戻りません。
  撮影メニュー：
  ［**ホワイトバランス**］のプリセットマニュアルデータ（E38）
  セットアップメニュー：
  ［**オープニング画面**］として登録した画像（E60）、［**地域と日時**］（E61）、［**言語/Language**］（E72）、［**インターフェース**］（E73）の［**ビデオ出力**］

バージョン情報

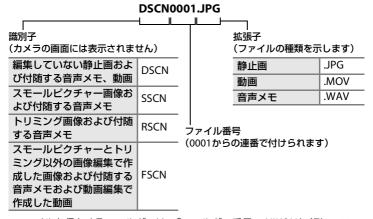
MENUボタン ➔ ¥タブ ➔ バージョン情報

カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。

記録データのファイル名とフォルダー名

このカメラで撮影した静止画、動画、および音声メモには、以下のようにファイル名が付けられます。

編集していない静止画および付随する音声メモ、動画	DSCN
スモールピクチャー画像および付随する音声メモ	SSCN
トリミング画像および付随する音声メモ	RSCN
スモールピクチャーとトリミング以外の画像編集で作成した画像および付随する音声メモおよび動画編集で作成した動画	FSCN

静止画	.JPG
動画	.MOV
音声メモ	.WAV

- ファイルを保存するフォルダーは、「フォルダー番号＋ NIKON」（例：100 NIKON）という名前で、自動的に作られます。フォルダー内のファイル数が200に達すると、新しいフォルダーが作られます（例：100NIKON→101NIKON）。フォルダー内のファイル番号が9999に達したときも新しいフォルダーが作られ、ファイル番号は0001に戻ります。
- 音声メモのファイル名は、音声メモを録音した画像と同じ識別子とファイル番号になります。
- パノラマアシストモード（E2）では、撮影のたびに「フォルダー番号＋P_XXX」という名前のフォルダー（例：101P_001）が作られ、ファイル番号0001から始まる一連の画像が保存されます。
- 内蔵メモリーとSDカードの間で記録データをコピーする場合（E57）、ファイル名は以下のようになります。
  - 「選択画像コピー」：使用中のフォルダー（または次回の撮影で使われるフォルダー）に、データがコピーされます。コピーされたデータのファイル名は、「内蔵メモリーおよびSDカード内の最大ファイル番号＋1」から連番で付けられます。
  - 「全画像コピー」：データはフォルダーごとにコピーされます。フォルダー名は「コピー先の最大フォルダー番号＋1」から連番で付けられます。ファイル名は変わりません。
- フォルダー番号が 999 のときにファイル数が 200 個またはファイル番号が9999に達すると、それ以上撮影できません。SDカードを交換するか、内蔵メモリー /SDカードを初期化（E71）してください。

別売アクセサリー

充電式バッテリー	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL12※1
本体充電 AC アダプター	本体充電ACアダプター EH-69P※1※2
充電器	バッテリーチャージャー MH-65P※2
ACアダプター	ACアダプター EH-62F※3 ＜EH-62Fの取り付け方＞ 1 2 3 ACアダプターのコードをACアダプターの溝に奥まで入れてからバッテリー室に入れてください。また、バッテリー/SDカードカバーを閉める前に、コードをバッテリー室の溝に奥まで入れてください。コードが溝からはみ出していると、カバーを閉めたときにカバーやコードを破損するおそれがあります。
オーディオビデオケーブル	オーディオビデオケーブル EG-CP16
リモコン	リモコン ML-L5

※1 カメラご購入時に付属しています（→ 📖iiページ）。

※2 日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などでお確かめのうえ、お買い求めください。

※3 日本国内専用電源コード（AC 100 V対応）付属。日本国外でお使いになるには、別売の電源コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービス機関にお問い合わせください。
また、オンラインショップ（ニコンダイレクト）http://shop.nikon-image.com/ でもお買い求めいただけます。

警告メッセージ

画面に表示される警告メッセージの意味は、以下のとおりです。

表示	意味	対処法	📖
(点滅)	カメラの時計が設定されていません。	日付と時刻を設定してください。	61
電池残量がありません	バッテリーの残量がありません。	バッテリーを充電または交換してください。	16、18
電池が高温です	バッテリーの温度が高温になっています。	電源をOFFにして、バッテリーの温度が下がるまでしばらく放置してからご使用ください。このメッセージが出ると5秒後に液晶モニターが消灯し、電源ランプが高速点滅を開始します。ランプの点滅が3分続くと電源は自動的にOFFになりますが、電源スイッチを押してもOFFにできます。	23
カメラが高温です。電源をOFFします	カメラの内部が高温になっています。	自動的にカメラの電源がOFFになります。カメラの温度が下がるまでしばらく放置してから電源を入れ直してください。	81
外部入力信号がありません 電源をOFFにします	接続機器からの映像信号ありません。	接続機器からの映像信号を入力してください。	81
プロジェクターカバーを閉じてください	プロジェクターカバーが開いています。	• プロジェクターカバーを閉じてください。 • 投映する場合は、プロジェクターカバーをいったん閉じ、電源を入れ直してから、カバーを開いてください。	81
AF● (赤色点滅)	ピントを合わせることができません。	• ピントを合わせ直してください。 • フォーカスロック撮影をお試しください。	28、31 68
記録中 しばらくお待ちください	画像の記録中です。	記録が終了して警告表示が消灯するまでお待ちください。	–
カードがロックされています	SDカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されています。	「Lock」を解除してください。	–

詳細編

表示	意味	対処法	📖
このカードは 使えません	SDカードへのアクセス異常です。	・動作確認済みのカードを使ってください。 ・カードの端子部分が汚れていないか確認してください。 ・カードが正しく挿入されているか確認してください。	21 20 20
カードに異常が あります			
このカードは初期化されていません 初期化しますか？ はい いいえ	SDカードが、このカメラ用に初期化されていません。	初期化するとカード内のデータはすべて削除されるため、カード内に必要なデータが残っているときは、[**いいえ**]を選び、初期化する前にパソコンなどに保存してください。[**はい**]を選んでⓀボタンを押すと、SDカードを初期化できます。	20
メモリー残量 がありません	データを記録する空き容量がありません。	・画像モードを変更してください。 ・不要な画像を削除してください。 ・SDカードを交換してください。 ・SDカードをカメラから取り出し、内蔵メモリーを使ってください。	61 34 20 21
画像を保存 できません	画像記録中にエラーが発生しました。	内蔵メモリー/SDカードを初期化してください。	71
	これ以上記録できないファイル番号に達しました。	SDカードを交換するか、内蔵メモリー/SDカードを初期化してください。	80
	オープニング画面に登録できない画像です。	以下の画像は登録できません。 ・［**画像モード**］を［**4224 × 2376**］にして撮影した画像 ・スモールピクチャーやトリミングで作成した画像サイズが320×240以下の画像	60
	画像コピー先の容量不足です。	コピー先の不要な画像を削除してください。	34
これ以上、 お気に入り 登録できません	すでに200コマの画像がお気に入りフォルダーに登録されています。	・画像のお気に入り登録を解除してください。 ・別のお気に入りフォルダーに登録してください。	5 4
音声を登録 できません	音声メモを付けられない画像ファイルです。	・動画には音声メモを付けられません。 ・このカメラで撮影した画像を選んでください。	– 56

警告メッセージ

表示	意味	対処法	📖
ⓘ 目つぶり検出した画像を記録しました	記録した画像に目を閉じた人がいるかもしれません。	画像を再生して確認してください。	49
❶ この画像は編集できません	編集できない画像を編集しようとしました。	• 編集可能な条件を確認してください。 • 動画は編集できません。	🔗11 –
ⓘ 動画記録できません	SD カードに動画を記録するのに時間がかかっています。	画像記録処理の速いSD カードに交換してください。	21
❶ 撮影画像がありません	撮影済みの画像がありません。	• 内蔵メモリーに記録した画像を再生するときは、SD カードをカメラから取り出してください。 • 内蔵メモリーから SD カードにコピーする場合は、MENU ボタンを押すと画像コピー画面が表示され、内蔵メモリー内の画像をSD カードにコピーできます。	21 🔗57
	選んだお気に入りフォルダーに画像が登録されていません。	• 画像をお気に入りフォルダーに登録してください。 • 画像の登録されたお気に入りフォルダーを選んでください。	🔗4 🔗5
	オート分類再生モードで選んだ項目に、分類された画像がありません。	画像の分類された項目を選んでください。	🔗7
❶ このファイルは表示できません	このカメラ以外で作成されたファイルです。	このカメラでは再生できません。ファイルを作成または編集したパソコンなどで再生してください。	–
ⓘ このデータは再生できません			
❶ 表示できる画像がありません	スライドショーで表示できる画像がありません。	–	🔗50
❶ このファイルは削除できません	画像にプロテクトがかかっています。	プロテクトを解除してください。	🔗52

表示	意味	対処法	📖
❶ 自宅と訪問先が同じタイムゾーンです	自宅と訪問先を同じタイムゾーンに設定しました。	–	61
レンズエラー ❶	レンズの作動不良です。	電源を入れ直してください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	22
ⓘ 通信エラー	プリンターとの通信中に、エラーが発生しました。	カメラの電源をOFFにして、USBケーブルの接続をやり直してください。	23
システムエラー ❶	カメラの内部回路にエラーが発生しました。	電源をOFFにしてバッテリーを入れ直し、もう一度電源をONにしてください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	17
プリンターエラー：プリンターを確認してください	プリンターに異常があります。	プリンターを確認し、エラーの原因を取り除いた後、［**継続**］を選んでⓀボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー：用紙を確認してください	指定したサイズの用紙がセットされていません。	指定したサイズの用紙をセットした後、［**継続**］を選んでⓀボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー：紙詰まりです	用紙が詰まりました。	詰まった用紙を取り除いた後、［**継続**］を選んでⓀボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー：用紙がありません	用紙がセットされていません。	指定したサイズの用紙をセットした後、［**継続**］を選んでⓀボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー：インクを確認してください	インクに異常があります。	インクを確認した後、［**継続**］を選んでⓀボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー：インクがありません	インクがなくなりました。	インクを交換した後、［**継続**］を選んでⓀボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー：ファイルが異常です	プリントする画像ファイルに異常があります。	［**キャンセル**］を選びⓀボタンを押し、プリントを中止してください。	–

※ プリンターの説明書もあわせてご覧ください。

付録、索引

取り扱い上のご注意

カメラについて

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」（📖vi～x）をお守りください。

● 強いショックを与えないでください
カメラを落としたり、ぶつけたりすると、故障の原因になります。また、レンズやレンズバリアーに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

● 水に濡らさないでください
カメラ内部に水が入ると部品がサビつくなど修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

● 急激な温度変化を与えないでください
温度差が極端な場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆の場合）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に結露が生じ、故障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使ってください。

● 強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください
強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください
太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は、撮像素子などの褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、その際に撮影した画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

●カメラを使わないときは、プロジェクターカバーを開けたまま放置しないでください
プロジェクター窓を外部からの光に長時間さらすと、プロジェクターの褪色や変色などの原因になります。

● 保管する際には
カメラを長期間お使いにならないときは、必ずバッテリーを取り出してください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、月に一度を目安にバッテリーを入れ、カメラを操作することをおすすめします。

● バッテリーやACアダプターやメモリーカードを取り外すときは、必ず電源をOFFにしてください
電源がONの状態で取り外すと、故障の原因になります。特に撮影中やデータの削除中は、データの破損やカードの故障の原因になります。

● 液晶モニターについて

- 液晶モニターの特性上、一部に常時点灯あるいは非点灯の点が存在することがありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。記録画像には影響はありません。
- 屋外では液晶モニターは、日差しの影響で見えにくいことがあります。
- 液晶モニターの表面を強くこすったり、強く押したりすると、破損や故障の原因になります。万一、液晶モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますのでご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないようにご注意ください。

● スミアについて

明るい被写体にレンズを向けると、液晶モニターに白色または色のついた光の帯が現れることがあります。撮像素子の特性上、強い光が入射すると発生する「スミア」という現象で、故障ではありません。また、スミアの影響で液晶モニターに色ムラが現れることもあります。
マルチ連写と動画以外の撮影では、記録される画像にスミアの影響はありません。
マルチ連写と動画の撮影では、太陽や太陽の照り返し、電灯などを画面内に入れずに撮影するようおすすめします。

バッテリーについて

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」（📖vi～x）をお守りください。

● 使用上のご注意

- 使用後のバッテリーは、発熱していることがあるのでご注意ください。
- 周囲の温度が－10℃～40℃の範囲を超える場所で使うと、性能劣化や故障の原因となります。
- 万一、異常に熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常や不具合が起きたら、すぐに使用を中止して、ご購入店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
- カメラやバッテリーチャージャーから取り外したときは、必ず付属の端子カバーを付けてください。

● 充電について

撮影の前に充電してください。付属のバッテリーは、ご購入時にはフル充電されておりません。

- 周囲の温度が 5℃～35℃ の室内で充電してください。
- バッテリー内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、不完全な充電になったりし、性能劣化の原因にもなります。
  カメラの使用直後など、バッテリー内部の温度が高くなっているときは、バッテリーの温度が下がるのを待ってから充電してください。
  バッテリーの温度が0℃以下、60℃以上のときは、充電をしません。
  バッテリーの温度が45℃～60℃のときは、充電できる容量が減ることがあります。
- 充電が完了したバッテリーを、続けて再充電すると、性能が劣化します。
- 充電直後にバッテリーの温度が上がることがありますが、性能その他に異常はありません。

● 予備バッテリーを用意する

撮影環境に応じて、予備バッテリーをご用意ください。地域によっては入手が困難な場合があります。

● 低温時には残量のじゅうぶんなバッテリーを使い、予備のバッテリーも用意する

バッテリーは一般的な特性として、性能が低温時に低下します。低温時には、バッテリーおよびカメラを冷やさないようにしてください。

消耗したバッテリーを低温時に使うと、カメラが動かないこともあります。予備のバッテリーは保温し、交互にあたためながらお使いください。低温で一時的に使えなかったバッテリーも、常温に戻ると使える場合があります。

● バッテリーの接点について

バッテリーの接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなることがあります。接点の汚れは、乾いた布できれいに拭いてからお使いください。

● 残量のなくなったバッテリーは充電する

残量のなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源スイッチのON/OFFを繰り返すと、バッテリーの寿命に影響をおよぼすおそれがあります。残量がなくなったバッテリーは、充電してからお使いください。

● 保管について

- バッテリーを使わないときは、必ずカメラやバッテリーチャージャーから取り出してください。取り付けたままにすると、電源を切っていても微小電流が流れ続けて過放電状態になり、使えなくなることがあります。
- バッテリーは、長期間使わないときでも必ず半年に1回は充電し、使い切った状態で保管してください。
- バッテリーは付属の端子カバーを付けて、涼しい場所で保管してください。周囲の温度が15℃～25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。暑い場所や極端に寒い場所は避けてください。

● 寿命について

バッテリーをじゅうぶんに充電しても、使用期間が極端に短くなってきたときは、寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

● リサイクルについて

充電を繰り返して劣化し、使えなくなったバッテリーは、廃棄しないでリサイクルにご協力ください。接点部にテープなどを貼り付けて絶縁してから、ニコンサービス機関やリサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion 00

数字の有無と数値は、電池によって異なります。

本体充電ACアダプターについて

- お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」（🕮vi～x）をお守りください。
- 本体充電ACアダプター EH-69Pに対応している機器以外で使わないでください。
- EH-69P以外の本体充電ACアダプター、USB-ACアダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。
- EH-69Pは、家庭用電源のAC 100－240 V、50/60 Hzに対応しています。日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などでお確かめのうえ、お買い求めください。

メモリーカードについて

● 使用上のご注意

- メモリーカードは、SDカード以外は使えません。
  推奨カード→🕮21
- お使いになるときは、必ずメモリーカードの説明書の注意事項をお守りください。
- ラベルやシールを貼らないでください。

● 初期化について

- SDカードをパソコンで初期化（フォーマット）しないでください。
- SD カードをこのカメラではじめて使うときは、このカメラで初期化するようおすすめします。
  特に、他の機器で使ったSDカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。
- SDカードを初期化すると、カード内のデータは、すべて削除されます。
  初期化する前に、必要なデータはパソコンなどに保存してください。
- SD カードを入れたあとにカメラに「このカードは初期化されていません。初期化しますか？」の警告メッセージが表示されたときは初期化が必要です。
  削除したくないデータがある場合は、［**いいえ**］を選んでください。
  必要なデータはパソコンなどに保存してください。
  カードを初期化してよければ、［**はい**］を選んでⓀボタンを押してください。
- 初期化中、画像の記録中や削除中、パソコンとの通信中などに以下の操作をすると、データの破損やカードの故障の原因になります。
  - バッテリー /SDカードカバーを開けて、カードやバッテリーを脱着する
  - カメラの電源を OFFにする
  - ACアダプターを外す

カメラのお手入れ方法

クリーニングについて

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品は使わないでください。

レンズ

ガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないようご注意ください。ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどでガラス部分の中央から外側に円を描くようにゆっくりと拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭くと破損や故障の原因になることがあります。汚れが取れないときは、レンズクリーナー液（市販）で湿らせた柔らかい布で軽く拭いてください。

液晶モニター

ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどで軽く拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。

カメラボディー

ゴミやホコリをブロアーで吹き払ってください。乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。
ご注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因となります。この場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

保管について

カメラを長期間お使いにならないときは、バッテリーを取り出してください。カメラを以下の場所に保管しないようにご注意ください。

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が50℃以上、または－10℃以下の場所
- 湿度が60%を超える場所
- バッテリーの保管は、「取り扱い上のご注意」の「バッテリーについて」の「保管する際には」（☼2）をお守りください。

故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

表示・設定・電源関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
カメラ内のバッテリーを充電できない	• プラグの接続状態を確認してください。 • セットアップメニュー［**パソコン接続充電**］が［**OFF**］になっています。 • パソコンに接続して充電しているときは、カメラの電源を OFF にすると、バッテリーの充電も中止されます。 • パソコンに接続して充電しているときに、パソコンが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止され、カメラの電源が OFF になることがあります。 • パソコンの仕様、設定または状態によっては、パソコンに接続してカメラ内のバッテリーを充電できないことがあります。	18 100、E73 100、E74 100、E74 –
電源をONにできない	• バッテリー残量がありません。 • 本体充電 AC アダプターでコンセントに接続しているときは、電源は ON にできません。	22 18
カメラの電源が突然切れる	• バッテリー残量がありません。 • 無操作状態が続いたため、オートパワーオフ機能が働きました。 • 画像投映中にカメラが高温になりました。カメラの温度が下がるまでしばらく放置してから電源を入れ直してください。 • 低温下ではカメラやバッテリーが正常に動作しないことがあります。 • カメラの電源を ON にしたまま、本体充電 AC アダプターを接続すると電源が OFF になります。 • パソコンまたはプリンターとの接続中に USB ケーブルが外れると電源が OFF になります。USB ケーブルの接続をやり直してください。	22 23、E70 81、E82 F3 18 72、E23

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
液晶モニターに何も映らない	• 電源が入っていません。 • バッテリー残量がありません。 • 節電機能により待機状態になっています。電源スイッチ、シャッターボタン、📷 ボタン、▶ ボタンまたは ●（📹 動画撮影）ボタンを押してください。 • フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。充電が完了するまでお待ちください。 • カメラとパソコンが USB ケーブルで接続されています。 • カメラとテレビがオーディオケーブルで接続されています。 • プロジェクター投映中は、液晶モニターは消灯します。	23 22 23 54 72 72、⚭21 80
液晶モニターがよく見えない	• 液晶モニターの明るさを調整してください。 • 液晶モニターが汚れています。	98、⚭64 ☼6
撮影日時が正しく表示されない	• 日時を設定していない（撮影時に日時未設定マークが点滅している）場合は、静止画の撮影日時が「0000/00/00 00:00」、動画の撮影日時が「2011/01/01 00:00」と記録されます。［**セットアップ**］メニュー［**地域と日時**］で日時を正しく設定してください。 • 内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くありません。定期的に日時の設定を行うことをおすすめします。	24、⚭61 25、⚭61
撮影情報や画像情報が表示されない	セットアップメニュー［**モニター設定**］の［**モニター表示設定**］が［**情報OFF**］になっています。	98、⚭64
［**デート写し込み**］が選べない	セットアップメニュー［**地域と日時**］が設定されていません。	24、⚭61
［**デート写し込み**］を有効にしたのに、日付が写し込まれない	日付を写し込めない撮影モードになっています。	99、⚭66
電源を入れると地域と日時設定画面が表示される	時計用電池が切れたため、設定がリセットされました。	24、25
設定内容が初期状態に戻ってしまった	（同上）	

付録、索引

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
液晶モニターが消灯し、電源ランプが高速点滅する	バッテリーの温度が高温になっています。電源をOFFにして、バッテリーの温度が下がるまでしばらく放置してからご使用ください。ランプの点滅が3分続くと電源は自動的にOFFになりますが、電源スイッチを押してもOFFにできます。	23
カメラの温度が高くなる	動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなることがありますが、故障ではありません。	–
リモコン（別売）の操作ボタンを押しても操作できない	• リモコンの電池残量がありません。	5
	• 約5 m以内の距離でリモコンの送信部をカメラの前面または背面のリモコン受光部に向けてください。	36、81
	• ベストフェイスモードで［**笑顔自動シャッター**］が［**ON**］の場合、カメラが人物の顔を認識しているときは、リモコンを使えません。	47
	• 極端な逆光状態では、リモコン撮影ができない場合があります。	–

●デジタルカメラの特性について

きわめてまれに、液晶モニターに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路に侵入したことが考えられます。このような場合は、電源をOFFにしてバッテリーを入れ直し、もう一度電源をONにしてみてください。これによってカメラが作動しなくなったときのデータは失われるおそれがありますが、すでに内蔵メモリーまたはSDカードに記録されているデータは失われません。この操作を行ってもカメラに不具合が続くときは、ニコンサービス機関にお問い合わせください。

撮影関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影できない	• 再生モードになっているときは、📷ボタン、シャッターボタン、または●（🎥動画撮影）ボタンを押してください。 • メニューが表示されているときは、MENUボタンを押してください。 • バッテリー残量がありません。 • フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。	6、10 12 22 54
ピントが合わない	• 被写体との距離が近すぎます。マクロモード、📷（らくらくオート撮影）モード、またはシーンモードの［**クローズアップ**］での撮影をお試しください。 • オートフォーカスが苦手な被写体を撮影しています。 • セットアップメニュー［**AF補助光**］を［**AUTO**］にしてください。 • 電源を入れ直してください。	38、39、57 31 99、⚫69 23
画像がぶれる	• フラッシュを使ってください。 • ISO感度を上げて撮影してください。 • 手ブレ補正機能を使ってください。 • BSS（ベストショットセレクター）を使ってください。 • 三脚などでカメラを安定させてください（セルフタイマーを併用すると、より効果的です）。	54 51、⚫41 99、⚫67 51、⚫39 56
液晶モニターに光の帯や色ムラが発生する	明るい被写体にレンズを向けるとスミアが発生することがあります。マルチ連写と動画の撮影では、太陽や太陽の照り返し、電灯などを画面内に入れずに撮影するようおすすめします。	⚫40、☀3
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が写り込む	フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいます。フラッシュモードを⊛（発光禁止）にしてください。	55
フラッシュが発光しない	• フラッシュモードが⊛（発光禁止）になっています。 • フラッシュが発光しないシーンモードになっています。 • ベストフェイスメニューで［**目つぶり軽減**］が［**ON**］になっています。 • フラッシュが制限される他の機能が設定されています。	55 39 49 63

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
電子ズームが使えない	• セットアップメニュー［**電子ズーム**］が［**OFF**］になっています。 • 以下の場合は電子ズームが使えません。 - シーンモードが［**ポートレート**］、［**夜景ポートレート**］、［**夜景**］または［**ペット**］のとき - ベストフェイスモードのとき - 撮影メニュー［**連写**］モードが［**マルチ連写**］のとき - 撮影メニュー［**AF エリア**］が［**ターゲット追尾**］のとき	99、⊶69 40、41、45 47 51、⊶39 52、⊶43
［**画像モード**］が選べない	［**画像モード**］が制限される他の機能が設定されています。	61
シャッター音が鳴らない	• セットアップメニュー［**操作音**］の［**シャッター音**］が［**OFF**］になっています。［**ON**］にしていても、撮影モードや設定によってはシャッター音が鳴りません。 • スピーカーをふさがないでください。	99、⊶70 3、28
AF 補助光が点灯しない	セットアップメニュー［**AF 補助光**］が［**OFF**］になっています。［**AUTO**］に設定していても、AFエリアの位置やシーンモードによっては点灯しない場合があります。	99、⊶69
画像が鮮明でない	レンズが汚れています。	☼6
画像の色合いが不自然になる	適切なホワイトバランスが選ばれていません。	43、⊶37
画像がざらつく	被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなっているか、ISO感度が高くなっています。 • フラッシュを使ってください。 • 低い ISO 感度にしてください。	 54 51、⊶41
動画がざらつく	暗い場所で動画を撮影すると、画像がざらつくことがあります。これは、ISO感度が上がることによる影響で、故障ではありません。	—
画像が暗すぎる	• フラッシュモードが ⊛（発光禁止）になっています。 • フラッシュが指などでさえぎられています。 • 被写体にフラッシュの光が届いていません。 • 露出を補正してください。 • ISO 感度を上げてください。 • 逆光で撮影しています。シーンモードの［**逆光**］にするか、フラッシュモードを ⚡（強制発光）にしてください。	55 28 54 58 51、⊶41 44、55
画像が明るすぎる	露出を補正してください。	58

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
赤目以外の部分が補正された	⚡◉（赤目軽減自動発光）や、シーンモードの［**夜景ポートレート**］の赤目軽減スローシンクロ強制発光でフラッシュ撮影すると、ごくまれに赤目以外の部分が補正されることがあります。［**夜景ポートレート**］以外の撮影モードで、フラッシュモードを⚡◉（赤目軽減自動発光）以外にして撮影してください。	41、55
美肌の効果が得られない	• 撮影条件によっては、美肌効果が適切に得られないことがあります。 • 4 人以上の顔を撮影した画像は、再生メニューの［**メイクアップ効果**］の ☺［**美肌**］をお試しください。	67、➡36 71、➡14
画像の記録に時間がかかる	以下の場合、画像の記録に時間がかかることがあります。 • ノイズ低減機能が作動したとき • フラッシュを⚡◉（赤目軽減自動発光）にして撮影したとき • 美肌機能で撮影したとき	— 55 40、41、67、➡36

再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
再生できない	• パソコンか他社製のカメラによって画像が上書きされたか、ファイル名やフォルダー名が変更されました。 • COOLPIX S1200pj 以外で撮影した動画は再生できません。	— 94
画像の拡大表示ができない	• COOLPIX S1200pj 以外で撮影した画像は、拡大できないことがあります。 • 動画やスモールピクチャー、320 × 240 以下にトリミングされた画像は拡大表示できません。	—
音声メモの録音や再生ができない	• 動画には音声メモを付けられません。 • このカメラ以外で撮影した画像には、このカメラで音声メモを付けられません。また、このカメラ以外で画像に音声メモを付けると、このカメラで再生できません。	94 ⊶55
画像編集ができない	• 動画は編集できません。 • [**画像モード**]を[**4224 × 2376**]にして撮影した画像は、編集できません。 • 画像編集が可能な条件を確認してください。 • このカメラ以外で撮影した画像は編集できません。	94 61 71、⊶11 ⊶10
画像がテレビに映らない	• セットアップメニュー［**インターフェース**］の［**ビデオ出力**］が正しく設定されていません。 • 画像が記録されていない SD カードが入っています。SD カードを交換してください。内蔵メモリーの画像を再生するときは SD カードを取り出してください。	100、 ⊶73 20
お気に入りフォルダーのアイコン設定が初期設定に戻っていたり、お気に入り登録した画像がお気に入り再生で表示できない	SD カード内のデータがパソコンで書き換えられると、再生できないことがあります。	—
撮影した画像がオート分類再生モードで再生できない	• 表示したい画像が、参照している項目とは別の項目に分類されています。 • COOLPIX S1200pj 以外で撮影した画像または［**画像コピー**］でコピーした画像は、オート分類再生モードで表示できません。 • 内蔵メモリー/SDカード内の画像がパソコンで書き換えられると、表示できないことがあります。 • 1 つの分類項目で表示できるのは、999 コマまでです。すでに 999 コマ登録されている場合は、それ以降に撮影した画像は登録されません。	70、⊶7 70、⊶8、 ⊶57 — 70、⊶8

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
カメラをパソコンに接続しても、Nikon Transfer2が自動起動しない	• カメラのセットアップメニュー→［**インターフェース**］→［**USB**］の設定を［**MTP/PTP**］にしてから、再接続してください。 • カメラの電源が OFF になっています。 • バッテリー残量がありません。 • USB ケーブルが正しく接続されていません。 • パソコンにカメラが正しく認識されていません。 • 対応 OS を確認してください。 • Nikon Transfer2 が自動起動しない設定になっています。Nikon Transfer2 については、ViewNX2 のヘルプをご覧ください。	75、100、⚯73 23 22 72 — 73 73
カメラをプリンターに接続しても、PictBridge 起動画面が表示されない	• カメラのセットアップメニュー→［**インターフェース**］→［**USB**］の設定を［**MTP/PTP**］にしてから、再接続してください。 • PictBridge 対応プリンターの種類によっては、［**パソコン接続充電**］を［**AUTO**］に設定していると、PictBridge 起動画面が表示されず、プリントできない場合があります。［**パソコン接続充電**］を［**OFF**］にしてプリンターに接続し直してください。	100、⚯23、⚯73 72、⚯73
プリントする画像が表示されない	• 画像が記録されていない SD カードが入っています。SD カードを交換してください。 • 内蔵メモリーの画像をプリントするときは SD カードを取り出してください。	20
カメラ側で用紙設定ができない	PictBridge対応プリンターでも、以下の場合はカメラで「用紙設定」ができません。プリンター側で用紙サイズを設定してください。 • カメラ側で設定した用紙サイズにプリンターが対応していません。 • 自動的に用紙サイズを認識するプリンターを使っています。	72、⚯25、⚯26 —
投映した画像が鮮明でない	• プロジェクター窓が汚れています。 • カメラとスクリーンの距離が近すぎるか、または離れすぎています。距離を調節してください。 • ピントが合っていません。プロジェクターフォーカスダイヤルで調節してください。	80 82 80

主な仕様

ニコン デジタルカメラCOOLPIX S1200pj

項目		仕様
型式		コンパクトデジタルカメラ
有効画素数		14.1メガピクセル
撮像素子		1/2.3型原色CCD、総画素数14.48メガピクセル
レンズ		光学5倍 ズーム、NIKKORレンズ
	焦点距離	5.0-25.0mm（35mm判換算28-140 mm相当の撮影画角）
	開放F値	f/3.9-5.8
	レンズ構成	9群13枚
電子ズーム		最大4倍（35mm判換算で約560 mm相当の撮影画角）
手ブレ補正		レンズシフト方式と電子式の併用（静止画） レンズシフト方式（動画）
オートフォーカス		コントラスト検出方式
	撮影距離	• 先端レンズ面中央から約 30 cm ～∞（広角側）、約 50 cm ～∞（望遠側） • マクロモード時は先端レンズ面中央から約 3 cm（△マークから広角側）～∞
	AFエリア	顔認識オート、オート（9点）、中央、マニュアル（99点）、ターゲット追尾
液晶モニター		3型TFT液晶、約46万ドット、反射防止コート付き 輝度調節機能付き（5段階）
	視野率（撮影時）	上下左右とも約98%（対実画面）
	視野率（再生時）	上下左右とも約100%（対実画面）
記録方式		
	記録媒体	• 内蔵メモリー（約 94 MB） • SD/SDHC/SDXC メモリーカード
	画像ファイル	DCF、Exif 2.3、DPOF準拠
	ファイル形式	静止画：JPEG 音声メモ：WAV 動画：MOV（映像：H.264/MPEG-4 AVC、音声：AAC ステレオ）

画像モード（記録画素数）		・14M（高画質）［4320 × 3240★］ ・14M［4320 × 3240］ ・8M［3264 × 2448］ ・5M［2592 × 1944］ ・3M［2048 × 1536］ ・PC［1024 × 768］ ・VGA［640 × 480］ ・16：9［4224 × 2376］
ISO感度（標準出力感度）		・ISO 80、100、200、400、800、1600、3200、6400 ・オート（ISO 80 ～ 800） ・感度制限オート（ISO 80 ～ 200、80 ～ 400）
露出		
	測光方式	マルチパターン測光（256分割）、中央部重点測光（電子ズームが2倍未満のとき）、スポット測光（電子ズームが2倍以上のとき）
	露出制御	プログラムオート、モーション検知機能付き、露出補正（±2段の範囲で1/3段刻み）可能
シャッター		メカニカルシャッターとCCD電子シャッターの併用
	シャッタースピード	1/1500～1秒 4 秒（シーンモードの［**打ち上げ花火**］）
絞り		電磁駆動によるNDフィルター （－2 AV）選択方式
	制御段数	2（f/3.9、f/7.8［**広角側**］）
セルフタイマー		約10秒、約2秒
内蔵フラッシュ		
	調光範囲（ISO感度設定オート時）	約0.3～4.5 m（広角側） 約0.5～3.5 m（望遠側）
	調光方式	モニター発光によるTTL自動調光
インターフェース		Hi-Speed USB
	通信プロトコル	MTP、PTP
ビデオ出力		NTSC、PALから選択可能
入出力端子		オーディオビデオ（AV）出力/デジタル端子（USB）、プロジェクター用入力端子（Dock コネクターケーブル接続用）

プロジェクター	
投映方式	3灯単板カラーシーケンシャル方式
表示素子	反射型DMD（Digital Micromirror Device）
投映レンズ	13mm f/2.1、マニュアルフォーカス
光源	高輝度LED（R、G、B）×各1
画面サイズ	5～60型
投映距離	約0.26～3.1 m
色再現性	フルカラー（約1670万色）
明るさ※1	最大20 ルーメン
コントラスト比	200:1
解像度（出力）	VGA
連続投映可能時間（電池寿命）	約1時間（EN-EL12使用時）
言語	日本語、英語の2言語
電源	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL12（リチウムイオン充電池：付属）×1個 ACアダプター EH-62F（別売）
充電時間	約5時間（本体充電ACアダプター EH-69P使用時、残量のない状態からの充電時間）
撮影可能コマ数（電池寿命）※2	約220コマ（EN-EL12使用時）
動画撮影可能時間（電池寿命）	約1時間40分（[**HD 720p（1280×720)**]、EN-EL12使用時。1回の撮影で記録可能な時間は、SDカードの残量が多いときでもファイルサイズ4 GBまで、または最長29分）
三脚ネジ穴	1/4（ISO 1222）
寸法（幅×高さ×奥行き）	約107.0×63.4×22.6 mm（突起部除く）
質量	約186 g（バッテリー、SDメモリーカード含む）
動作環境	
使用温度	0℃～40℃
使用湿度	85%以下（結露しないこと）

- 仕様中のデータは、すべて常温（25℃）、リチャージャブルバッテリーEN-EL12をフル充電で使用時のものです。

※1　出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911：2003 データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件は附属書2に基づいています。

※2　電池寿命測定方法を定めたCIPA（カメラ映像機器工業会）規格によるものです。測定条件は、23（±2）℃、撮影ごとにズーム、2回に1回の割合でのフラッシュ撮影、画像モード［**14M 4320×3240**］です。撮影間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などにより、コマ数は変動することがあります。

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL12

形式	リチウムイオン充電池
定格容量	DC 3.7 V、1050 mAh
使用温度	0℃～40℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約32×43.8×7.9 mm（突起部除く）
質量	約22.5 g（端子カバーを除く）

本体充電ACアダプター EH-69P

電源	AC 100～240 V、50/60 Hz、0.068～0.042 A
定格入力容量	6.8～10.1 VA
定格出力	DC 5.0 V、550 mA
使用温度	0℃～40℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約55×22×54 mm
質量	約55 g

説明書について

- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

このカメラの準拠規格

- Design rule for Camera File system (DCF)：各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録方式です。
- DPOF (Digital Print Order Format)：デジタルカメラで撮影した画像をプリントショップや家庭用プリンターで自動プリントするための記録フォーマットです。
- Exif (Exchangeable image file format) Version 2.3：デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。
  この規格に対応したプリンターをお使いになると、撮影時のカメラ情報を活かして最適なプリント出力を得ることができます。
  詳しくはプリンターの説明書をご覧ください。
- PictBridge：デジタルカメラとプリンターのメーカー各社が相互接続を保証するもので、デジタルカメラの画像をパソコンを介さずプリンターで直接プリントするための標準規格です。

索引

マーク・英数字

ア

カ

サ

タ

アフターサービスについて

■この製品の使い方や修理に関するお問い合わせは

- 使い方に関するご質問は、裏面に記載の「ニコン　カスタマーサポートセンター」にお問い合わせください。
- 修理に関するご質問は、裏面に記載の「修理センター」にお問い合わせください。

【お願い】

- お問い合わせいただく場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
  「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、「問題が発生したときの症状」、「表示されたメッセージ」、「症状の発生頻度」など。
- ソフトウェアのトラブルの場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
  「ソフトウェア名およびバージョン」、「パソコンの機種名」、「OSのバージョン」、「メモリー容量」、「ハードディスクの空き容量」、「問題が発生したときの症状」、「症状の発生頻度」、エラーメッセージが表示されている場合はエラーメッセージの内容など。
- ファクシミリや郵送でお問い合わせの場合は「ご住所」、「お名前」、「フリガナ」、「電話番号」、「FAX番号」を（会社の場合は会社名と部署名も）明確にお書きください。

■修理を依頼される場合は

- ニコンサービス機関（裏面に記載の「修理センター」など）、ご購入店、または最寄りの販売店にご依頼ください。
- ニコンサービス機関につきましては、詳しくは「ニコン　サービス機関のご案内」をご覧ください。

【お願い】

- 修理に出されるときは、メモリーカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。
  ※内蔵メモリー内に画像データがあるときは、消去される場合があります。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後10年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ニコンサービス機関またはご購入店へお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

Nikon

製品の使い方に関するお問い合わせ

＜ニコン カスタマーサポートセンター＞

全国共通のナビダイヤルにお電話ください。

0570-02-8000

一般電話･公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30 ～ 18:00（年末年始、夏期休業日等を除く毎日）

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、（03）6702-0577 におかけください。ファクシミリでのご相談は、（03） 5977-7499 にお送りください。

修理サービスのご案内

修理品のお引き取りを依頼される場合は

＜ニコン ピックアップサービス＞

下記のフリーダイヤルでお申し込みいただくと、ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）が、梱包資材のお届け・修理品のお引き取り、修理後のお届け･集金までを一括して提供するサービスです。全国一律の料金にて承ります。

※宅配便で扱える大きさや重さには制限があるため、取り扱いできない製品もございます。

0120-02-8155 営業時間：9:00～18:00（年末年始12/29～1/4を除く毎日）

※上記のフリーダイヤルはピックアップサービス専用です。ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）にて承ります。
製品や修理に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンター、または修理センターへお願いいたします。

修理品を宅配便などでお送りいただく場合の送り先と修理に関するお問い合わせは

＜（株）ニコンイメージングジャパン　修理センター＞

230-0052　横浜市鶴見区生麦2-2-26

0570-02-8200

一般電話･公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30～17:30（土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日）

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、（03） 6702-0577 におかけください。

●修理センターには、ご来所の方の窓口がございません。宅配便のみお受けします。ご了承ください。

インターネットご利用の方へ

＜ニコンイメージング／サポートページ＞

- http://www.nikon-image.com/support/
  最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデートに関する情報がご覧いただけます。
  ※製品をより有効にご利用いただくために、定期的にアクセスされるようおすすめします。
- http://www.nikon-image.com/support/repair/
  「ニコン　ピックアップサービス」のお申し込みや修理見積もり金額の確認、インターネットを利用して修理を申し込まれた場合の修理状況や納期の確認などがご覧いただけます。

※お問い合わせや修理を依頼をされるときには、裏面の「アフターサービスについて」も参照ください。

株式会社 ニコン
株式会社 ニコン イメージング ジャパン

YP1G01(10)

6MM14210-01